

厚生労働省 補助型調査研究
平成 28 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

保育人材確保に関する調査

調査報告書

平成 29 年 3 月

調査実施機関
東京慈恵会医科大学

目 次	P 1
はじめに	P 2
調査概要	P 3
調査結果	P 4
調査結果解析	P61
現地調査結果	P90
まとめおよび考察	P99
おわりに	P102
添付 調査依頼書	

はじめに

最近、保育施設入所待機児童が多いことが社会的に大きな問題となっている。この問題の大きな原因の一つとして、保育士の人材確保が難しい現状がある。そして人材確保問題解決には、保育士の業務負担の軽減が求められている。そこで全国の保育施設・保育士・人材派遣事業所を対象に、厚生労働省の平成 28 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業として、東京慈恵会医科大学が、保育士の就業環境について現状調査を実施した。また、保育士の業務負担軽減のために導入が進められている ICT の活用現状について、保育施設の現地調査を実施した。ここに調査結果を報告する。

A 調査概要

調査名

保育人材確保に関する調査研究

調査担当機関の名称及び氏名

東京慈恵会医科大学（武田聡、勝沼俊雄、馬場優治、金森大輔、吉澤穰治）

調査目的

①保育士の就業環境・待遇などの諸問題を解決しなければ、保育人材確保が難しいのが現状である。そこで、保育士の業務の実態、保育士の業務量軽減のための取り組み、保育士の離職理由などについて、保育施設・保育士・人材派遣事業所を対象に現状を調査して、今後の施策の基礎資料を作成することを調査研究の目的とする。

②保育士の業務負担軽減のために導入が進められている ICT の活用状況について、保育施設の現地調査をおこない現状の問題点を抽出することを目的とする。

調査方法

①調査依頼を施設責任者宛に郵送して、ホームページ上で、直接回答を入力していただく方法

②保育施設を訪問して、聞き取り調査する方法

調査対象

①全国の保育施設（全国の保育施設の約 30%を無作為に抽出）およびその施設で勤務している保育士、人材派遣事業所（全国の保育関連事業所 100 社を無作為に抽出）

②保育施設の管理者・保育士

調査期間

①平成 28 年 2 月 27 日～平成 29 年 3 月 14 日(火曜日)午後 5 時

②平成 29 年 3 月

調査項目・内容

①全調査内容については、巻末に掲載した。

②保育所の ITC 化の有用性

個人情報等の取扱い

①個人・施設を特定できる情報の記入項目はない。

②調査施設の承諾を得て、報告書に記載する。

情報の収集の資金源等、情報の収集を行う機関および個人の利益相反の状況

①②調査経費は平成 28 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業費補助金から全額支出する。この調査は特定の企業・団体との利害関係はない。なお、この調査は東京慈恵会医科大学の倫理委員会審査および利益相反管理委員会へ手続きを行い、承認を受けた。

B 調査結果

回答数

保育施設からの回答数 2,672 施設 (調査依頼を送付した 10,650 施設中 25.1%)

保育士からの回答数 3,457 人

人材派遣事業所からの回答数 17 施設 (調査依頼を送付した 67 施設中 25.4%)

保育施設からの回答結果

1 都道府県名

愛知県	93	埼玉県	91	長崎県	48
愛媛県	47	三重県	63	長野県	43
茨城県	50	山形県	44	鳥取県	24
岡山県	42	山口県	45	島根県	39
沖縄県	65	山梨県	28	東京都	159
岩手県	58	滋賀県	40	徳島県	22
岐阜県	60	鹿児島県	59	栃木県	45
宮崎県	40	秋田県	44	奈良県	23
宮城県	55	新潟県	91	富山県	59
京都府	48	神奈川県	132	福井県	35
熊本県	65	青森県	45	福岡県	87
群馬県	40	静岡県	82	福島県	26
広島県	75	石川県	37	兵庫県	84
香川県	26	千葉県	75	北海道	119
高知県	28	大阪府	98	和歌山県	30
佐賀県	30	大分県	33		

2 施設母体

認可保育所（公設・公営）	707
認可保育所（公設・民営）	149
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	99
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	70
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	1,231
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビー ホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	172
家庭的保育施設（保育ママ）	4
幼保連携型以外の認定子ども園	32
幼保連携型認定子ども園	176
その他	28
無回答	4
合計	2,672

3 貴施設の児童定員数

☐1～19人 ☐20～39人 ☐40～59人 ☐60人～99人 ☐100人以上人

1～19人	141
20～39人	224
40～59人	260
60～99人	1,012
100人以上	1,015
無回答	20
合計	2,672

4 調査記入時での保育士数（施設長を含む）を雇用形態に別けて記入してください。

保育士の雇用形態	人数				
保育士正規職員（勤務時間は問わない）	☐ 0～5 人	☐ 6～10 人	☐ 11～20 人	☐ 21～30 人	☐ 31 人以上
保育士フルタイム有期契約職員	☐ 0～5 人	☐ 6～10 人	☐ 11～20 人	☐ 21～30 人	☐ 31 人以上
保育士パートタイム有期契約職員	☐ 0～5 人	☐ 6～10 人	☐ 11～20 人	☐ 21～30 人	☐ 31 人以上
派遣職員	☐ 0～5 人	☐ 6～10 人	☐ 11～20 人	☐ 21～30 人	☐ 31 人以上

保育士正規職員（勤務時間は問わない）

0～5人	535
6～10人	828
11～20人	995
21～30人	213
31人以上	39
無回答	62
合計	2,672

保育士フルタイム有期契約職員

0～5人	1,364
6～10人	537
11～20人	209
21～30人	26
31人以上	3
無回答	533
合計	2,672

保育士パートタイム有期契約職員

0～5人	1,460
6～10人	539
11～20人	218
21～30人	38
31人以上	7
無回答	410
合計	2,672

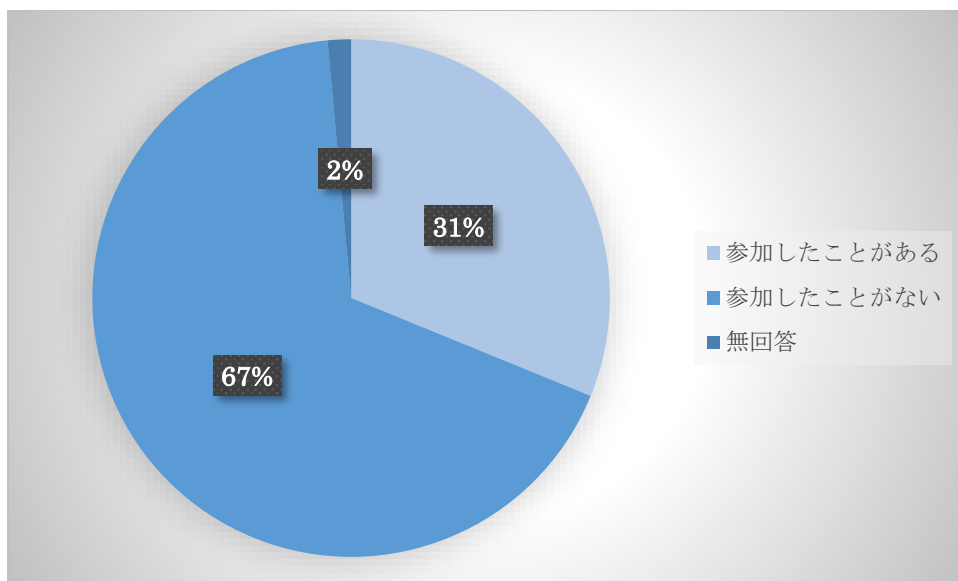
派遣職員

0～5人	1,263
6～10人	17
11～20人	2
無回答	1,390
合計	2,672

5 自治体などが主催する人材確保に関する保育施設管理者を対象としたセミナーに参加したことがありますか。

☐ある ☐ない

選択肢	人数
ある	833
ない	1,800
無回答	39
総計	2,672

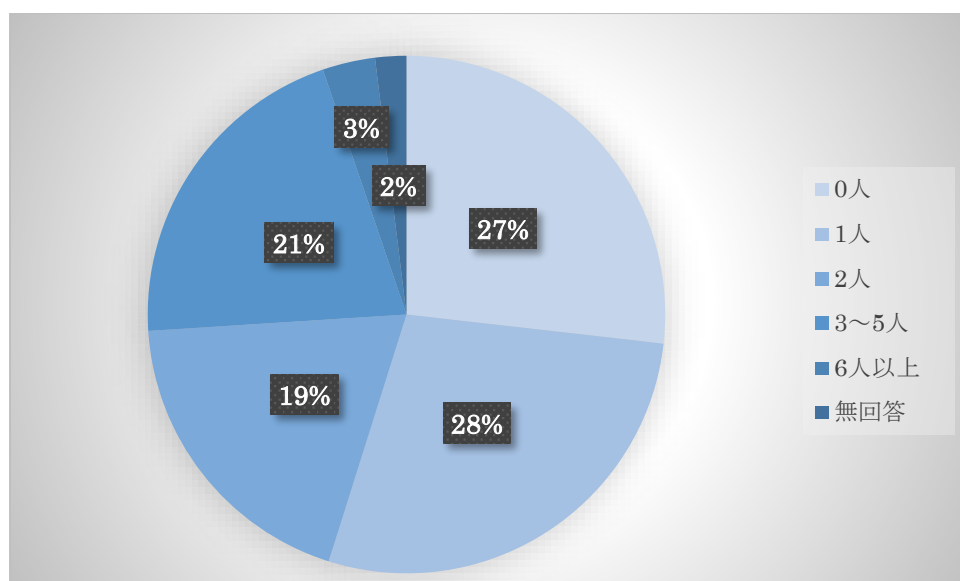


参加したことのありと回答した施設は 833（31％）であった。

6 平成 28 年 4 月に新規雇用した保育士は何人ですか。(雇用形態は問わない)

□0 人 □1 人 □2 人 □3～5 人 □6 人以上

選択肢	施設数
0 人	716
1 人	750
2 人	511
3～5 人	555
6 人以上	88
無回答	52
総計	2,672



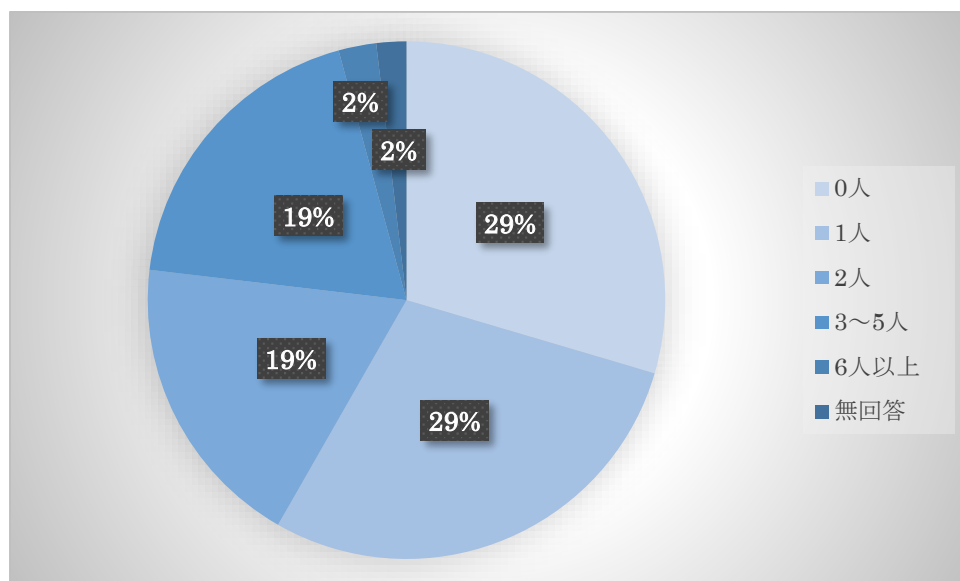
保育士を採用しなかった保育施設は 716 (27%)であった。

1 名以上の保育士を採用した施設が 71%であった。

7 平成 28 年 3 月の退職者数は何人ですか。

☐0 人 ☐1 人 ☐2 人 ☐3～5 人 ☐6 人以上

選択肢	施設数
0 人	790
1 人	767
2 人	497
3～5 人	505
6 人以上	63
無回答	50
総計	2,672

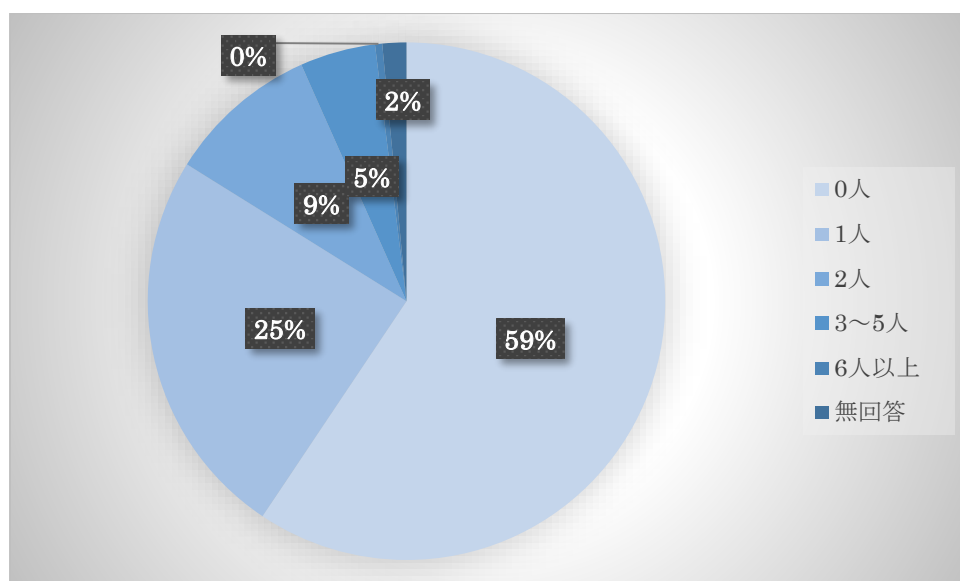


保育士が退職しなかった保育施設は 790（29%）であった。
1 名以上の保育士が退職した施設が 1,772 施設 66%であった。

8 平成 28 年 4 月 1 日から調査回答日までに途中退職者は何人ですか。

☐0 人 ☐1 人 ☐2 人 ☐3～5 人 ☐6 人以上

選択肢	人数
0 人	1,587
1 人	654
2 人	253
3～5 人	126
6 人以上	12
無回答	40
総計	2,672

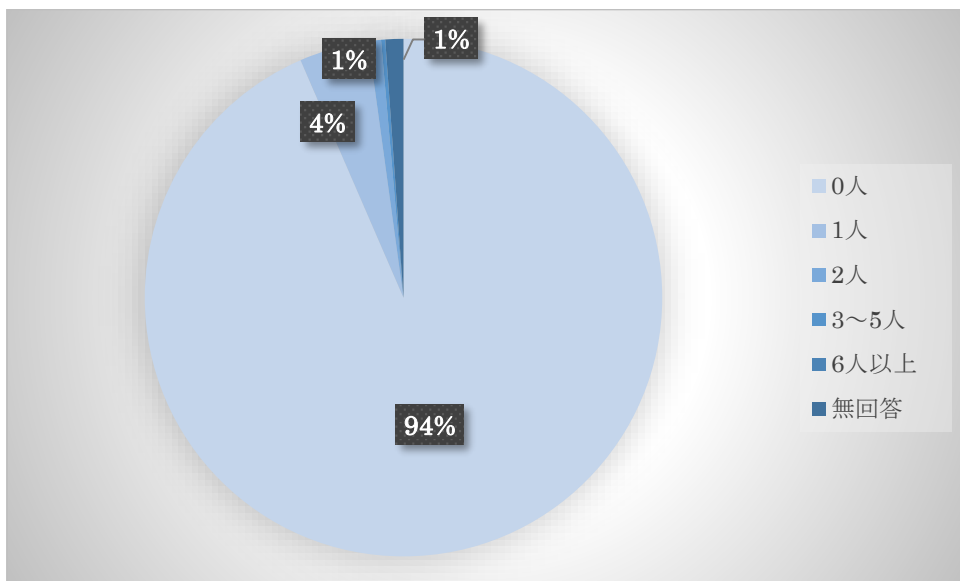


1 人以上の途中退職者があった施設が 1,045 施設 (39%) であり、その人数は 1,610 人以上である。

9 産休・育休明けで、子どもを預けられないために、仕事に復帰できなかった保育士が平成 28 年 4 月 1 日から調査回答日までに何人いましたか。

☐0 人 ☐1 人 ☐2 人 ☐3～5 人 ☐6 人以上

選択肢	施設数
0 人	2,498
1 人	116
2 人	21
3～5 人	7
無回答	30
総計	2,672

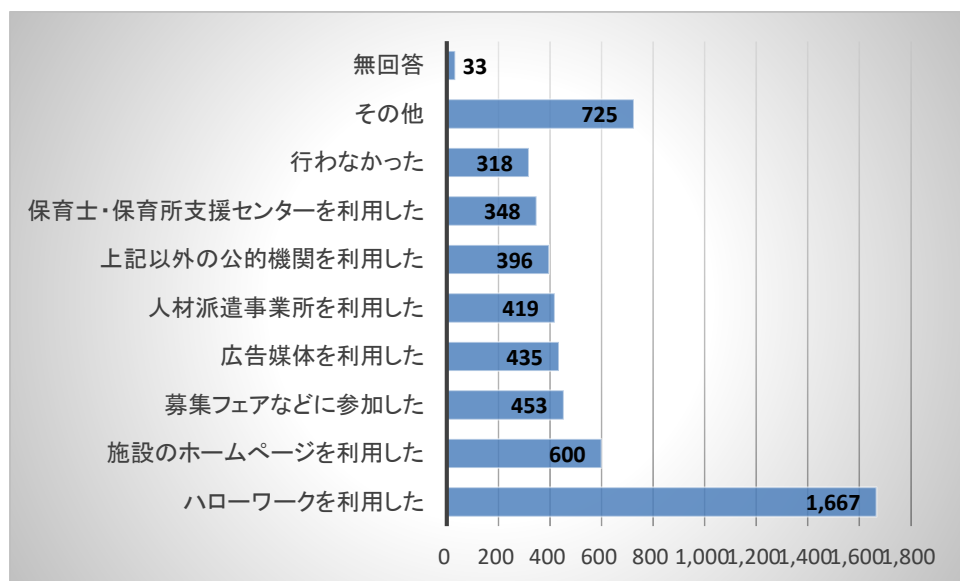


産休・育休明けで、子どもを預けられないために仕事に復帰できなかった保育士が 179 人以上いた。施設数では、144 施設 (5.4%) であった。

10 平成 28 年 4 月 1 日から調査回答日までの保育士募集方法についてお答えください。(複数回答可)(平成 28 年度年度途中や平成 29 年度 4 月からの採用者を含む)

□行わなかった □保育士・保育所支援センターを利用した □ハローワークを利用した
□上記以外の公的機関を利用した □人材派遣事業所を利用した □広告媒体を利用した
□施設のホームページを利用した □募集フェアなどに参加した □その他

選択肢	施設数	%
ハローワークを利用した	1,667	62.4
施設のホームページを利用した	600	22.5
募集フェアなどに参加した	453	17.0
広告媒体を利用した	435	16.3
人材派遣事業所を利用した	419	15.7
上記以外の公的機関を利用した	396	14.8
保育士・保育所支援センターを利用した	348	13.0
行わなかった	318	11.9
その他	725	27.1
無回答	33	1.2

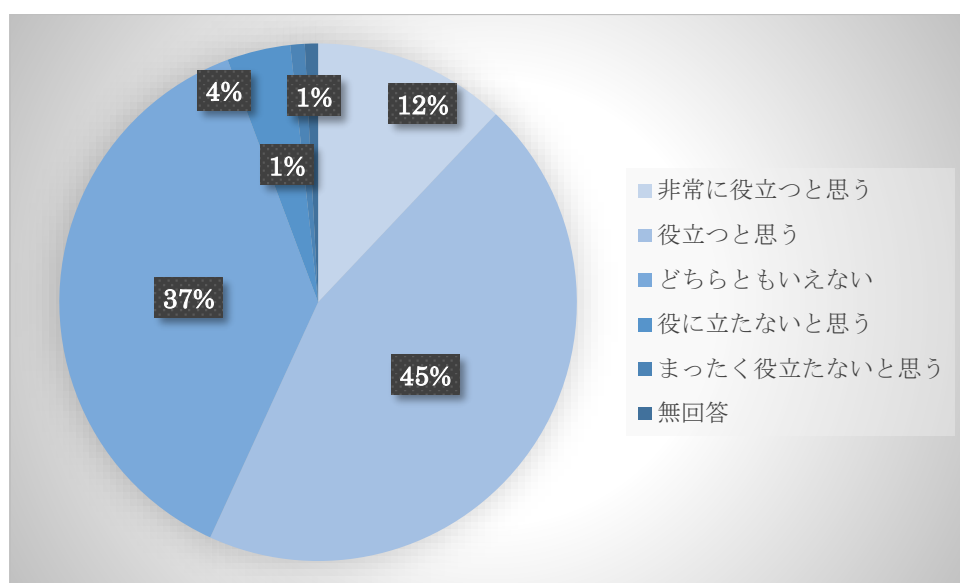


ハローワークの利用が 1,667(62%)と非常に高い利用率であった。一方で、保育士・保育所支援センターの利用率は 348 施設(13%)であり、利用率が低かった。

11 保育士の業務負担軽減に ICT 化（パソコンやタブレットなどの活用）は役立つと思いますか。

- ☐非常に役立つと思う ☐役立つと思う ☐どちらともいえない
☐役に立たないと思う ☐まったく役立たないと思う

選択肢	施設数
非常に役立つと思う	322
役立つと思う	1,197
どちらともいえない	1,001
役に立たないと思う	106
まったく役立たないと思う	24
無回答	22
総計	2,672

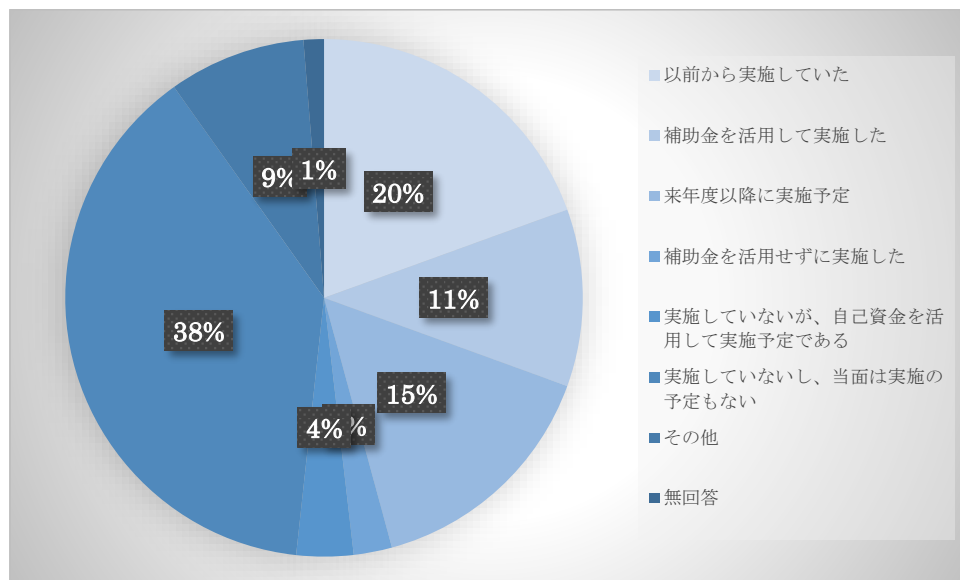


ICT 化が「非常に役立つと思う」と回答した施設が 322 施設 (12%)、「役に立つと思う」と回答した施設が 1,197 施設 (45%) で合計 1,519 施設 (57%) であった。一方で、「役に立たないと思う」が 106 施設、「全く役に立たないと思う」と回答した施設が 24 施設で、合計 130 施設 (5%) であった。

12 平成 28 年度に業務負担軽減のために ICT 化をおこなっていますか。

- ☐ 以前から実施していた ☐ 補助金を活用して実施した ☐ 来年度以降に実施予定
☐ 補助金を活用せずに実施した ☐ 実施していないが、自己資金を活用して実施予定である
☐ 実施していないし、当面は実施の予定もない ☐ その他

選択肢	施設数
以前から実施していた	520
補助金を活用して実施した	296
来年度以降に実施予定	407
補助金を活用せずに実施した	64
実施していないが、自己資金を活用して実施予定である	95
実施していないし、当面は実施の予定もない	1,027
その他	229
無回答	34
総計	2,672



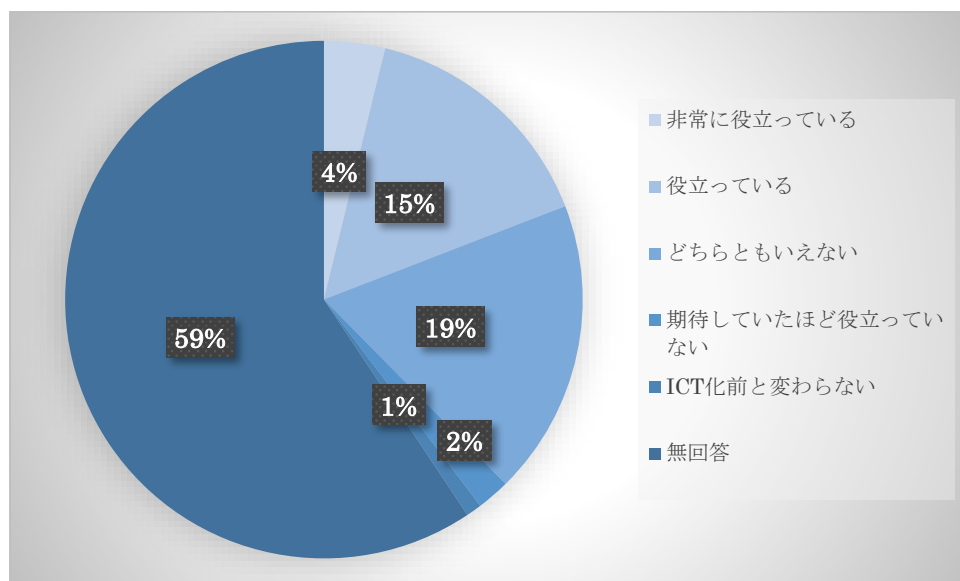
「ICT 化を実施していないし、当面は実施の予定もない」と、回答した施設が 1,027 施設 (38%) であった。

13 ICT 化を実施した施設では施設管理者からみて、保育士の業務軽減のために ICT 化は役立っていますか。

☐非常に役立っている ☐役立っている ☐どちらともいえない

☐期待していたほど役立っていない ☐ICT 化前と変わらない

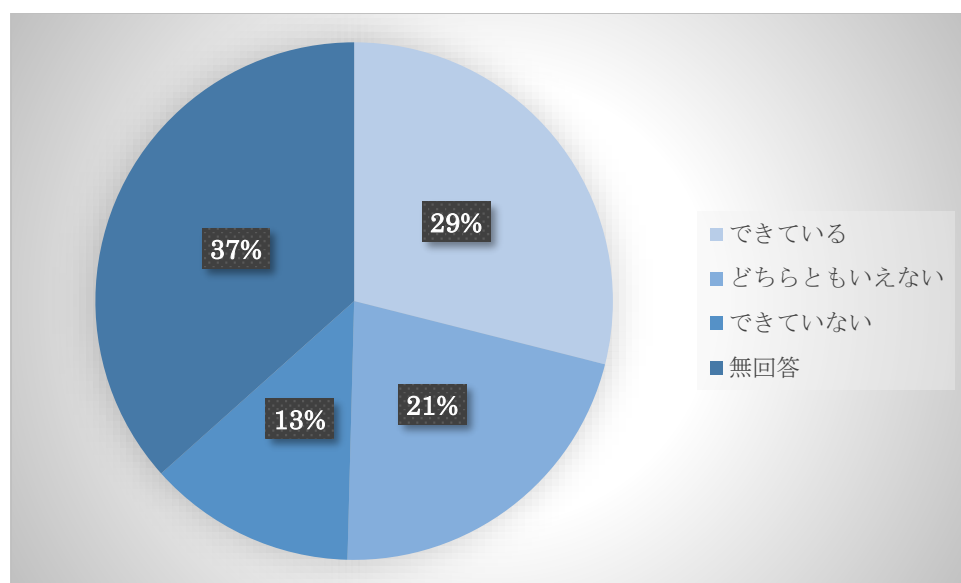
選択肢	施設数
非常に役立っている	102
役立っている	409
どちらともいえない	494
期待していたほど役立っていない	55
ICT化前と変わらない	26
無回答	1, 586
合計	2, 672



14 ITC化を実施する上で、トラブル時（機器の不具合や操作法に迷ったとき）のサポート体制はできていますか。

☐できている ☐どちらともいえない ☐できていない

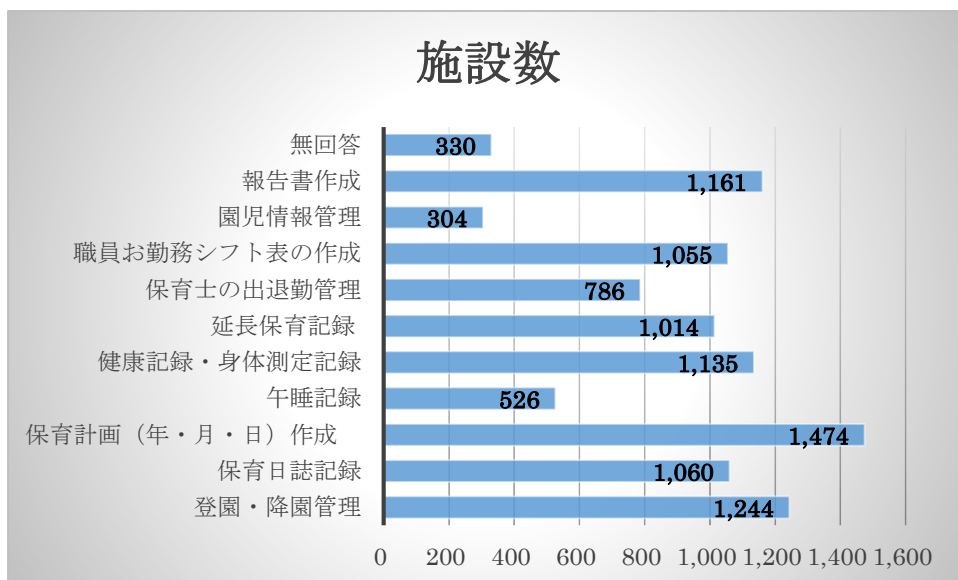
選択肢	施設数
できている	773
どちらともいえない	574
できていない	347
無回答	978
合計	2,672



15 ICT化はどのような種類の業務軽減に有効と思いますか。(複数回答可)

- ☐登園・降園管理 ☐保育日誌記録 ☐保育計画（年・月・日）作成 ☐午睡記録
☐健康記録・身体測定記録 ☐延長保育記録 ☐保育士の出退勤管理
☐園児情報管理 ☐報告書作成

選択肢	施設数	%
登園・降園管理	1,244	46.6
保育日誌記録	1,060	39.7
保育日誌記録 保育計画（年・月・日）作成	1,474	55.2
午睡記録	526	19.7
健康記録・身体測定記録	1,135	42.5
延長保育記録	1,014	37.9
保育士の出退勤管理	786	29.4
職員の勤務シフト表の作成	1,055	39.5
園児情報管理	304	11.4
報告書作成	1,161	43.5
無回答	330	12.4

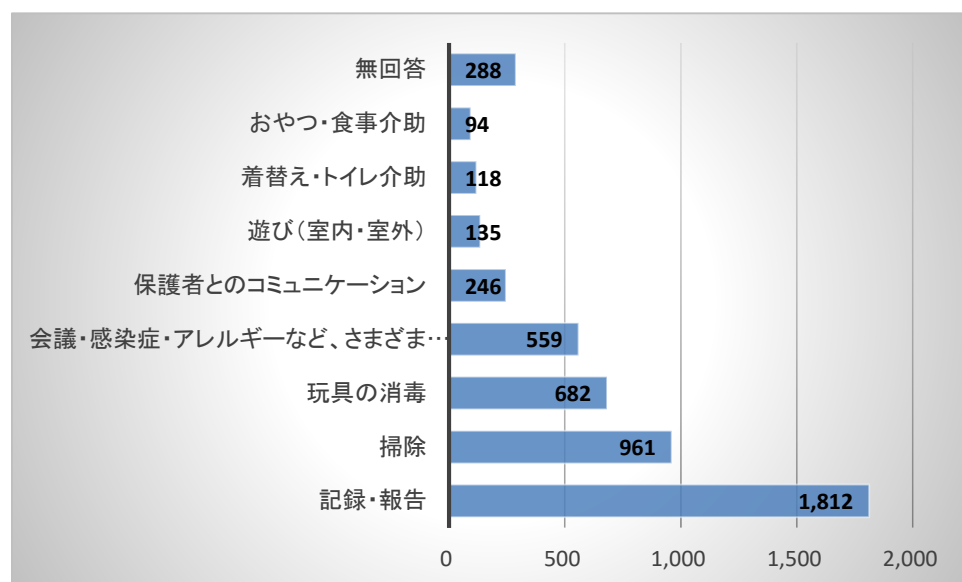


最も多い回答は「保育計画（年・月・日）作成」で1,474施設55.2%であった。

16 保育士の業務軽減で実施したいことは何ですか。(複数回答可)

- ☐乳児の午睡記録 ☐遊び（室内・室外） ☐記録・報告
☐会議・感染症・アレルギーなど、さまざまな対策のための話し合い ☐おやつ・食事介助
☐着替え・トイレ介助 ☐保護者とのコミュニケーション ☐玩具の消毒 ☐掃除

選択肢	施設数	%
遊び（室内・室外）	135	5.1
記録・報告	1,812	67.8
会議・感染症・アレルギーなど、さまざまな対策のための話し合い	559	20.9
おやつ・食事介助	94	3.5
保護者とのコミュニケーション	246	9.2
着替え・トイレ介助	118	4.4
玩具の消毒	682	25.5
掃除	961	36.0
無回答	288	10.8

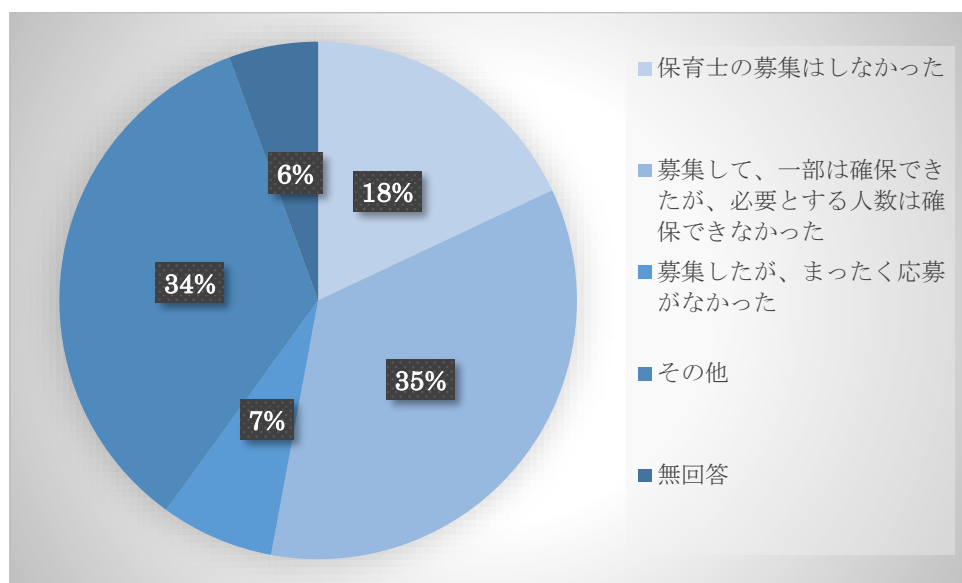


圧倒的に多い回答が「記録・報告」であり、1,812 施設（68%）であった。また、掃除・玩具の消毒などに回答が多かった。

17 平成 28 年 4 月の保育士（新人・経験者を問わず）の募集状況についてお答えください。

□保育士の募集はしなかった □募集して、一部は確保できたが、必要とする人数は確保できなかった
□募集したが、まったく応募がなかった □その他

選択肢	施設数
保育士の募集はしなかった	481
募集して、一部は確保できたが、必要とする人数は確保できなかった	933
募集したが、まったく応募がなかった	189
その他	920
無回答	149
合計	2,672

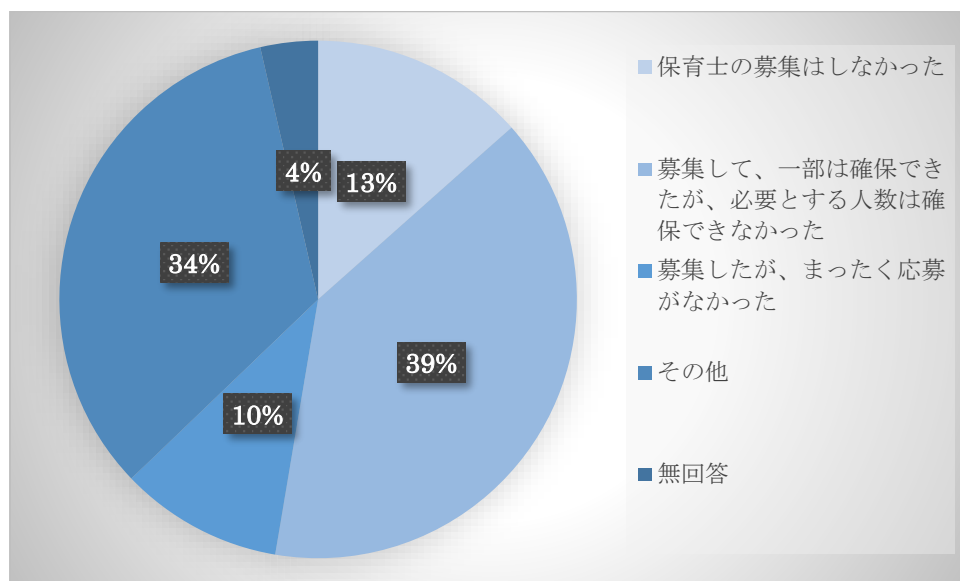


保育士を募集して、十分な数の応募がなかった施設は 1,122 施設（42%）であった。

18 平成 29 年 4 月の保育士（新人・経験者を問わず）の募集状況についてお答えください。

□保育士の募集はしなかった □募集して、一部は確保できたが、必要とする人数は確保できていない
□募集したが、まったく応募がない □その他

選択肢	施設数
保育士の募集はしなかった	359
募集して、一部は確保できたが、必要とする人数は確保できなかった	1,048
募集したが、まったく応募がなかった	272
その他	897
無回答	96
合計	2,672

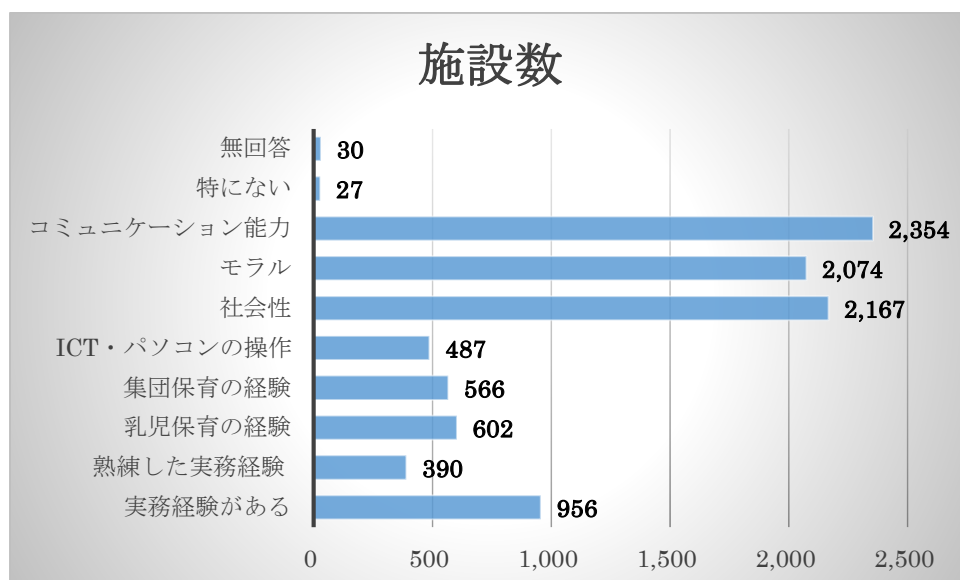


平成 29 年度に十分な保育士の応募がなかった施設が 1,320 施設（49%）であった。

19 雇用する保育士に求めるスキルは何ですか。(複数回答可)

☐実務経験がある ☐熟練した実務経験 ☐乳児保育の経験 ☐集団保育の経験
☐ICT・パソコンの操作 ☐社会性 ☐モラル ☐コミュニケーション能力 ☐特にない

選択肢	施設数
実務経験がある	956
熟練した実務経験	390
乳児保育の経験	602
集団保育の経験	566
ICT・パソコンの操作	487
社会性	2,167
モラル	2,074
コミュニケーション能力	2,354
特にない	27
無回答	30

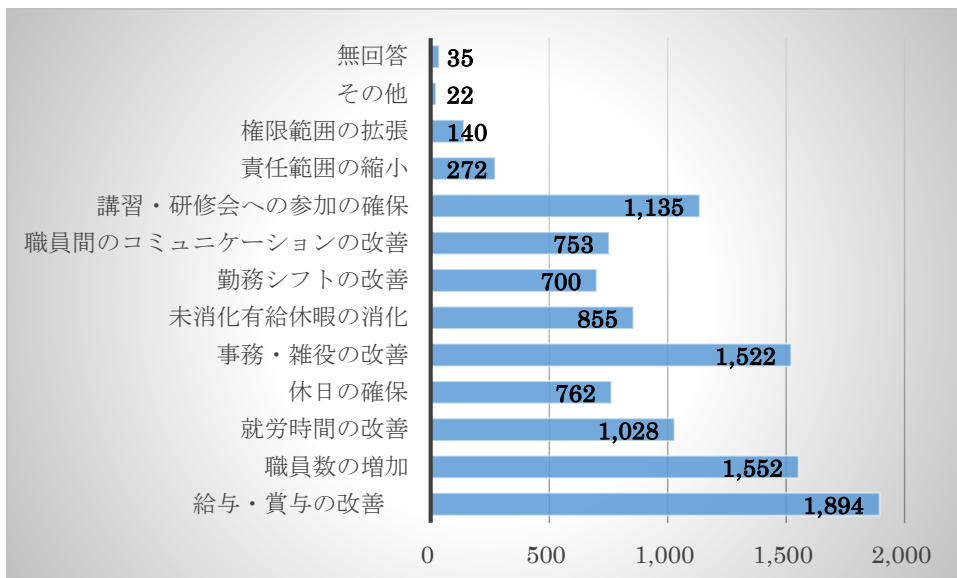


保育士に求められるスキルは保育経験や保育技術のほか、社会性等が求められている。
 コミュニケーション能力は88%の施設で求められ、社会性が81%、モラルが78%で求められている。

20 保育士の雇用環境の整備で行いたいことは何ですか。(複数回答可)

☐給与・賞与の改善 ☐職員数の増加 ☐就労時間の改善 ☐休日の確保 ☐事務・雑役の改善
☐未消化有給休暇の消化 ☐勤務シフトの改善 ☐職員間のコミュニケーションの改善
☐講習・研修会への参加の確保 ☐責任範囲の縮小 ☐権限範囲の拡張 ☐その他

選択肢	施設数
給与・賞与の改善	1,894
職員数の増加	1,552
就労時間の改善	1,028
休日の確保	762
事務・雑役の改善	1,522
未消化有給休暇の消化	855
勤務シフトの改善	700
職員間のコミュニケーションの改善	753
講習・研修会への参加の確保	1,135
責任範囲の縮小	272
権限範囲の拡張	140
その他	22
無回答	35

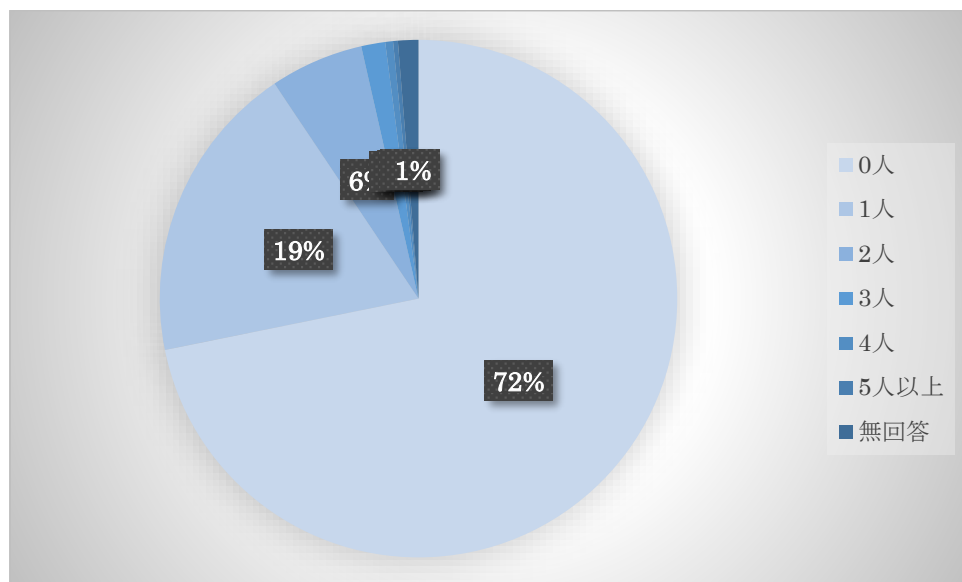


業務環境で改善したい課題としては、給与・賞与の改善が最も多く、次に職員数の増加が多かった。その次の課題としては、事務・雑用の改善が57%の施設、講習・研修会への参加の確保が42%の施設から回答があった。

21 人間関係や保護者との関係から、保育士の精神的負担が増えています。メンタルヘルスケア（精神的、心理的負担のサポート）が必要と感じる、または実際に治療を受けた（受けている）保育士が平成 28 年度に何人いましたか。（精神的負担が原因で離職した保育士を含む）

□0 人 □1 人 □2 人 □3 人 □4 人 □5 人以上

選択肢	施設数
0人	1,919
1人	502
2人	156
3人	40
4人	13
5人以上	8
無回答	34
合計	2,672

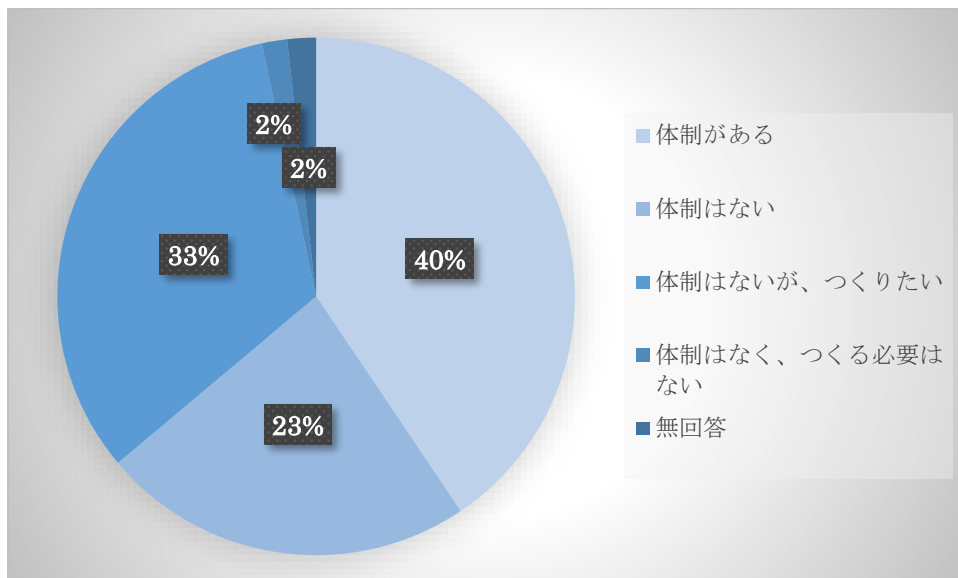


メンタルヘルスケアが必要な保育士が1,026人以上、719施設（27%）でいた。メンタルヘルスケアが必要な保育士が5人以上いる施設が8施設あった。

22 保育士のメンタルヘルスケアに対して、サポート体制がありますか

□体制がある □体制はない □体制はないが、つくりたい □体制はなく、つくる必要はない

選択肢	施設数
体制がある	1,084
体制はない	623
体制はないが、つくりたい	875
体制はなく、つくる必要はない	42
無回答	48
合計	2,672

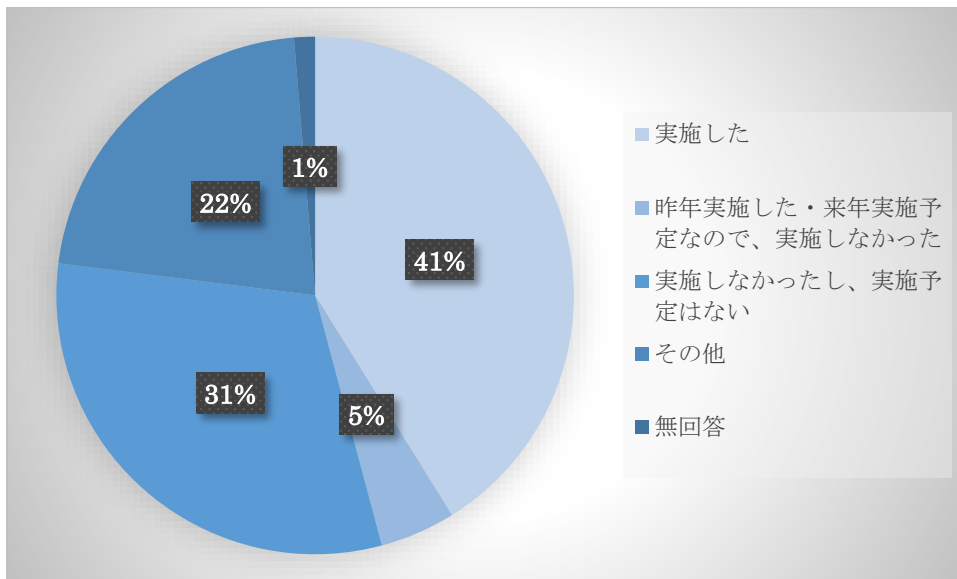


サポート体制がない施設が 1,540 施設（58%）あった。

23 この1年間に保育士のメンタルチェックを実施しましたか

- ☐実施した ☐昨年実施した・来年実施予定なので、実施しなかった
☐実施しなかったし、実施予定はない ☐その他

選択肢	施設数
実施した	1,099
昨年実施した・来年実施予定なので、実施しなかった	126
実施しなかったし、実施予定はない	832
その他	580
無回答	35
合計	2,672



メンタルヘルスチェックを実施予定のない施設が 832 施設（31%）あった。

保育士からの回答結果

1 性別

☐女性 ☐男性

女性	3,259
男性	181
無回答	17
総計	3,457

2 年齢

☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代以上

20代	977
30代	882
40代	905
50代	626
60代以上	47
無回答	20
総計	3,457

3 配偶者の有無

☐あり ☐なし

あり	1,873
なし	1,515
無回答	69
総計	3,457

4 子供の有無

☐あり ☐なし

あり	1,827
なし	1,608
無回答	22
総計	3,457

5 末子の年齢（学年）

☐1歳未満 ☐1歳以上3歳未満 ☐3歳以上就学未満 ☐小学生 ☐中学生 ☐高校生以上（中学卒業以降）

子どもの年齢	人数
1歳未満	62
1歳以上3歳未満	241
3歳以上就学未満	262
小学生	357
中学生	199
高校生以上（中学卒業以降）	775
無回答	19
総計	1,915

6 現在の職場での勤務年数

☐1年未満 ☐1年以上2年未満 ☐2年以上3年未満 ☐3年以上4年未満 ☐4年以上5年未満
☐5年以上10年未満 ☐10年以上

1年未満	458
1年以上2年未満	337
2年以上3年未満	301
3年以上4年未満	297
4年以上5年未満	274
5年以上10年未満	677
10年以上	1,082
無回答	31
合計	3,457

7 これまでに保育士としての通算どの位勤務してきましたか (就業年数(通算))

☐1年未満 ☐1年以上2年未満 ☐2年以上3年未満 ☐3年以上4年未満 ☐4年以上5年未満
☐5年以上10年未満 ☐10年以上

1年未満	163
1年以上2年未満	114
2年以上3年未満	138
3年以上4年未満	157
4年以上5年未満	170
10年以上	2002
5年以上10年未満	690
無回答	23
合計	3,457

8 施設母体

☐公認可保育所(公設公営) ☐認可保育所(公設・民営)
☐認可保育所(民設・民営)(社会福祉法人) ☐認可保育所(民設民営)(株式会社)
☐認可保育所(民設民営)(NPO・その他)
☐認可外保育所(認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など)
☐家庭的保育施設(保育ママ) ☐幼保連携型認定子ども園 ☐幼保連携型以外の認定子ども園
☐その他

認可保育所(公設・公営)	1,148
認可保育所(公設・民営)	144
認可保育所(民設・民営)(社会福祉法人)	1,607
認可保育所(民設・民営)(NPO・その他)	61
認可保育所(民設・民営)(株式会社)	49
認可外保育所(認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など)	143
幼保連携型認定子ども園	227
幼保連携型以外の認定子ども園	28
家庭的保育施設(保育ママ)	4
無回答	18
その他	28
合計	3,457

9 貴施設の児童定員数

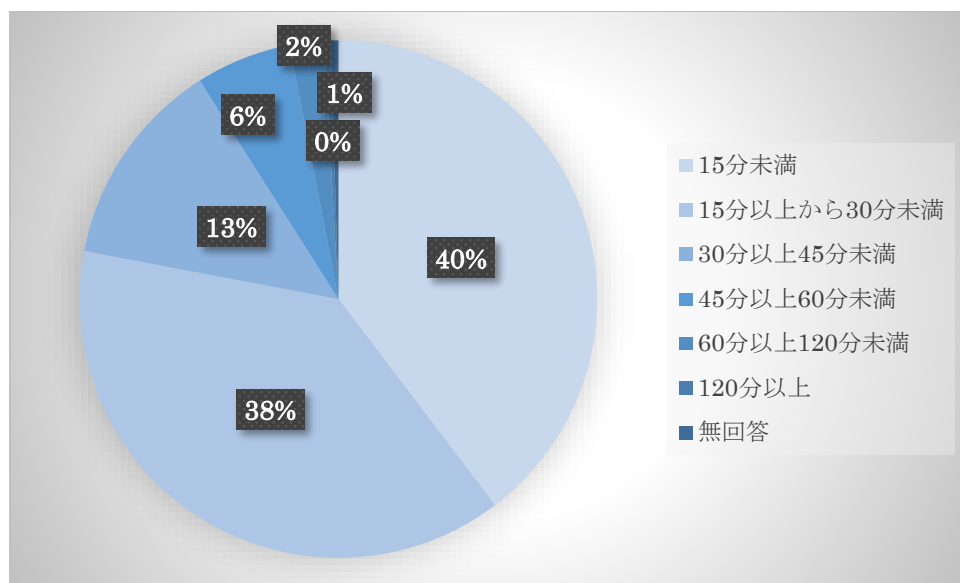
☐1～19 人 ☐20～39 人 ☐40～59 人 ☐60 人～99 人 ☐100 人以上

所属施設の児童定員数	人数
1～19人	135
20～39人	235
40～59人	327
60～99人	1, 131
100人以上	1, 598
無回答	31
総計	3, 457

10 通勤時間

□15 分未満 □15 分以上から 30 分未満 □30 分以上 45 分未満 □45 分以上 60 分未満
□60 分以上 120 分未満 □120 分以上

15分未満	1,371
15分以上から30分未満	1,325
30分以上45分未満	450
45分以上60分未満	206
60分以上120分未満	75
120分以上	14
無回答	16
合計	3,457

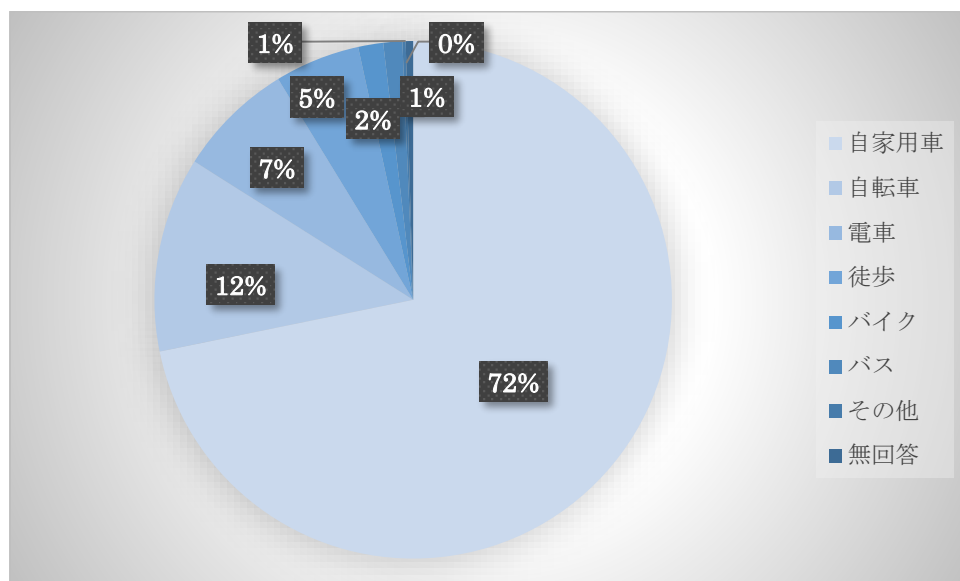


通勤時間は 30 分未満が、2, 696 人 (78%) であった。

11 通勤方法

□徒歩 □自転車 □バイク □バス □自家用車 □電車 □その他

通勤方法	人数
徒歩	184
自転車	421
バイク	54
バス	41
自家用車	2,482
電車	252
その他	7
無回答	16
総計	3,457

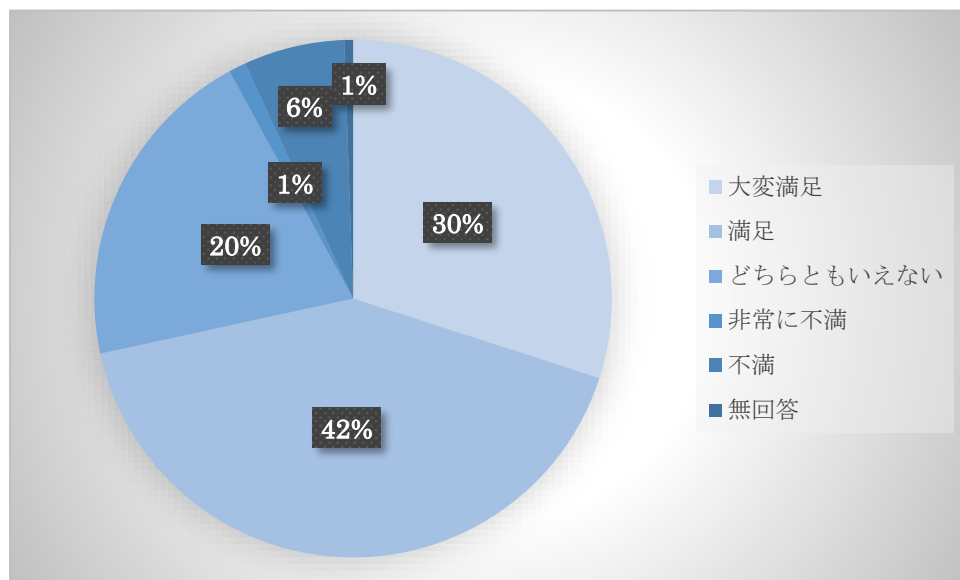


自家用車での通園が2,482人(72%)であった。

12 通勤時間の満足度はいかがですか

☐大変満足 ☐満足 ☐どちらともいえない ☐不満 ☐非常に不満

大変満足	1,036
満足	1,439
どちらともいえない	708
非常に不満	37
不満	218
無回答	19
合計	3,457

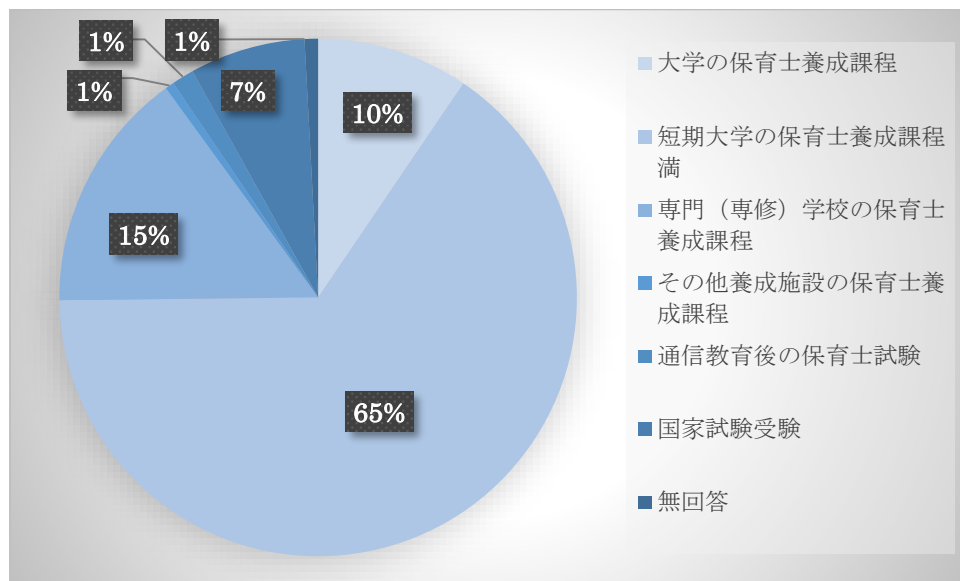


通勤時間の満足度は、「大満足」・「満足」が合わせて 2,475 人 (72%) であった。

13 保育士資格の取得方法

□大学の保育士養成課程 □短期大学の保育士養成課程 □専門（専修）学校の保育士養成課程
□通信教育後の保育士試験 □その他養成施設の保育士養成課程 □国家試験受験

大学の保育士養成課程	328
短期大学の保育士養成課程	2,259
専門（専修）学校の保育士養成課程	524
通信教育後の保育士試験	48
その他養成施設の保育士養成課程	19
国家試験受験	250
無回答	29
合計	3,457

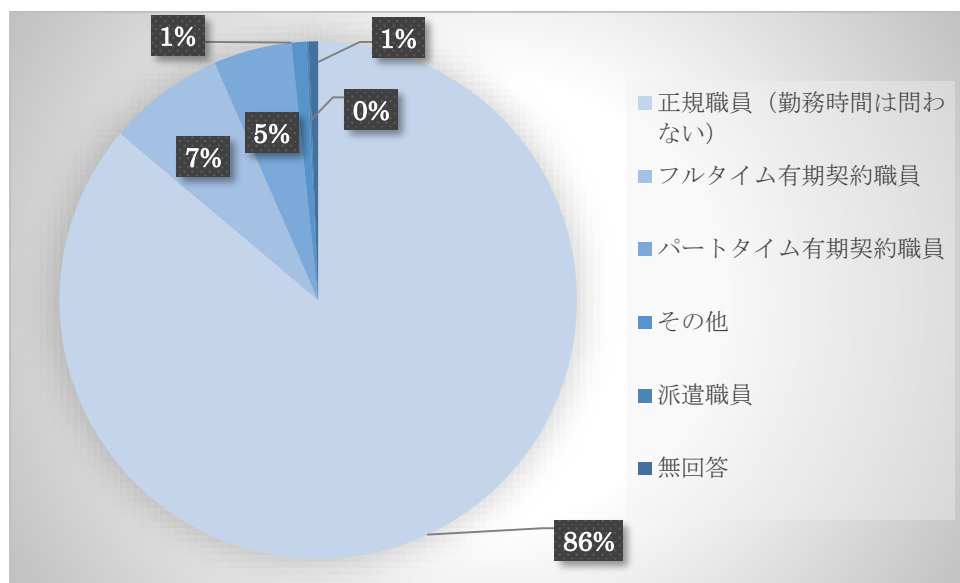


資格取得方法は、「短期大学の保育士養成課程」が2,259人(65%)であった。

14 雇用形態はどれですか

☐ 正規職員（勤務時間は問わない）
 ☐ フルタイム有期契約職員
 ☐ パートタイム有期契約職員
☐ 派遣職員
 ☐ その他

正規職員（勤務時間は問わない）	2978
フルタイム有期契約職員	253
パートタイム有期契約職員	169
派遣職員	5
その他	32
無回答	20
合計	3,457

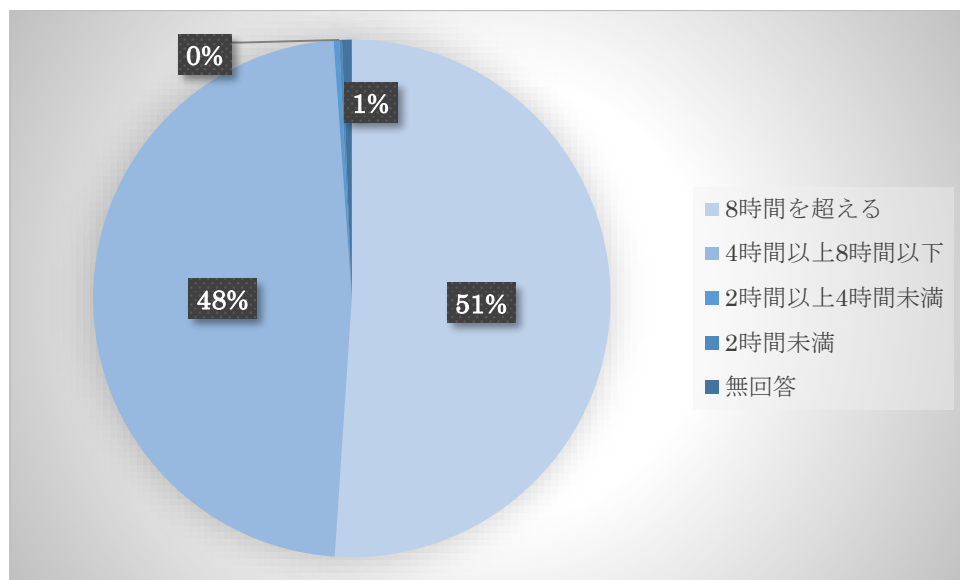


雇用形態は、正規職員が2,978人(86%)であった。

15 一日の勤務時間は何時間ですか（休憩時間を除く）

□2 時間未満 □2 時間以上 4 時間未満 □4 時間以上 8 時間以下 □8 時間を超える

8時間を超える	1,765
4時間以上8時間以下	1,653
2時間以上4時間未満	12
2時間未満	6
無回答	21
合計	3,457

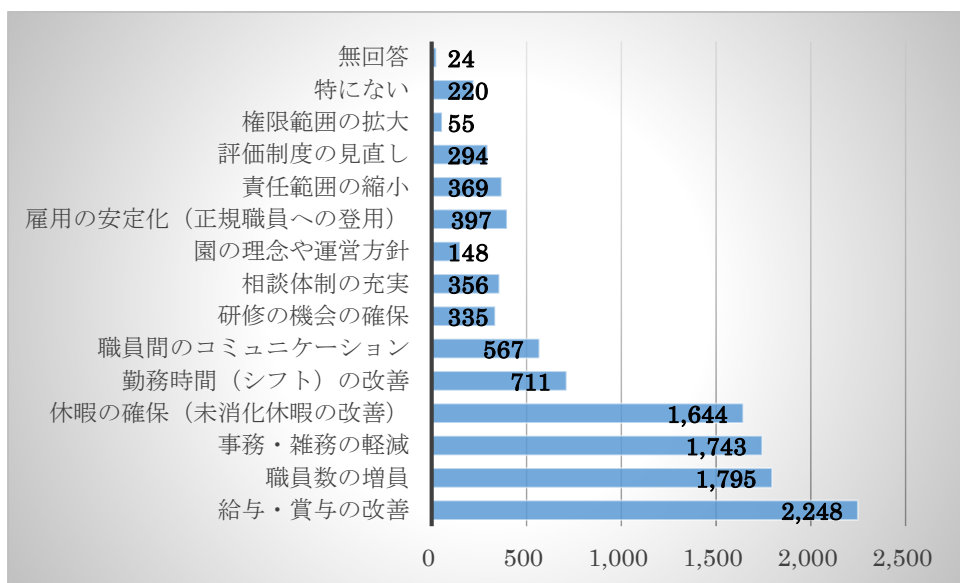


一日の勤務時間は、「8 時間を超える」が 1, 765 人 (51%)、「4 時間以上 8 時間以下」が 1, 653 人 (48%) であった。

16 職場への改善希望点は何ですか（複数回答可）

☐給与・賞与の改善 ☐職員数の増員 ☐事務・雑務の軽減 ☐休暇の確保（未消化休暇の改善）
☐勤務時間（シフト）の改善 ☐職員間のコミュニケーション ☐研修の機会の確保
☐相談体制の充実 ☐園の理念や運営方針 ☐雇用の安定化（正規職員への登用） ☐責任範囲の縮小
☐評価制度の見直し ☐権限範囲の拡大 ☐特にない

選択肢	人数	%
給与・賞与の改善	2,248	65
職員数の増員	1,795	52
事務・雑務の軽減	1,743	50
休暇の確保（未消化休暇の改善）	1,644	48
勤務時間（シフト）の改善	711	21
職員間のコミュニケーション	567	16
研修の機会の確保	335	10
相談体制の充実	356	10
園の理念や運営方針	148	4
雇用の安定化（正規職員への登用）	397	11
責任範囲の縮小	369	11
評価制度の見直し	294	9
権限範囲の拡大	55	2
特にない	220	6
無回答	24	1

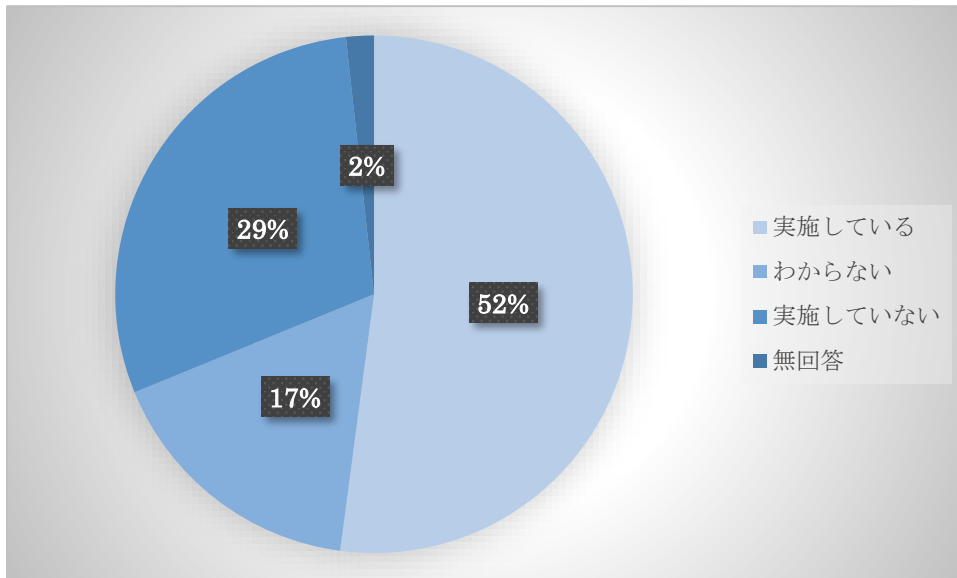


最も多かった回答は、「給与・賞与の改善」2,248人(65%)、次いで、「職員数の増員」1,795人(52%)、「事務・雑務の軽減」1,743人(50%)、「休暇の確保」1,644人(48%)であった。

17 あなたの職場では、業務負担軽減に ICT 化（パソコンやタブレットなどの活用）を実施していますか

☐実施している ☐わからない ☐実施していない

実施している	1,801
わからない	578
実施していない	1,018
無回答	60
総計	3,457

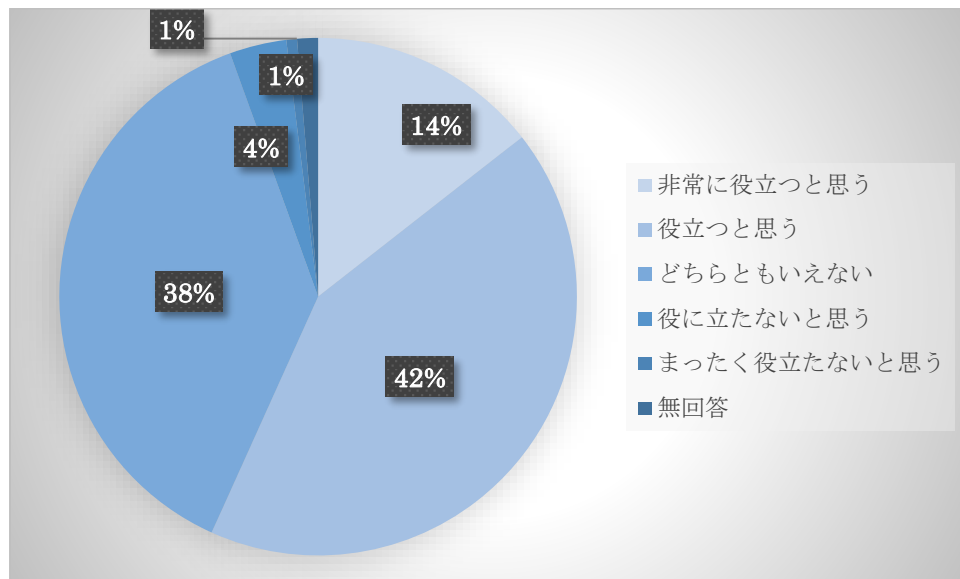


ICT 化を実施していると回答した保育士が 1,801 人 (52%) であった。

18 保育士の業務負担軽減に ICT 化（パソコンやタブレットなどの活用）は役立つと思いますか

☐非常に役立つと思う ☐役立つと思う ☐どちらともいえない ☐役に立たないと思う
☐まったく役立たないと思う

非常に役立つと思う	499
役立つと思う	1,463
どちらともいえない	1,304
役に立たないと思う	123
まったく役立たないと思う	23
無回答	45
総計	3,457

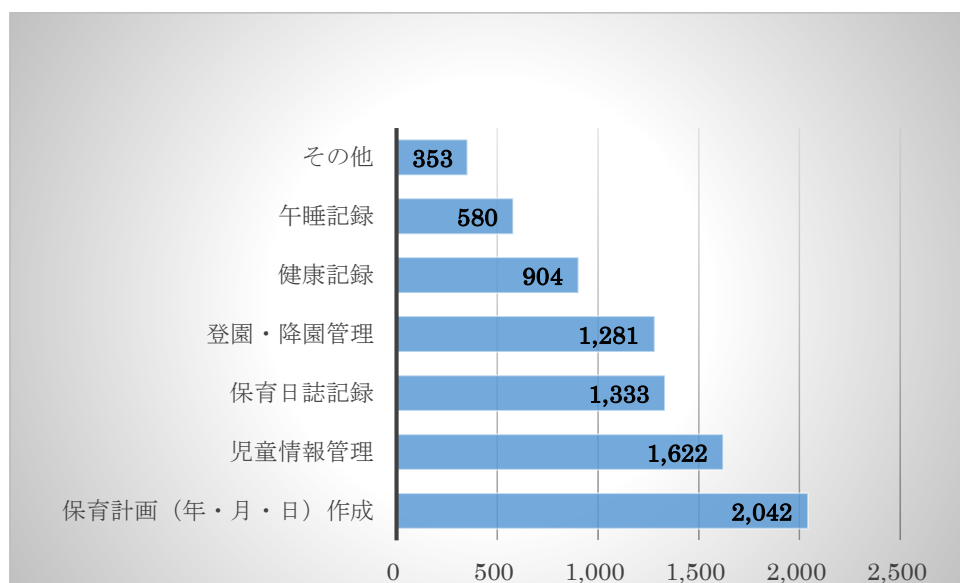


業務負担軽減への ICT 化の効果について、「非常に役立つと思う」が 499 人(14%)、「役立つと思う」が 1,463 人(42%)であった。

19 ICT化でどのような種類の業務軽減ができると思いますか（複数回答可）

☐ 登園・降園管理
 ☐ 保育日誌記録
 ☐ 保育計画（年・月・日）作成
 ☐ 午睡記録
☐ 健康記録
☐ 児童情報管理
☐ その他

選択肢	人数	%
保育計画（年・月・日）作成	2,042	59
児童情報管理	1,622	47
保育日誌記録	1,333	39
登園・降園管理	1,281	37
健康記録	904	26
午睡記録	580	17
その他	353	10
無回答	210	6

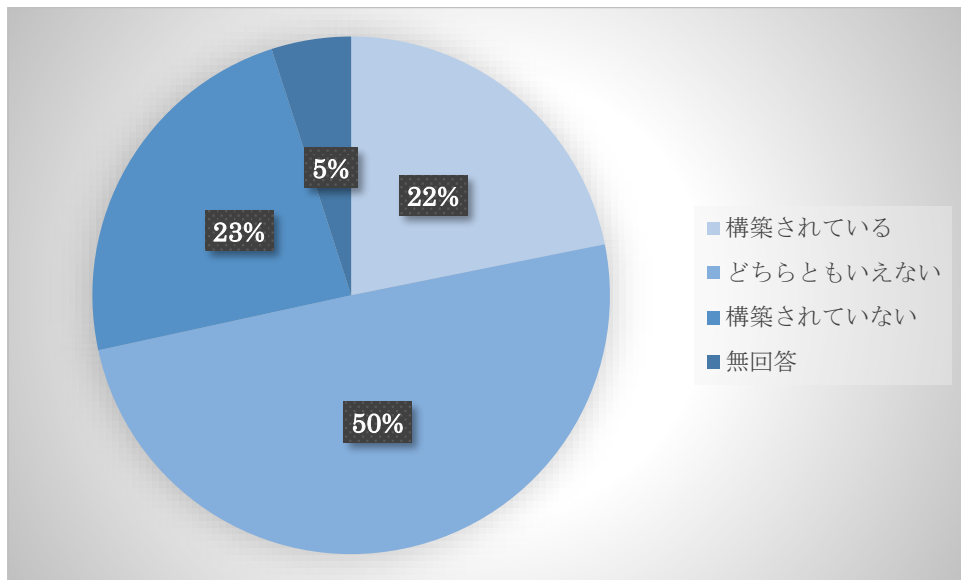


ICT化で業務軽減が可能な業務としては、「保育計画（年・月・日）作成」が2,042人(59%)と最も多かった。

20 ICT化を実施する上で、機器の使用法などのサポート体制（機械の不具合や操作法がわからない時に問題解決をしてくれる）はできていますか

☐できている ☐どちらともいえない ☐できていない

構築されている	755
どちらともいえない	1720
構築されていない	810
無回答	172
合計	3,457

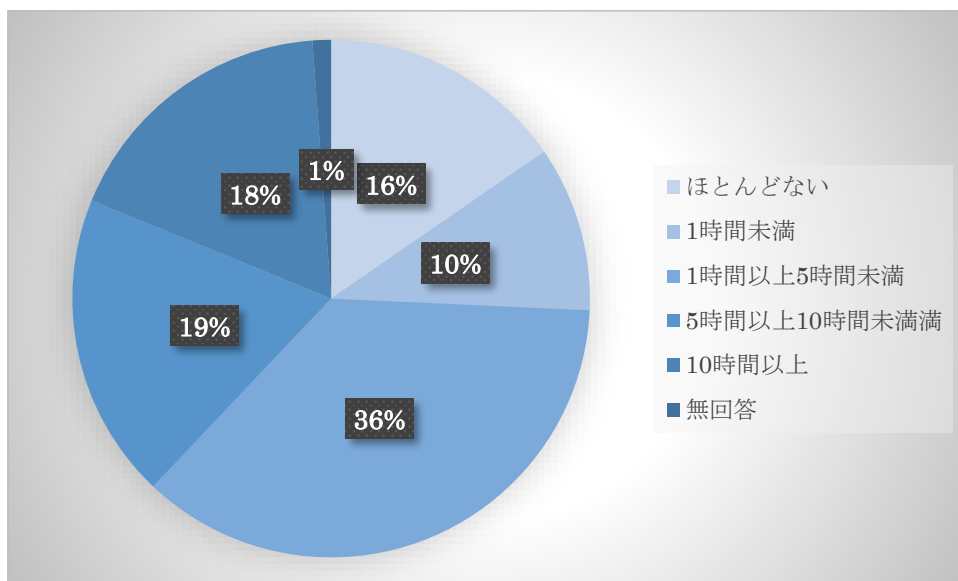


ICTのサポート体制は、「構築されている」が755人(22%)、「構築されていない」が810人(23%)であった。

21 家に持ち帰ってする仕事時間は、月に何時間位ありますか

□ほとんどない □1時間未満 □1時間以上5時間未満 □5時間以上10時間未満 □10時間以上

ほとんどない	532
1時間未満	357
1時間以上5時間未満	1,257
5時間以上10時間未満	661
10時間以上	610
無回答	40
合計	3,457

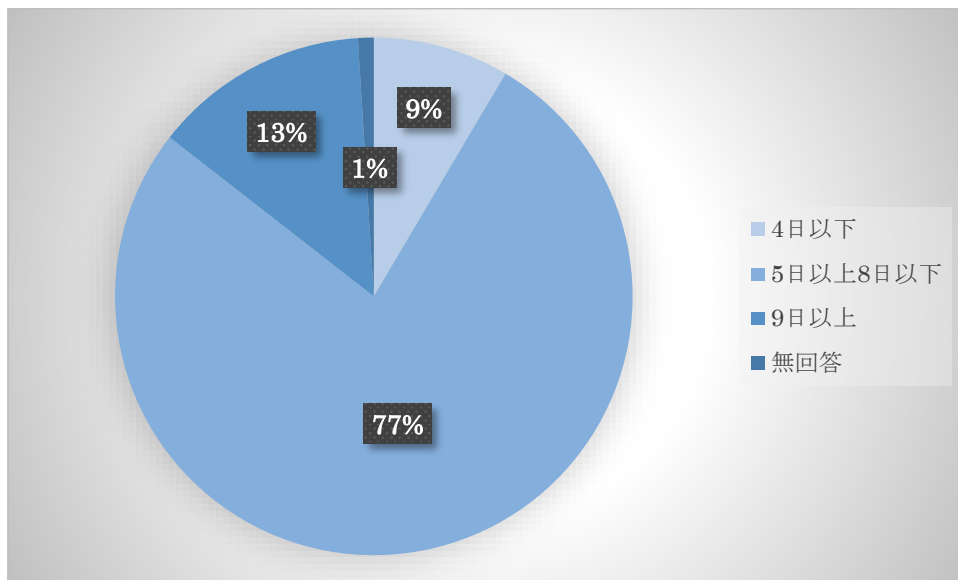


家に持ち帰ってする仕事時間は、「1時間以上5時間未満」の回答が1,257人(36%)と最も多かった。また、「10時間以上」が610人(18%)であった。

22 月当たりの休日は何日ありますか

☐4 日以下 ☐5 日以上 8 日以下 ☐9 日以上

4日以下	294
5日以上8日以下	2,663
9日以上	466
無回答	34
合計	3,457

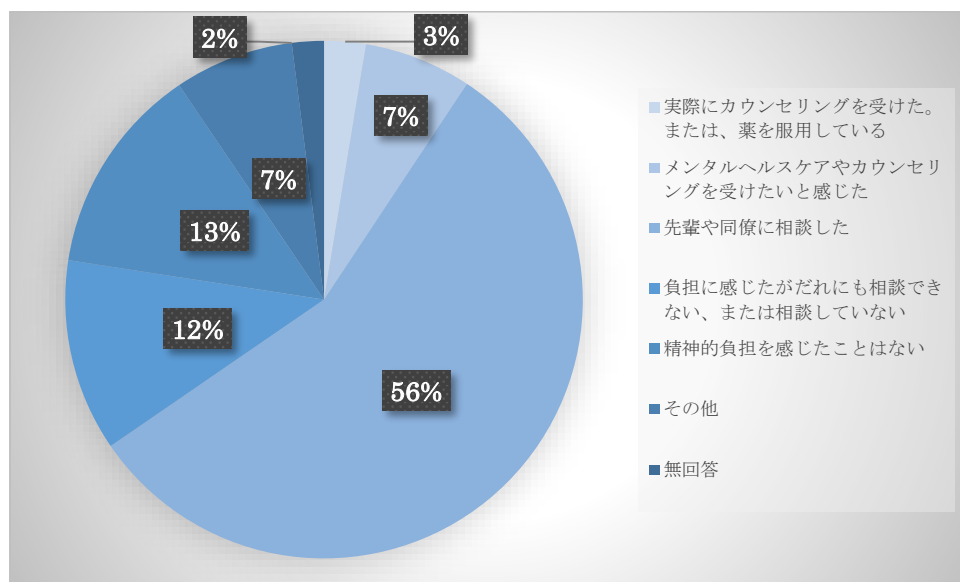


月当たりの休日は「5 日以上 8 日以下」が 2,663 人 (77%) であった。

23 人間関係や保護者との関係から、保育士の精神的負担が増えています。この1年間にメンタルヘルスケアを受けたいと感じることや、実際にカウンセリングなどを受けたことがありますか。また、負担を感じた時にはどのようにしましたか

- ☐実際にカウンセリングを受けた。または、薬を服用している。
- ☐メンタルヘルスケアやカウンセリングを受けたいと感じた
- ☐先輩や同僚に相談した ☐負担を感じたが、だれにも相談できない、または、相談していない
- ☐精神的負担を感じたことはない ☐その他

実際にカウンセリングを受けた。または、薬を服用している	90
メンタルヘルスケアやカウンセリングを受けたいと感じた	232
先輩や同僚に相談した	1,940
負担を感じたがだれにも相談できない、または相談していない	415
精神的負担を感じたことはない	453
その他	258
無回答	69
合計	3,457

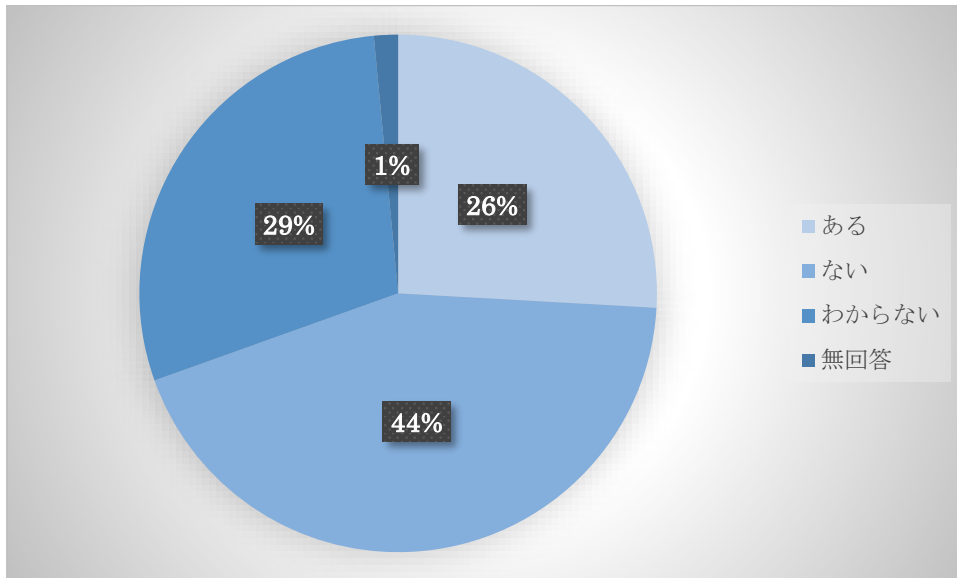


「負担を感じたが、だれにも相談できない、または、相談していない」と回答した保育士が 415 人(13%)であった。「メンタルヘルスケアやカウンセリングを受けたいと感じた」と回答した保育士が 232 (7%) であった。

24 あなたの職場では、メンタルヘルスケア（精神的負担をサポートする）体制がありますか。

☐ある ☐ない ☐わからない

ある	895
ない	1,509
わからない	1,001
無回答	52
総計	3,457

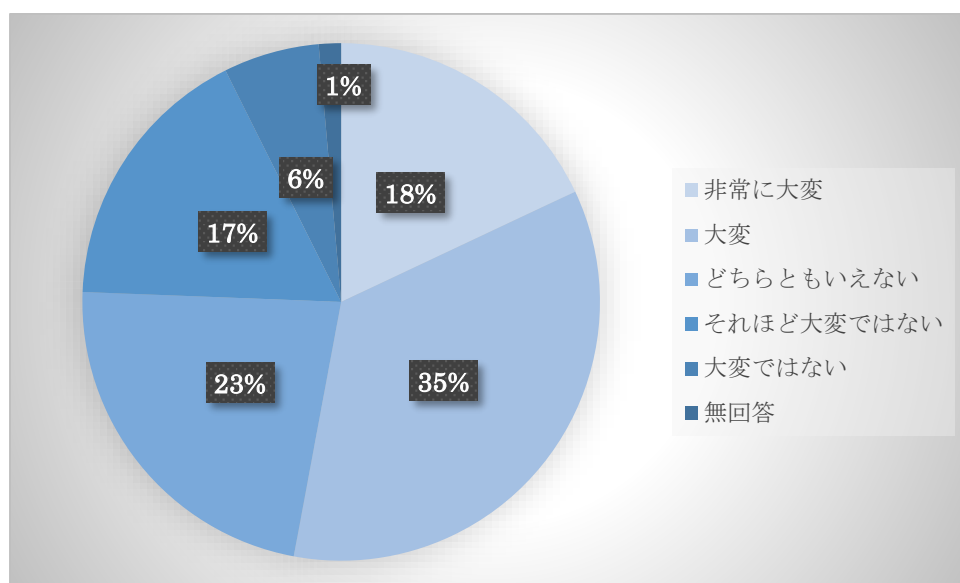


メンタルヘルスケア体制がないと回答した保育士が1,509人（44%）であった。

25 乳児保育で午睡中 5 分毎の呼吸状態やうつ伏せでないことを確認する業務についてどのように感じますか

□非常に大変 □大変 □どちらともいえない □それほど大変ではない □大変ではない

非常に大変	622
大変	1208
どちらともいえない	784
それほど大変ではない	588
大変ではない	207
無回答	48
合計	3,457

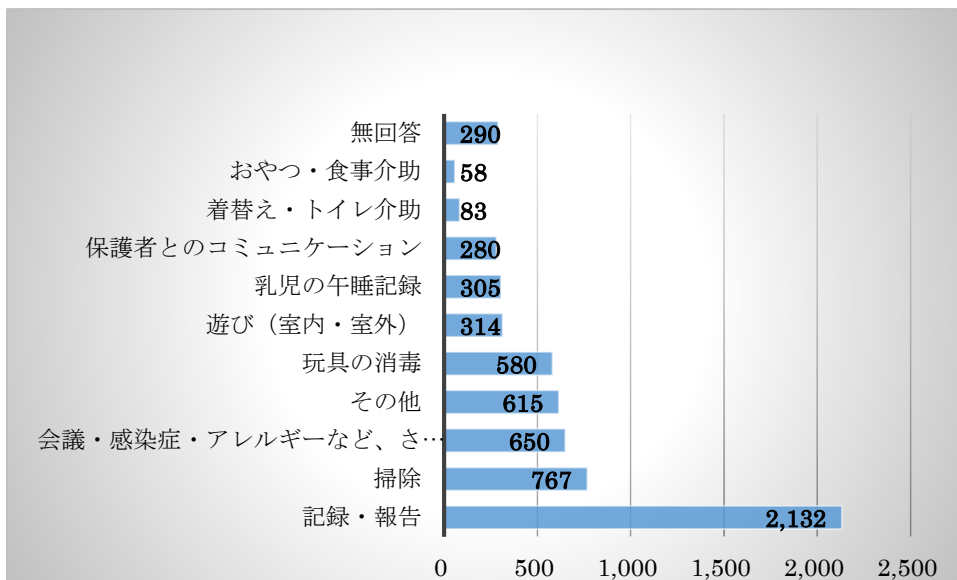


午睡中 5 分毎の呼吸状態やうつ伏せでないことを確認する業務が、「非常に大変」、「大変」と回答した保育士が、それぞれ 622 人(18%)、1,208 人(35%)で合計 1,830 人(53%)であった。

26 業務軽減で行いたいことは何ですか（複数回答可）

- ☐遊び（室内・室外） ☐記録・報告
☐会議・感染症・アレルギーなど、さまざまな対策のための話し合い
☐おやつ・食事介助 ☐乳児の午睡記録 ☐着替え・トイレ介助
☐保護者とのコミュニケーション ☐玩具の消毒 ☐掃除 ☐その他

選択肢	人数	%
記録・報告	2,132	62
掃除	767	22
会議・感染症・アレルギーなど、さまざまな対策のための話し合い	650	19
その他	615	18
玩具の消毒	580	17
遊び（室内・室外）	314	9
乳児の午睡記録	305	9
保護者とのコミュニケーション	280	8
着替え・トイレ介助	83	2
おやつ・食事介助	58	2
無回答	290	8

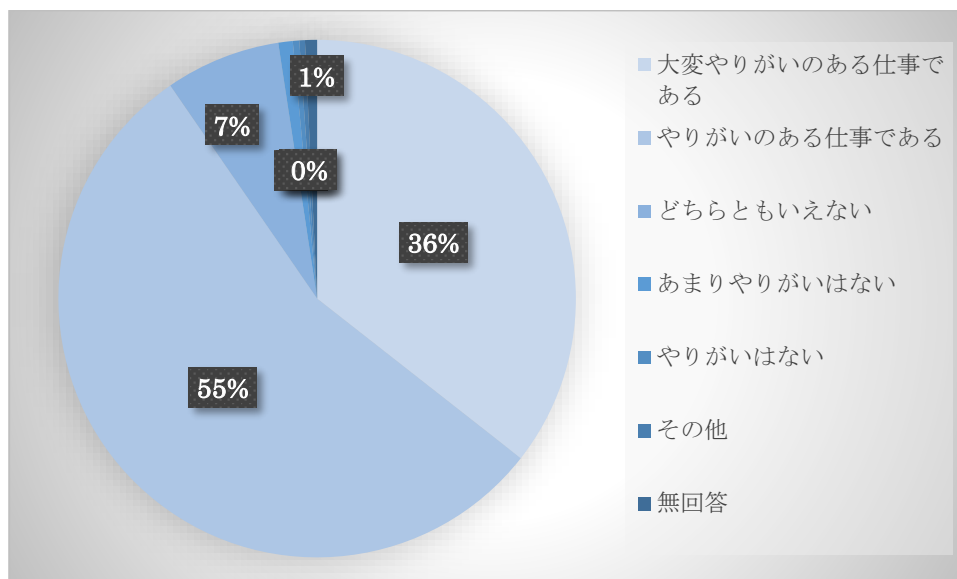


業務軽減で行いたいのは、「記録・報告」が2,132人(62%)であった。

27 保育士としてのやりがいを感じますか

☐大変やりがいのある仕事である
 ☐やりがいのある仕事である
 ☐どちらともいえない
☐あまりやりがいはない
 ☐やりがいはない
 ☐その他

大変やりがいのある仕事である	1,230
やりがいのある仕事である	1,895
どちらともいえない	249
あまりやりがいはない	31
やりがいはない	14
その他	12
無回答	26
合計	3,457

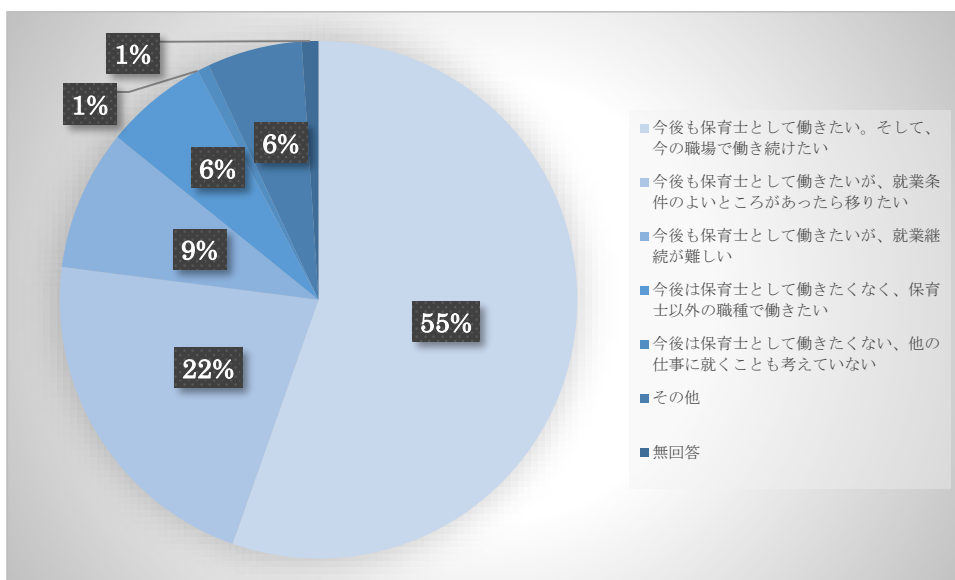


「大変やりがいのある仕事である」、「やりがいのある仕事である」と回答した保育士は、1,230人(36%)、1,895人(55%)であった。

28 就業継続意向についてお答えください

- ☐ 今後も保育士として働きたい。そして、今の職場で働きたい
☐ 今後も保育士として働きたいが、就業条件のよいところがあったら移りたい
☐ 今後も保育士として働きたいが、就業継続が難しい
☐ 今後は保育士として働きたくなく、保育士以外の職種で働きたい
☐ 今後は保育士として働きたくない、他の仕事に就くことも考えていない
☐ その他

今後も保育士として働きたい。そして、今の職場で働きたい	1,915
今後も保育士として働きたいが、就業条件のよいところがあったら移りたい	748
今後も保育士として働きたいが、就業継続が難しい	304
今後は保育士として働きたくなく、保育士以外の職種で働きたい	223
今後は保育士として働きたくない、他の仕事に就くことも考えていない	26
その他	205
無回答	36
合計	3,457

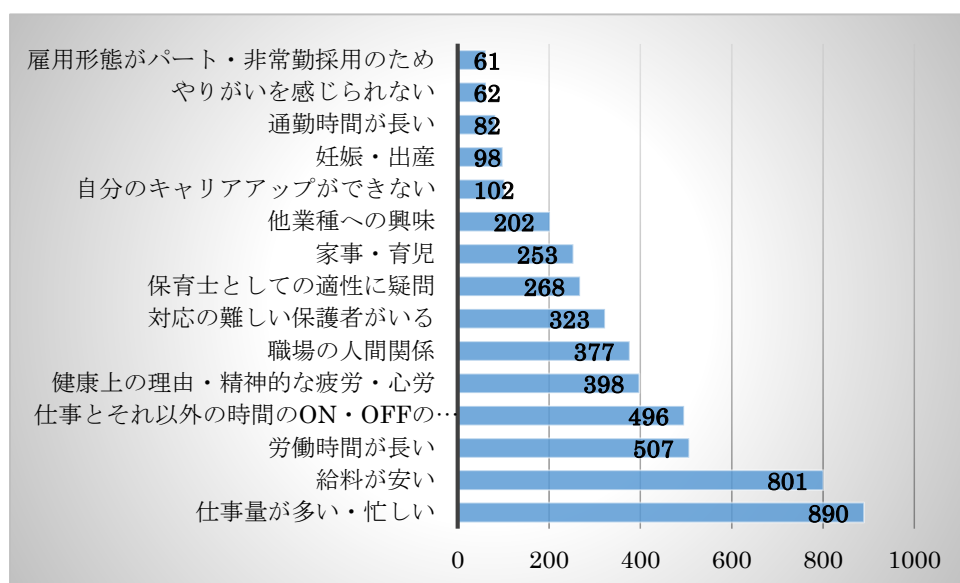


「今後も保育士として働きたいが、就業継続が難しい」、「今後は保育士として働きたくなく、保育士以外の職種で働きたい」と離職を考慮している保育士が、それぞれ 304 人(9%)、223 人(6%) 合わせて 15%であった。

29 退職意向理由は何ですか（複数回答可）転職・退職希望のある方のみ回答してください。

- ☐ 給料が安い ☐ 仕事量が多い・忙しい ☐ 労働時間が長い
☐ 仕事とそれ以外の時間の on・off の区別がしにくい ☐ 対応の難しい保護者がいる
☐ 他業種への興味 ☐ 職場の人間関係 ☐ 保育士としての適性に疑問
☐ 健康上の理由・精神的な疲労・心労 ☐ 家事・育児 ☐ 妊娠・出産
☐ 通勤時間が長い ☐ 雇用形態がパート・非常勤採用のため ☐ 自分のキャリアアップができない
☐ やりがいを感じられない

仕事量が多い・忙しい	890
給料が安い	801
労働時間が長い	507
仕事とそれ以外の時間の on・off の区別がしにくい	496
健康上の理由・精神的な疲労・心労	398
職場の人間関係	377
対応の難しい保護者がいる	323
保育士としての適性に疑問	268
家事・育児	253
他業種への興味	202
自分のキャリアアップができない	102
妊娠・出産	98
通勤時間が長い	82
やりがいを感じられない	62
雇用形態がパート・非常勤採用のため	61



離職意向理由としては、「仕事量が多い・忙しい」890 人、「給料が安い」801 人、「労働時間が長い」507 人、「仕事とそれ以外の時間の on・off の区別がしにくい」496 人と多かった。

人材派遣事業所からの回答結果

1 都道府県名

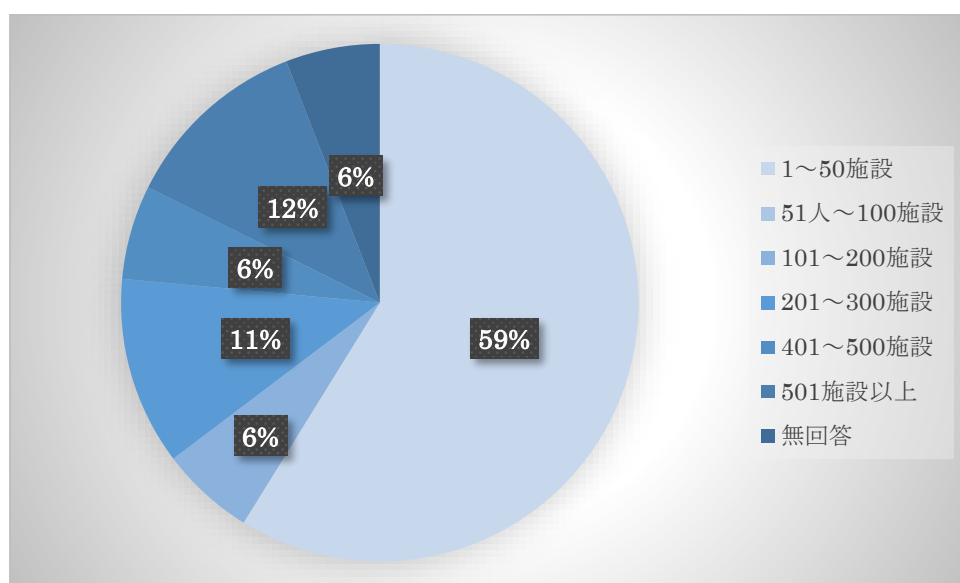
該当するものを選択してください。

愛知県	1
茨城県	1
沖縄県	1
宮崎県	1
京都府	1
秋田県	1
神奈川県	2
静岡県	1
石川県	1
大阪府	2
東京都	4
福井県	1
合計	17

2 保育施設からの求人件数は、現在何件ありますか。(施設数でお答えください)

☐ 1～50 施設
 ☐ 51 人～100 施設
 ☐ 101～200 施設
 ☐ 201～300 施設
 ☐ 301～400 施設
☐ 401～500 施設
☐ 501 施設以上

1～50施設	10
51人～100施設	0
101～200施設	1
201～300施設	2
401～500施設	1
501施設以上	2
無回答	1
合計	17

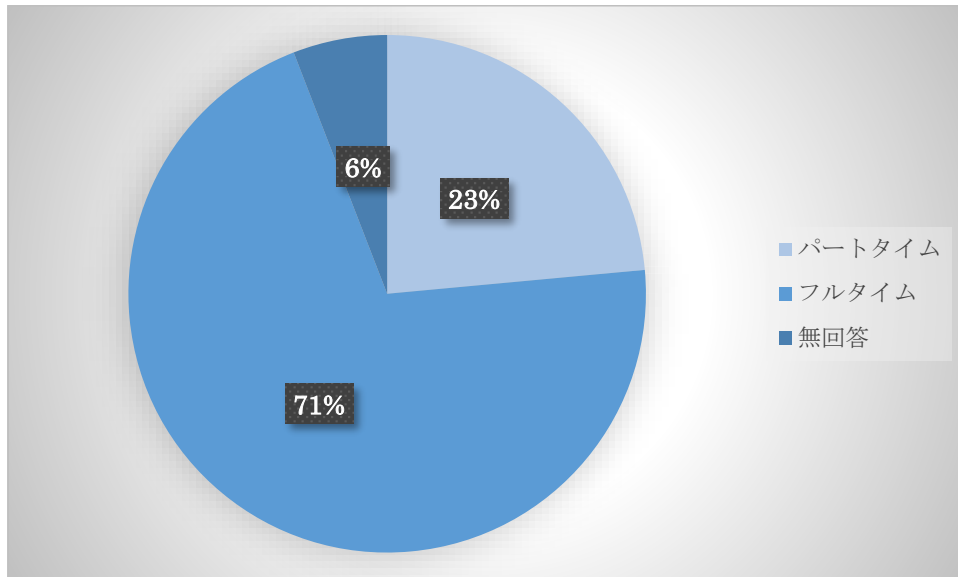


保育施設からの求人件数は、「1～50 施設」が最も多かったが、「501 施設以上」も 2 社あった。

3 保育施設から求人の勤務時間は、どれが多いですか

□フルタイム □パートタイム □その他

パートタイム	4
フルタイム	12
無回答	1
合計	17

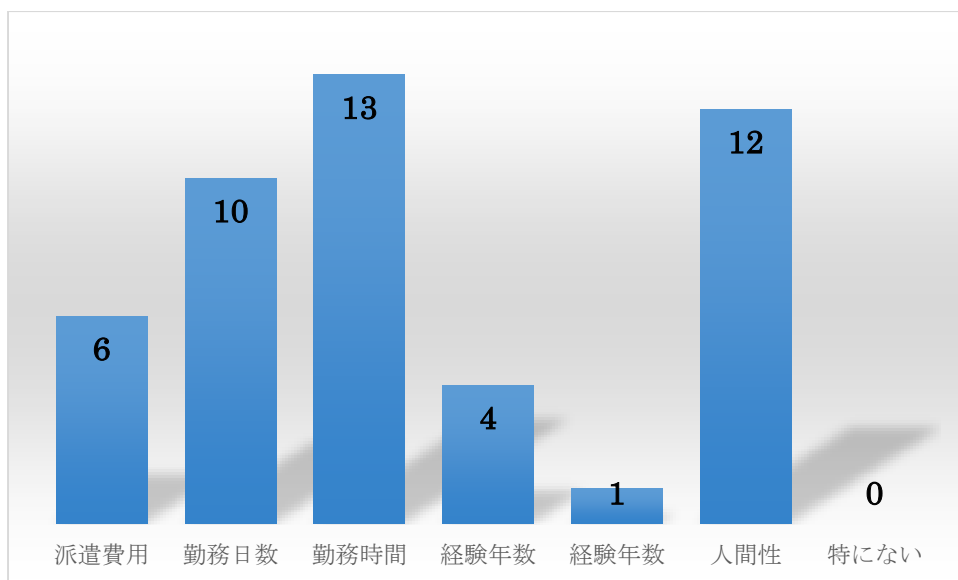


保育施設から求人の勤務時間は、「フルタイム」が最も多く 12 社であった。

4 保育施設側が提示する雇用条件として、重視しているものは何ですか（複数回答可）

☐派遣費用 ☐勤務日数 ☐勤務時間 ☐経験年数 ☐保育技術 ☐人間性 ☐特にない

派遣費用	6
勤務日数	10
勤務時間	13
経験年数	4
経験年数	1
人間性	12
特にない	0

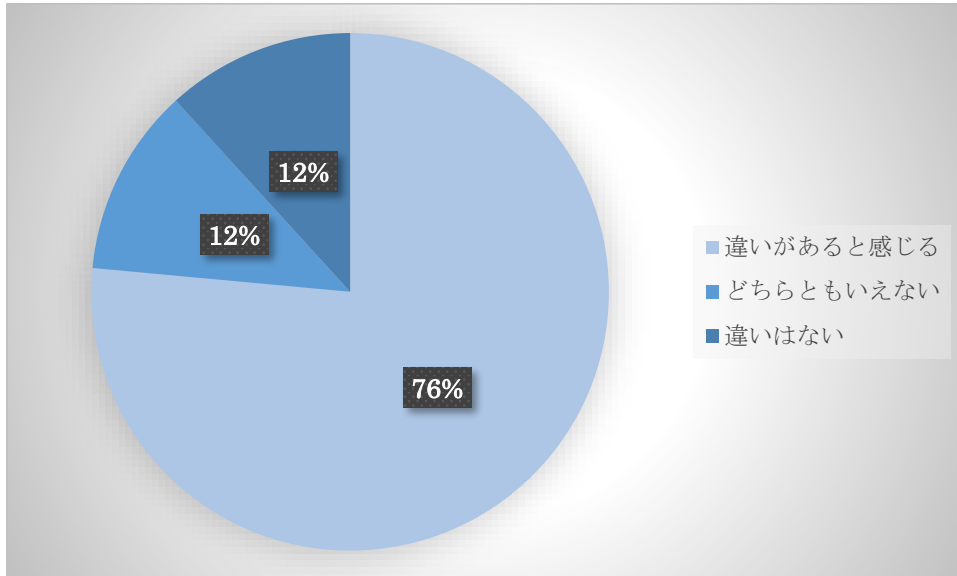


保育施設側が提示する雇用条件として、重視しているものは、「勤務時間」「人間性」が多かった。

5 保育士の残業や家に持ち帰ってする仕事量は、施設の設立母体による違いがあると感じますか

☐違いがあると感じる ☐違いはない ☐どちらともいえない

違いがあると感じる	13
どちらともいえない	2
違いはない	2
合計	17

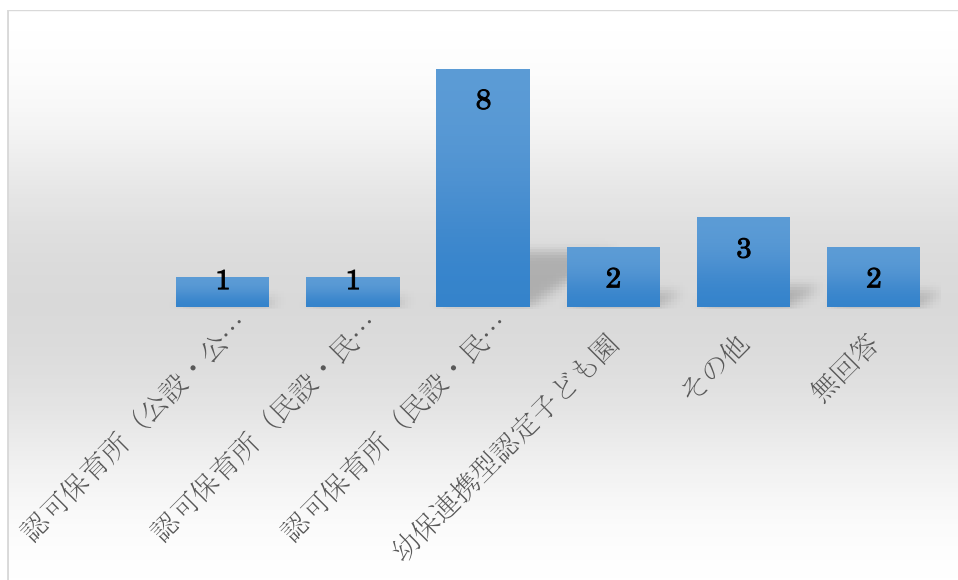


保育士の残業や家に持ち帰ってする仕事量は、施設の設立母体による違いがあると感じたものが最も多かった。

6 保育士の残業や家に持ち帰ってする仕事量が多いのは、どのような形態の保育施設ですか

- ☐ 公認可保育所（公設公営） ☐ 認可保育所（公設・民営）
☐ 認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人） ☐ 認可保育所（民設民営）（株式会社）
☐ 認可保育所（民設民営）（NPO・その他）
☐ 認可外保育所（認証保育所 A・B 型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）
☐ 家庭的保育施設（保育ママ） ☐ 幼保連携型認定子ども園 ☐ 幼保連携型以外の認定子ども園
☐ その他

認可保育所（公設・公営）	1
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	1
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	8
幼保連携型認定子ども園	2
その他	3
無回答	2

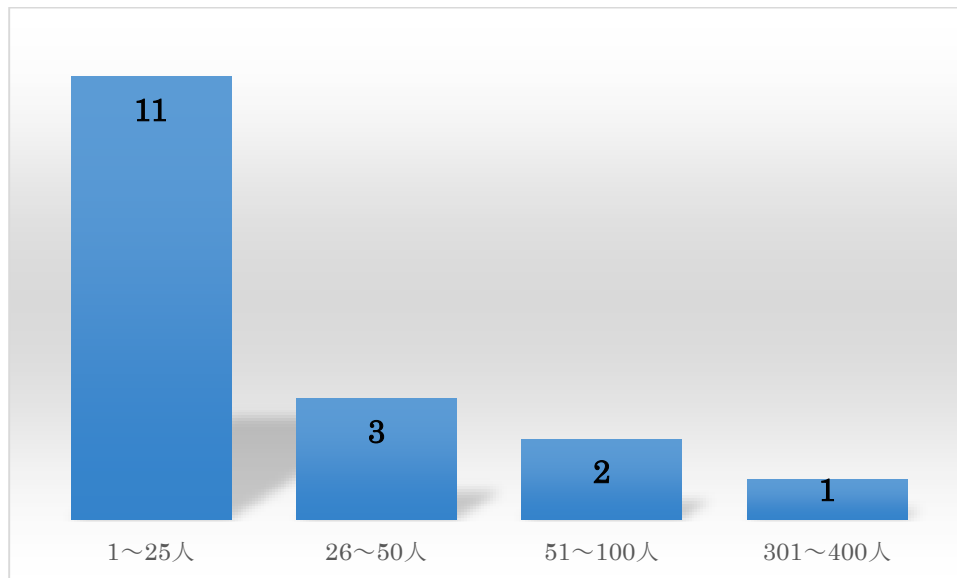


保育士の残業や家に持ち帰ってする仕事量が多い保育施設の形態は、認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）であった。

7 保育士からの求職希望件数は、現在何件ありますか

☐ 1～25 人 ☐ 25 人～50 人 ☐ 1～100 人 ☐ 101～200 人 ☐ 201～. 300 人
☐ 301～400 人 ☐ 401～. 500 人 ☐ 500 人以上

1～25人	11
26～50人	3
51～100人	2
301～400人	1
合計	17

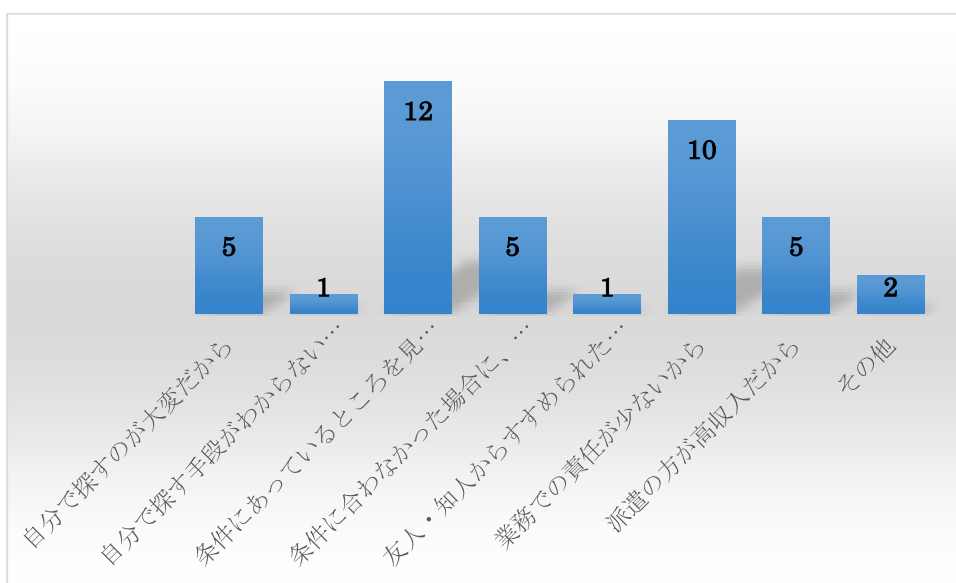


保育士からの求職希望件数は、「1～25 人」が最も多かった。

8 保育士が派遣を希望する理由で多いのはどれですか。(複数回答可：上位3つを選択してください。)

- ☐自分で探すのが大変だから ☐自分で探す手段がわからないから
☐条件にあっているところを見つけやすいから ☐条件に合わなかった場合に、すぐに転職できるから
☐友人・知人からすすめられたから ☐業務での責任が少ないから ☐派遣の方が高収入だから
☐その他

自分で探すのが大変だから	5
自分で探す手段がわからないから	1
条件にあっているところを見つけやすいから	12
条件に合わなかった場合に、すぐに転職できるから	5
友人・知人からすすめられたから	1
業務での責任が少ないから	10
派遣の方が高収入だから	5
その他	2

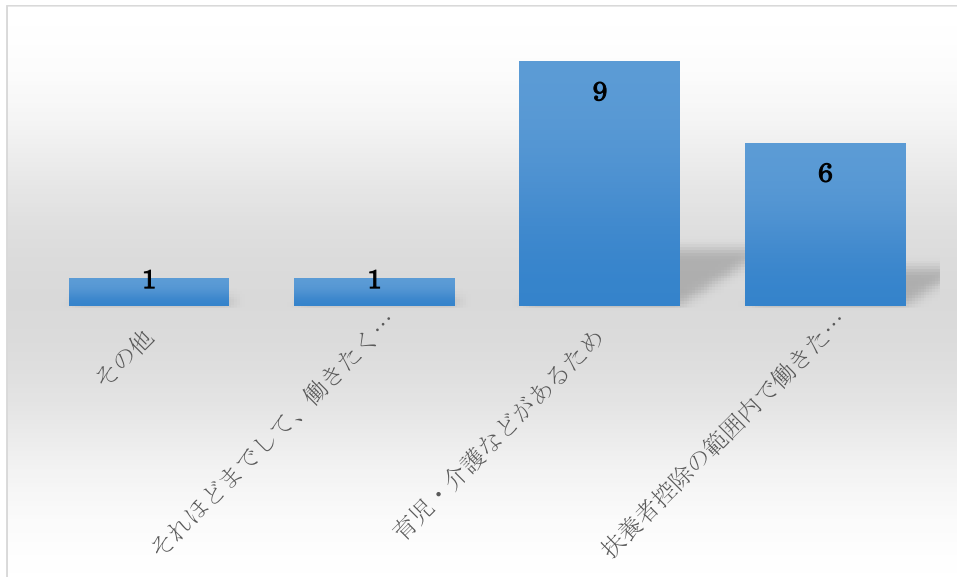


保育士が派遣を希望する理由としては、「条件にあっているところを見つけやすいから」、「業務での責任が少ないから」が多かった。

9 フルタイム（早朝・夕方以降の勤務を含む）勤務ができない理由として多いと感じるものは何ですか。

- ☐ 育児・介護などがあるため ☐ 扶養者控除の範囲内で働きたいから
☐ それほどまでして、働きたくないから ☐ その他

その他	1
それほどまでして、働きたくないから	1
育児・介護などがあるため	9
扶養者控除の範囲内で働きたいから	6

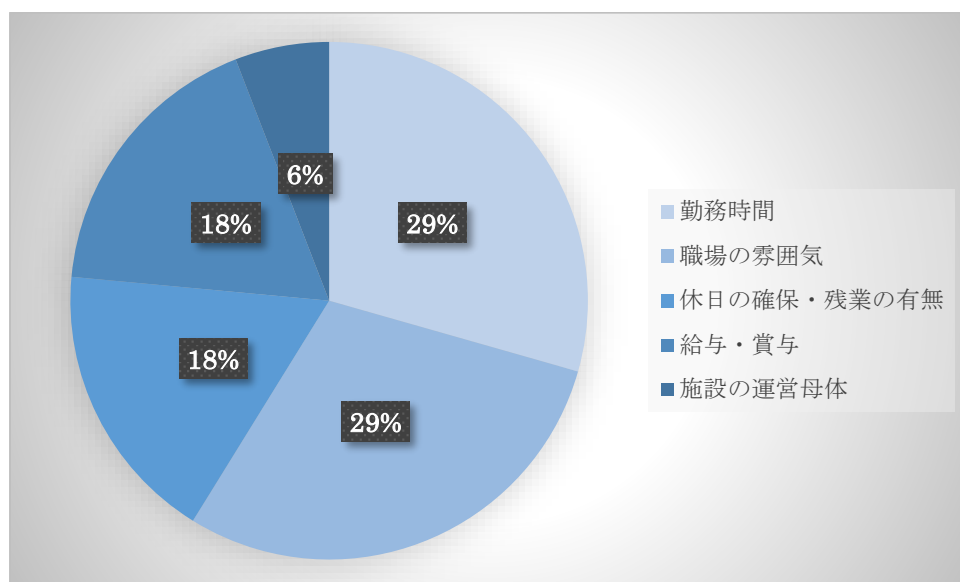


フルタイム（早朝・夕方以降の勤務を含む）勤務ができない理由としては、「育児・介護などがあるため」が最も多く、次いで多いのが「扶養者控除の範囲内で働きたいから」であった。

10 保育士が求職条件として一番重視しているものは何ですか

☐給与・賞与 ☐休日の確保・残業の有無 ☐勤務時間 ☐通勤時間 ☐保育所の規模 ☐乳児保育の有無
☐施設の運営母体 ☐保育士の充足度 ☐職場の雰囲気

勤務時間	5
職場の雰囲気	5
休日の確保・残業の有無	3
給与・賞与	3
施設の運営母体	1
合計	17

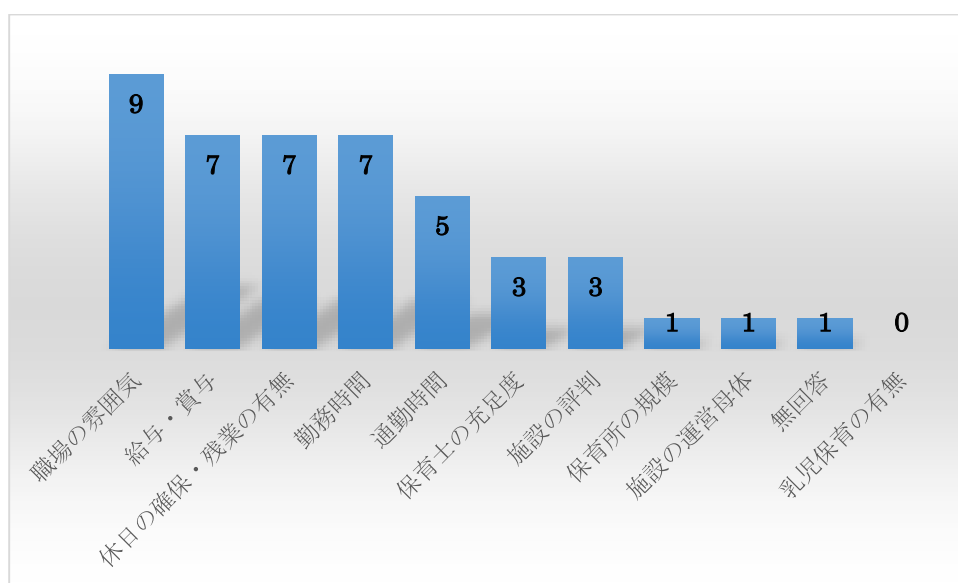


保育士が求職条件として一番重視しているものは、「勤務時間」と「職場の雰囲気」であった。

11 保育士が求職条件として2、3番目に重視しているものは何ですか（複数回答可）

☐給与・賞与 ☐休日の確保・残業の有無 ☐勤務時間 ☐通勤時間 ☐保育所の規模 ☐乳児保育の有無
☐施設の運営母体 ☐保育士の充足度 ☐職場の雰囲気 ☐施設の評判

職場の雰囲気	9
給与・賞与	7
休日の確保・残業の有無	7
勤務時間	7
通勤時間	5
保育士の充足度	3
施設の評判	3
保育所の規模	1
施設の運営母体	1
無回答	1
乳児保育の有無	0

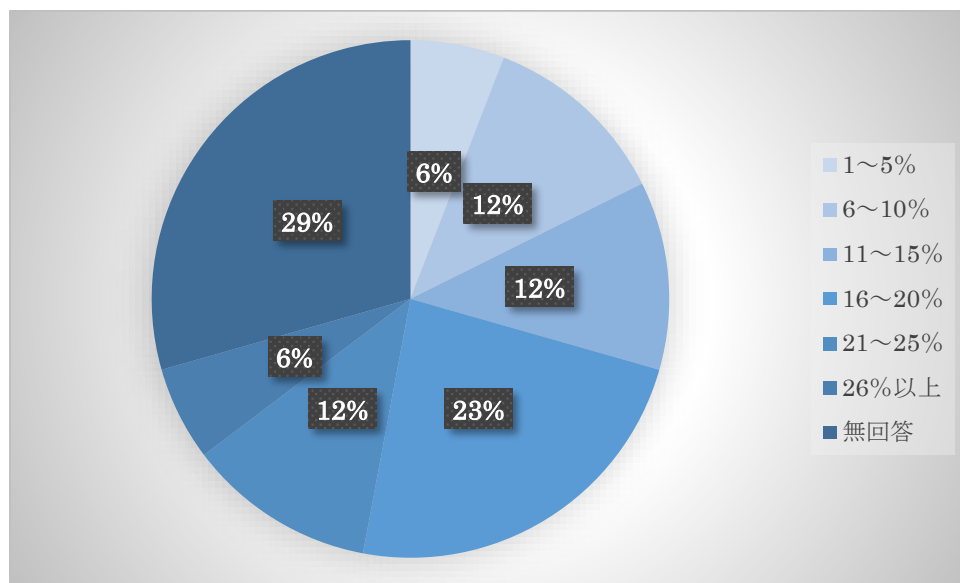


保育士が給食条件として、2、3番目に重視しているものは、「職場の雰囲気」、「給与・賞与」、「休日の確保・残業の有無」などであった。

12 派遣手数料は、保育士給与の約何%ですか。

□1～5% □6～10% □11～15% □16～20% □21～25% □26%以上

1～5%	1
6～10%	2
11～15%	2
16～20%	4
21～25%	2
26%以上	1
無回答	5
合計	17

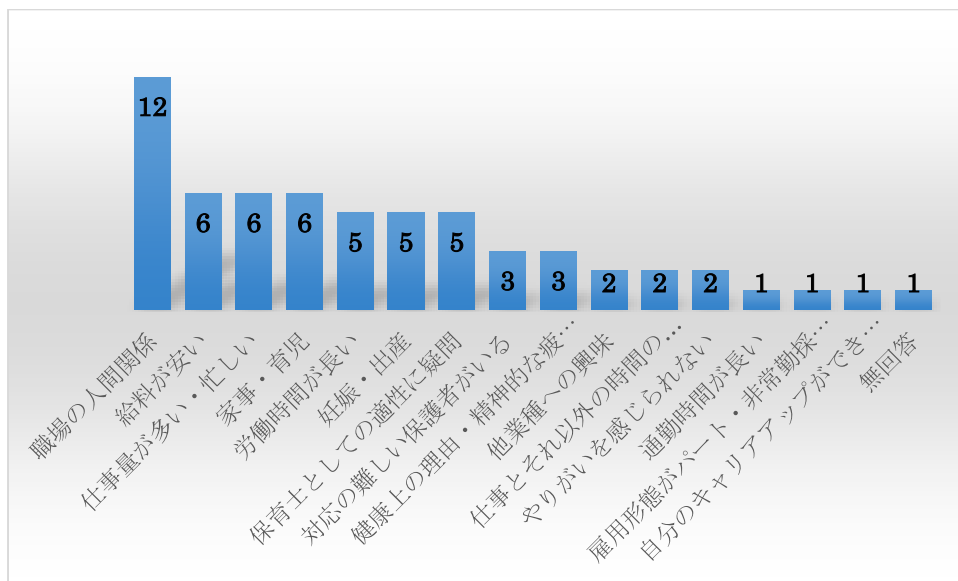


派遣手数料は「16～20%」が最も多かった。

13 転職希望の保育士の主な転職理由は何ですか（複数回答可）

- ☐給料が安い ☐仕事量が多い・忙しい ☐労働時間が長い
☐仕事とそれ以外の時間のon・offの区別がしにくい ☐対応の難しい保護者がいる
☐他業種への興味 ☐職場の人間関係 ☐保育士としての適性に疑問
☐健康上の理由・精神的な疲労・心労 ☐家事・育児
☐妊娠・出産 ☐通勤時間が長い
☐雇用形態がパート・非常勤採用のため ☐自分のキャリアアップができない
☐やりがいを感じられない

職場の人間関係	12
給料が安い	6
仕事量が多い・忙しい	6
家事・育児	6
労働時間が長い	5
保育士としての適性に疑問	5
妊娠・出産	5
対応の難しい保護者がいる	3
健康上の理由・精神的な疲労・心労	3
仕事とそれ以外の時間のon・offの区別がしにくい	2
他業種への興味	2
やりがいを感じられない	2
通勤時間が長い	1
雇用形態がパート・非常勤採用のため	1
自分のキャリアアップができない	1
無回答	1

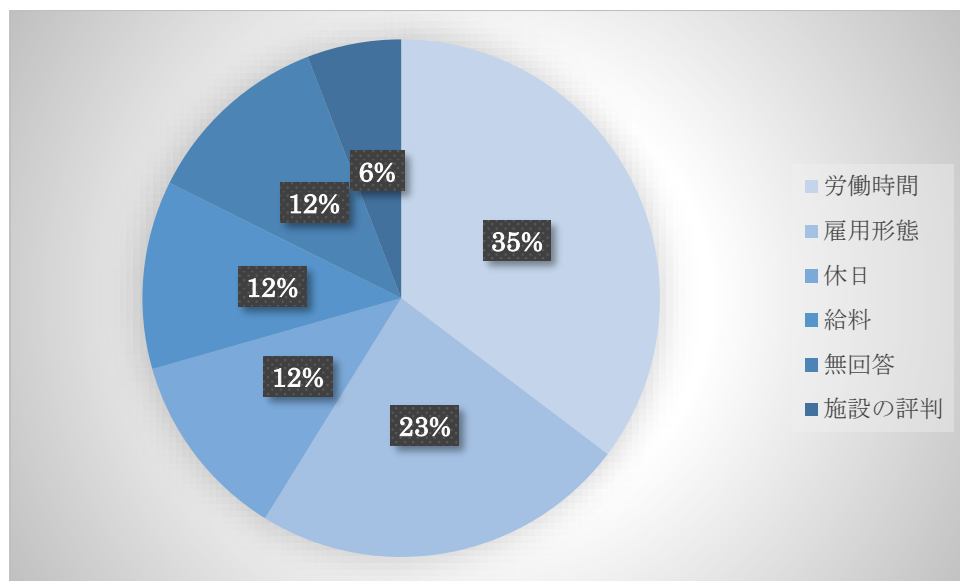


転職希望の保育士の主な理由は、「職場の人間関係」が最も多かった。

14 保育士の求職希望条件と保育施設の求人条件とが、マッチしない原因は何とお考えですか。

☐給料 ☐労働時間 ☐休日 ☐通勤時間 ☐経験年数 ☐雇用形態 ☐施設の運営形態
☐施設の規模 ☐施設の評判

労働時間	6
雇用形態	4
休日	2
給料	2
無回答	2
施設の評判	1
合計	17



保育士の求職希望条件と保育施設の求人条件とが、マッチしない原因として最も多かったのは、「労働時間」であり、次いで「雇用形態」であった。

C 調査結果解析（保育施設）

①（問2 & 5）施設種別の人材確保に関する保育施設管理者を対象としたセミナーに参加の有無

施設種別	ある	ある(%)	ない	ない(%)	無回答	無回答(%)	総計
認可保育所（公設・公営）	97	13.7	596	84.3	14	2.0	707
認可保育所（公設・民営）	64	43.0	82	55.0	3	2.0	149
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	497	40.4	722	58.7	12	1.0	1,231
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	30	42.9	39	55.7	1	1.4	70
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	26	26.3	70	70.7	3	3.0	99
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	40	23.3	130	75.6	2	1.2	172
家庭的保育施設（保育ママ）	0	0.0	4	100.0	0	0.0	4
幼保連携型認定子ども園	69	39.2	104	59.1	3	1.7	176
幼保連携型以外の認定子ども園	7	21.9	25	78.1	0	0.0	32
その他	3	10.7	25	89.3	0	0.0	28
無回答	0	0.0	3	75.0	1	25.0	4
総計	833	31.2	1,800	67.4	39	1.5	2,672

②（問6 & 7）平成28年度3月の退職者数と4月の新規雇用者数との対比

		新規雇用者数						総計
		0人	1人	2人	3～5人	6人以上	無回答	
退職者数	0人	380	190	81	54	3	8	716
	1人	223	271	154	90	8	4	750
	2人	100	155	133	105	12	6	511
	3～5人	74	132	113	205	22	9	555
	6人以上	5	12	9	43	18	1	88
	無回答	8	7	7	8	0	22	52
	総計	790	767	497	505	63	50	2,672

枠内塗りつぶしは、退職者数＞新規雇用者数

退職者数＞新規雇用者数の施設数は833施設（32%）であった。

③（問2 & 8）施設種別の途中退職者数

施設種別	0人	0人%	1人	2人	3～5人	6人以上	1人以上%	無回答	無回答%	総計
認可保育所（公設・公営）	446	63.1	160	51	28	2	34.1	20	2.8	707
認可保育所（公設・民営）	85	57.0	39	14	11	0	43.0	0	0.0	149
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	713	57.9	318	129	53	6	41.1	12	1.0	1,231
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	36	51.4	15	14	5	0	48.6	0	0.0	70
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	56	56.6	23	12	4	1	40.4	3	3.0	99
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	109	63.4	38	12	10	1	35.5	2	1.2	172
家庭的保育施設（保育ママ）	4	100.0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	4
幼保連携型認定子ども園	98	55.7	43	18	14	2	43.8	1	0.6	176
幼保連携型以外の認定子ども園	21	65.6	11	0	0	0	34.4	0	0.0	32
その他	18	64.3	6	3	1	0	35.7	0	0.0	28
無回答	1	25.0	1	0	0	0	25.0	2	50.0	4
総計	1,587	59.4	654	253	126	12	39.1	40	1.5	2,672

施設種別間で途中退職者数に差はなかった。

④（問２＆９）施設種別の産休・育休明けで、子どもを預けられないために、仕事に復帰できなかった保育士数

施設種別	0人	1人	2人	3～5人	無回答	総計
認可保育所（公設・公営）	668	20	3	2	14	707
認可保育所（公設・民営）	139	7	1	0	2	149
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	1,143	64	15	4	5	1,231
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	65	4	0	1	0	70
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	93	3	0	0	3	99
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	164	7	0	0	1	172
家庭的保育施設（保育ママ）	4	0	0	0	0	4
幼保連携型認定子ども園	161	10	2	0	3	176
幼保連携型以外の認定子ども園	31	1	0	0	0	32
その他	28	0	0	0	0	28
無回答	2	0	0	0	2	4
総計	2,498	116	21	7	30	2,672

⑤（問２＆１０）施設種別の保育士募集方法

施設種別	ハローワークを利用した	施設のホームページを利用した	募集フェアなどに参加した	広告媒体を利用した	人材派遣事業所を利用した	上記以外の公的機関を利用した	保育士・保育所支援センターを利用した	行わなかった	その他	無回答
認可保育所（公設・公営）	345	147	46	90	21	212	51	86	209	17
%	48.8	20.8	6.5	12.7	3.0	30.0	7.2	12.2	29.6	2.4
認可保育所（公設・民営）	99	29	30	23	34	21	27	18	29	2
%	66.4	19.5	20.1	15.4	22.8	14.1	18.1	12.1	19.5	1.3
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	858	286	273	189	262	117	205	123	345	5
%	69.7	23.2	22.2	15.4	21.3	9.5	16.7	10.0	28.0	0.4
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	47	30	18	22	23	6	10	4	10	0
%	67.1	42.9	25.7	31.4	32.9	8.6	14.3	5.7	14.3	0.0
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	64	16	16	19	22	7	12	12	29	2
%	64.6	16.2	16.2	19.2	22.2	7.1	12.1	12.1	29.3	2.0
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	92	28	19	50	21	10	10	44	33	0
%	53.5	16.3	11.0	29.1	12.2	5.8	5.8	25.6	19.2	0.0
家庭的保育施設（保育ママ）	1	0	0	1	1	0	0	3	0	0
%	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0
幼保連携型認定子ども園	125	54	45	29	31	15	28	17	50	2
%	71.0	30.7	25.6	16.5	17.6	8.5	15.9	9.7	28.4	1.1
幼保連携型以外の認定子ども園	21	6	4	6	1	3	3	2	14	1
%	65.6	18.8	12.5	18.8	3.1	9.4	9.4	6.3	43.8	3.1
その他	15	4	2	6	3	4	2	9	6	1
無回答	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
総計（施設数）	1,667	600	453	435	419	396	348	318	725	33
総計（%）	62.4	22.5	17.0	16.3	15.7	14.8	13.0	11.9	27.1	1.2

保育士募集方法は、民営ではハローワークと保育士・保育所支援センターの利用割合が高い傾向があった。

⑥（問２＆１１）施設種別の ICT 活用意向

	非常に役立つと思う	役立つと思う	どちらともいえない	役に立たないと思う	まったく役立たないと思う	無回答	総計
認可保育所（公設・公営）	68	342	263	23	3	8	707
%	9.6	48.4	37.2	3.3	0.4	1.1	100.0
認可保育所（公設・民営）	20	77	45	3	2	2	149
%	13.4	51.7	30.2	2.0	1.3	1.3	100.0
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	156	520	478	55	16	6	1,231
%	12.7	42.2	38.8	4.5	1.3	0.5	100.0
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	9	30	26	3	1	1	70
%	12.9	42.9	37.1	4.3	1.4	1.4	100.0
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	6	44	40	6	1	2	99
%	6.1	44.4	40.4	6.1	1.0	2.0	100.0
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	25	61	78	7	1	0	172
%	14.5	35.5	45.3	4.1	0.6	0.0	100.0
家庭的保育施設（保育ママ）	1	0	3	0	0	0	4
%	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	100.0
幼保連携型認定子ども園	29	90	51	4	0	2	176
%	16.5	51.1	29.0	2.3	0.0	1.1	100.0
幼保連携型以外の認定子ども園	2	20	6	4	0	0	32
%	6.3	62.5	18.8	12.5	0.0	0.0	100.0
その他	5	13	10	0	0	0	28
無回答	1	0	1	1	0	1	4
総計（施設数）	322	1,197	1,001	106	24	22	2,672
総計（%）	12.1	44.8	37.5	4.0	0.9	0.8	100.0

ICT 活用意向は施設種間で差はなかった。

⑦（問２＆１２）施設種別の ICT 導入状況

	以前から実施していた	補助金を活用して実施した	来年度以降に実施予定	補助金を活用せずに実施した	実施していないが、自己資金を活用して実施予定である	実施していないし、当面は実施の予定もない	その他	無回答	総計
認可保育所（公設・公営）	215	7	29	8	6	321	102	19	707
%	30.4	1.0	4.1	1.1	0.8	45.4	14.4	2.7	100
認可保育所（公設・民営）	24	11	31	7	12	54	10	0	149
%	16.1	7.4	20.8	4.7	8.1	36.2	6.7	0.0	100
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	169	222	264	22	41	432	73	8	1,231
%	13.7	18.0	21.4	1.8	3.3	35.1	5.9	0.6	100
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	12	9	14	7	6	18	4	0	70
%	17.1	12.9	20.0	10.0	8.6	25.7	5.7	0.0	100
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	19	6	15	6	9	33	7	4	99
%	19.2	6.1	15.2	6.1	9.1	33.3	7.1	4.0	100
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	33	4	7	6	11	97	14	0	172
%	19.2	2.3	4.1	3.5	6.4	56.4	8.1	0.0	100
家庭的保育施設（保育ママ）	0	0	0	0	1	3	0	0	4
%	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	100
幼保連携型認定子ども園	40	34	34	6	4	46	9	3	176
%	22.7	19.3	19.3	3.4	2.3	26.1	5.1	1.7	100
幼保連携型以外の認定子ども園	3	3	11	1	2	8	4	0	32
%	9.4	9.4	34.4	3.1	6.3	25.0	12.5	0.0	100
その他	4	0	1	1	3	14	5	0	28
無回答	1	0	1	0	0	1	1	0	4
総計（施設数）	520	296	407	64	95	1,027	229	34	2,672
総計（%）	19.5	11.1	15.2	2.4	3.6	38.4	8.6	1.3	100.0

⑧（問１２＆１３） ICT 導入後の評価

	非常に役立っている	役立っている	どちらともいえない	期待していたほど役立っていない	ICT化前と変わらない	無回答	総計
以前から実施していた	82	255	150	10	8	15	520
補助金を活用して実施した	14	88	133	26	4	31	296
補助金を活用せずに実施した	4	28	24	2	2	4	64
実施していないが、自己資金を活用して実施予定である	0	6	11	2	0	76	95
来年度以降に実施予定	1	11	65	5	1	324	407
実施していないし、当面は実施の予定もない	1	6	55	5	9	951	1,027
その他	0	13	53	5	2	156	229
無回答	0	2	3	0	0	29	34
総計	102	409	494	55	26	1,586	2,672

⑨（問１２＆１３） ICT をすでに導入している施設の評価

	非常に役立っている	役立っている	どちらともいえない	期待していたほど役立っていない	ICT化前と変わらない	無回答	総計
以前から実施していた	82	255	150	10	8	15	520
補助金を活用して実施した	14	88	133	26	4	31	296
補助金を活用せずに実施した	4	28	24	2	2	4	64
小計	100	371	307	38	14	50	880
小計（％）	11.4	42.2	34.9	4.3	1.6	5.7	100.0

ICT 導入し他施設 880 施設中、「非常に役立っている」施設が 100 施設（11.4%）、「役立っている」施設が 371 施設（42.2%）で、合計 471 施設（53.6%）であった。

⑩（問１２＆１４） ICT 導入後のサポート体制

	できている	どちらともいえない	できていない	無回答	総計
以前から実施していた	327	141	39	13	520
補助金を活用して実施した	192	79	17	8	296
補助金を活用せずに実施した	24	27	12	1	64
実施していないが、自己資金を活用して実施予定である	10	36	16	33	95
来年度以降に実施予定	144	132	25	106	407
実施していないし、当面は実施の予定もない	40	106	198	683	1,027
その他	34	50	37	108	229
無回答	2	3	3	26	34
総計	773	574	347	978	2,672

⑪（問１２＆１４） ICT をすでに導入している施設のサポート体

	できている	どちらともいえない	できていない	無回答	総計
以前から実施していた	327	141	39	13	520
補助金を活用して実施した	192	79	17	8	296
補助金を活用せずに実施した	24	27	12	1	64
小計（施設数）	543	247	68	22	880
小計（％）	61.7	28.1	7.7	2.5	100.0

ICT 化を実施した施設 880 施設中、543 施設（61.7%）でサポート体制ができている。

⑫（問１２＆１５）ICT化で業務量軽減ができる業務

	登園・降園 管理	保育日誌記 録	保育日誌記 録 保育計 画（年・月・ 日）作成	午睡記録	健康記録・身 体測定記録	延長保育記 録
以前から実施していた	190	228	426	77	186	175
補助金を活用して実施した	193	163	203	70	176	154
補助金を活用せずに実施した	25	28	48	14	25	23
来年度以降に実施予定	278	221	262	116	251	213
実施していないが、自己資金を活用して実施 予定である	57	58	64	33	45	45
実施していないし、当面は実施の予定もない その他	398	275	324	161	347	300
無回答	96	80	136	51	98	98
無回答	7	7	11	4	7	6
総計	1,244	1,060	1,474	526	1,135	1,014

	保育士の出 退勤管理	職員の勤務 シフト表の作 成	園児情報管 理	報告書作成	無回答
以前から実施していた	157	157	269	348	7
補助金を活用して実施した	52	52	204	94	2
補助金を活用せずに実施した	19	19	31	32	1
来年度以降に実施予定	95	95	272	153	12
実施していないが、自己資金を活用して実施 予定である	41	41	53	56	4
実施していないし、当面は実施の予定もない その他	319	319	354	337	269
無回答	97	97	111	127	20
無回答	6	6	10	14	15
総計	786	786	1,304	1,161	330

⑬（問１２＆１５）ICT化を実施した施設における業務量軽減ができる業務

	登園・降 園管理	保育日誌記 録	保育日誌記 録 保育計 画（年・ 月・日）作 成	午睡記録	健康記録・身 体測定記 録	延長保育記 録
以前から実施していた	190	228	426	77	186	175
補助金を活用して実施した	193	163	203	70	176	154
補助金を活用せずに実施した	25	28	48	14	25	23
小計（施設数）	408	419	677	161	387	352
小計（％）	46.4	47.6	76.9	18.3	44.0	40.0

	保育士の出 退勤管理	職員の勤務 シフト表の 作成	園児情報管 理	報告書作成	無回答
以前から実施していた	157	157	269	348	7
補助金を活用して実施した	52	52	204	94	2
補助金を活用せずに実施した	19	19	31	32	1
小計（施設数）	228	228	504	474	10
小計（％）	25.9	25.9	57.3	53.9	1.1

ICT化を実施した施設において、ICTが業務軽減に有効な種類の業務は、保育日誌記録、保育計画作成・園児情報管理・報告書作成・保育日誌記録・登園降園管理などであった。

⑭（問 2 & 1 7）施設種別の平成 28 年度の保育士の募集状況

	保育士の募集はしなかった	募集して、一部は確保できたが、必要とする人数は確保できなかった	募集したが、まったく応募がなかった	その他	無回答	総計
認可保育所（公設・公営）	83	303	27	235	59	707
%	11.7	42.9	3.8	33.2	8.3	100.0
認可保育所（公設・民営）	23	48	11	57	10	149
%	15.4	32.2	7.4	38.3	6.7	100.0
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	213	416	111	441	50	1,231
%	17.3	33.8	9.0	35.8	4.1	100.0
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	10	24	4	32	0	70
%	14.3	34.3	5.7	45.7	0.0	100.0
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	31	22	7	29	10	99
%	31.3	22.2	7.1	29.3	10.1	100.0
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	73	32	16	45	6	172
%	42.4	18.6	9.3	26.2	3.5	100.0
家庭的保育施設（保育ママ）	3	1	0	0	0	4
%	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0
幼保連携型認定子ども園	21	69	9	66	11	176
%	11.9	39.2	5.1	37.5	6.3	100.0
幼保連携型以外の認定子ども園	7	13	2	8	2	32
%	21.9	40.6	6.3	25.0	6.3	100.0
その他	16	5	2	5	0	28
無回答	1	0	0	2	1	4
総計（施設数）	481	933	189	920	149	2,672
総計（%）	18.0	34.9	7.1	34.4	5.6	100.0

⑮（問２＆１８）施設種別の平成 29 年度の保育士の募集状況

	保育士の募集は しなかった	募集した が、まったく 応募がない	募集し て、一部 は確保で きたが、 必要とす る人数は 確保でき ていない	その他	無回答	総計
認可保育所（公設・公営）	52	53	347	216	39	707
%	7.4	7.5	49.1	30.6	5.5	100.0
認可保育所（公設・民営）	19	17	50	59	4	149
%	12.8	11.4	33.6	39.6	2.7	100.0
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	159	153	455	430	34	1,231
%	12.9	12.4	37.0	34.9	2.8	100.0
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	12	3	22	32	1	70
%	17.1	4.3	31.4	45.7	1.4	100.0
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	13	7	39	33	7	99
%	13.1	7.1	39.4	33.3	7.1	100.0
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所な ど）	66	20	36	46	4	172
%	38.4	11.6	20.9	26.7	2.3	100.0
家庭的保育施設（保育ママ）	2	0	1	1	0	4
%	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	100.0
幼保連携型認定子ども園	22	15	71	64	4	176
%	12.5	8.5	40.3	36.4	2.3	100.0
幼保連携型以外の認定子ども園	3	1	20	7	1	32
%	9.4	3.1	62.5	21.9	3.1	100.0
その他	11	2	7	7	1	28
無回答	0	1	0	2	1	4
総計（施設数）	359	272	1,048	897	96	2,672
総数（%）	13.4	10.2	39.2	33.6	3.6	100.0

⑯（問２＆１９）施設種別の保育士に求めるスキル

	実務経験の有無	熟練した 実務経験	乳児保育 の経験	集団保育 の経験	ICT・パソ コンの操 作
認可保育所（公設・公営）	289	152	205	210	132
%	40.9	21.5	29.0	29.7	18.7
認可保育所（公設・民営）	48	17	24	28	34
%	32.2	11.4	16.1	18.8	22.8
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	278	126	218	206	220
%	22.6	10.2	17.7	16.7	17.9
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	29	14	16	15	5
%	41.4	20.0	22.9	21.4	7.1
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	33	15	29	23	20
%	33.3	15.2	29.3	23.2	20.2
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	69	36	58	40	23
%	40.1	20.9	33.7	23.3	13.4
家庭的保育施設（保育ママ）	2	0	3	0	3
%	50.0	0.0	75.0	0.0	75.0
幼保連携型認定子ども園	45	21	31	30	38
%	25.6	11.9	17.6	17.0	21.6
幼保連携型以外の認定子ども園	8	3	7	7	4
%	25.0	9.4	21.9	21.9	12.5
その他	12	5	10	6	8
無回答	1	1	1	1	
総計（施設数）	814	390	602	566	487
総計（%）	30.5	14.6	22.5	21.2	18.2

	社会性	モラル	コミュニ ケーショ ン能力	特にな	無回答
認可保育所（公設・公営）	564	550	634	6	14
%	79.8	77.8	89.7	0.8	2.0
認可保育所（公設・民営）	115	117	124	1	1
%	77.2	78.5	83.2	0.7	0.7
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	1,030	947	1,100	13	10
%	83.7	76.9	89.4	1.1	0.8
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	59	54	64	0	0
%	84.3	77.1	91.4	0.0	0.0
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	76	74	78	2	3
%	76.8	74.7	78.8	2.0	3.0
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	122	128	140	4	1
%	70.9	74.4	81.4	2.3	0.6
家庭的保育施設（保育ママ）	1	2	1	0	0
%	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
幼保連携型認定子ども園	154	154	157	0	0
%	87.5	87.5	89.2	0.0	0.0
幼保連携型以外の認定子ども園	24	24	30	0	1
%	75.0	75.0	93.8	0.0	3.1
その他	18	21	22	1	0
無回答	4	3	4	0	0
総計（施設数）	2,167	2,074	2,354	27	30
総計（%）	81.1	77.6	88.1	1.0	1.1

⑰（問２＆２１）施設種別のメンタルヘルスケアの必要な保育士数

施設種別	0人	0人%	1人	2人	3人	4人	5人以上	1人以上%	無回答	無回答%	総計
認可保育所（公設・公営）	484	68.5	157	38	5	4	3	29.3	16	2.3	707
認可保育所（公設・民営）	116	77.9	21	11	0	0	0	21.5	1	0.7	149
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	853	69.3	248	81	25	6	5	29.7	13	1.1	1,231
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	51	72.9	11	6	1	1	0	27.1		0.0	70
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	75	75.8	15	4	3		0	22.2	2	2.0	99
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	147	85.5	17	4	4	0	0	14.5	0	0.0	172
家庭的保育施設（保育ママ）	4	100.0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	4
幼保連携型認定子ども園	136	77.3	27	10	1	1	0	22.2	1	0.6	176
幼保連携型以外の認定子ども園	26	81.3	3	2		1	0	18.8	0	0.0	32
その他	24	85.7	3	0	1	0	0	14.3	0	0.0	28
無回答	3	75.0	0	0	0	0	0	0.0	1	25.0	4
総計	1,919	71.8	502	156	40	13	8	26.9	34	1.3	2,672

施設種別間での差はなかった。

⑱（問２＆２２）施設種別のメンタルヘルスサポート体制の有無

施設種別	体制がある		体制はない		体制はないがつくりたい		体制はなく、つくる必要はない		無回答	総計
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	施設数
認可保育所（公設・公営）	547	77.4	75	10.6	69	9.8	1	0.1	15	707
認可保育所（公設・民営）	43	28.9	38	25.5	64	43.0	3	2.0	1	149
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	311	25.3	344	27.9	530	43.1	22	1.8	24	1,231
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	26	37.1	12	17.1	29	41.4	3	4.3		70
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	27	27.3	30	30.3	36	36.4	3	3.0	3	99
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	55	32.0	51	29.7	59	34.3	6	3.5	1	172
家庭的保育施設（保育ママ）	0	0.0	3	75.0		0.0	1	25.0		4
幼保連携型認定子ども園	54	30.7	49	27.8	71	40.3	1	0.6	1	176
幼保連携型以外の認定子ども園	13	40.6	11	34.4	7	21.9		0.0	1	32
その他	8	28.6	8	28.6	9	32.1	2	7.1	1	28
無回答	0	0.0	2	50.0	1	25.0		0.0	1	4
総計	1,084	40.6	623	23.3	875	32.7	42	1.6	48	2,672

公設・公営の保育施設では、メンタルヘルスサポート体制があると回答した施設が77.4%と多かったが、その他の施設では、25.3～40.6%と少なかった。

⑲（問２＆２３）施設種別のメンタルチェック実施状況

	実施した		昨年実施した・来年実施予定なので、実施しなかった		実施しなかったし、実施予定はない		その他		無回答		総計
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数
認可保育所（公設・公営）	621	87.8	9	1.3	33	4.7	32	4.5	12	1.7	707
認可保育所（公設・民営）	39	26.2	10	6.7	52	34.9	47	31.5	1	0.7	149
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	262	21.3	75	6.1	514	41.8	365	29.7	15	1.2	1,231
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	21	30.0	8	11.4	23	32.9	18	25.7	0	0.0	70
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	22	22.2	5	5.1	51	51.5	18	18.2	3	3.0	99
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	53	30.8	9	5.2	67	39.0	41	23.8	2	1.2	172
家庭的保育施設（保育ママ）	0	0.0	0	0.0	3	75.0	1	25.0	0	0.0	4
幼保連携型認定子ども園	61	34.7	9	5.1	61	34.7	44	25.0	1	0.6	176
幼保連携型以外の認定子ども園	9	28.1	0	0.0	15	46.9	8	25.0	0	0.0	32
その他	10	35.7	1	3.6	13	46.4	4	14.3	0	0.0	28
無回答	1	25.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0	1	25.0	4
総計	1,099	41.1	126	4.7	832	31.1	580	21.7	35	1.3	2,672

公設・公営の保育施設ではメンタルチェックが87.8%と高率に実施されていたが、他の施設での実施率が低いことに加え、実施予定がないと回答した施設が多かった。

保育士

①（問１＆２） 保育士の性別・年齢

	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答	総計
女性	906	800	877	615	44	17	3,259
%	27.8	24.5	26.9	18.9	1.4	0.5	100.0
男性	70	81	23	5	2		181
%	38.7	44.8	12.7	2.8	1.1	0.0	100.0
無回答	1	1	5	6	1	3	17
総計	977	882	905	626	47	20	3,457
%	28.3	25.5	26.2	18.1	1.4	0.6	100.0

②（問１＆２＆３） 性別・年齢別配偶者の有無

	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答	総計
あり	175	484	681	490	35	8	1,873
女性	153	429	656	482	33	8	1,761
男性	22	54	21	4	2	0	103
無回答	0	1	4	4	0	0	9
なし	787	378	209	124	11	6	1,515
女性	738	352	207	121	10	6	1,434
男性	48	26	1	1	0	0	76
無回答	1		1	2	1	0	5
無回答	15	20	15	12	1	6	69
女性	15	19	14	12	1	3	64
男性	0	1	1	0	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0	3	3
総計	977	882	905	626	47	20	3,457

③（問１＆２＆４） 性別・年齢別子どもの有無

	あり	なし	無回答	総計
20代	85	890	2	977
女性	68	836	2	906
男性	17	53	0	70
無回答	0	1	0	1
30代	441	436	5	882
女性	398	398	4	800
男性	43	37	1	81
無回答		1	0	1
40代	716	185	4	905
女性	691	182	4	877
男性	21	2	0	23
無回答	4	1	0	5
50代	535	87	4	626
女性	527	84	4	615
男性	3	2	0	5
無回答	5	1	0	6
60代以上	42	5	0	47
女性	39	5	0	44
男性	2	0	0	2
無回答	1	0	0	1
無回答	8	5	7	20
女性	8	5	4	17
男性	0	0	0	0
無回答	0	0	3	3
総計	1,827	1,608	22	3,457

④ (問1 & 2 & 5) 性別・年齢別末子の年齢

	1歳未満	1歳以上3歳未満	3歳以上就学未満	小学生	中学生	高校生以上(中学卒業以降)	無回答	総計
20代	35	52	14	2	6	35	0	144
女性	24	42	14	2	5	34	0	121
男性	11	10	0	0	1	1	0	23
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
30代	24	164	156	99	6	6	2	457
女性	15	148	143	93	6	5	1	411
男性	9	16	13	6	0	1	1	46
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
40代	3	24	89	239	146	211	7	719
女性	3	23	86	227	140	208	7	694
男性	0	1	3	10	4	3	0	21
無回答	0	0	0	2	2	0	0	4
50代	0	1	0	17	40	476	8	542
女性	0	1	0	17	40	468	7	533
男性	0	0	0	0	0	4	0	4
無回答	0	0	0	0	0	4	1	5
60代以上	0	0	0	0	0	41	2	43
女性	0	0	0	0	0	38	2	40
男性	0	0	0	0	0	2	0	2
無回答	0	0	0	0	0	1	0	1
無回答	0	0	3	0	1	6	0	10
女性	0	0	3	0	1	5	0	9
無回答	0	0	0	0	0	1	0	1
総計	62	241	262	357	199	775	19	1,915

⑤ (問8 & 7) 施設種別の保育士の就業年数(通算)

施設種別	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	無回答	総計
認可保育所(公設・公営)	44	37	36	56	51	187	729	8	1,148
認可保育所(公設・民営)	10	8	4	5	11	28	77	1	144
認可保育所(民設・民営)(社会福祉法人)	70	44	75	68	85	351	906	8	1,607
認可保育所(民設・民営)(NPO・その他)	3	3	2	4	1	16	32	0	61
認可保育所(民設・民営)(株式会社)	5	4	1	5	4	14	16	0	49
認可外保育所(認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など)	7	8	8	7	3	46	63	1	143
幼保連携型認定子ども園	18	6	9	12	10	37	135	0	227
幼保連携型以外の認定子ども園	2	0	2	0	0	3	21	0	28
家庭的保育施設(保育ママ)	0	0	0	0	1	2	1	0	4
その他	1	3	1	0	2	4	17	0	28
無回答	3	1	0	0	2	2	5	5	18
総計	163	114	138	157	170	690	2,002	23	3,457

⑥ (問 1 & 2 & 10) 性別・年齢通勤時間

	15分未満	15分以上から30分未満	30分以上45分未満	45分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	無回答	総計
20代	369	385	127	69	21	3	3	977
女性	339	361	115	65	20	3	3	906
男性	30	23	12	4	1	0	0	70
無回答	0	1	0	0	0	0	0	1
30代	348	321	133	56	19	2	3	882
女性	321	291	124	47	14	2	1	800
男性	27	29	9	9	5	0	2	81
無回答	0	1	0	0	0	0	0	1
40代	385	330	105	52	24	6	3	905
女性	375	322	99	52	20	6	3	877
男性	9	5	6	0	3	0	0	23
無回答	1	3	0	0	1	0	0	5
50代	238	268	79	26	11	3	1	626
女性	235	261	79	26	10	3	1	615
男性	2	3	0	0	0	0	0	5
無回答	1	4	0	0	1	0	0	6
60代以上	23	18	5	1	0	0	0	47
女性	20	18	5	1	0	0	0	44
男性	2	0	0	0	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1
無回答	8	3	1	2	0	0	6	20
女性	8	3	1	2	0	0	3	17
無回答	0	0	0	0	0	0	3	3
総計	1,371	1,325	450	206	75	14	16	3,457

⑦ (問 1 & 2 & 12) 性別・年齢別通勤時間の満足度

	大変満足		満足		どちらともいえない		不満		非常に不満		無回答		総計
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
20代	294	30.1	403	41.2	215	22.0	56	5.7	8	0.8	1	0.1	977
女性	270	29.8	380	41.9	195	21.5	52	5.7	8	0.9	1	0.1	906
男性	24	34.3	22	31.4	20	28.6	4	5.7	0	0.0	0	0.0	70
無回答	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
30代	258	29.3	347	39.3	193	21.9	66	7.5	11	1.2	7	0.8	882
女性	235	29.4	317	39.6	176	22.0	56	7.0	11	1.4	5	0.6	800
男性	23	28.4	29	35.8	17	21.0	10	12.3	0	0.0	2	2.5	81
無回答	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
40代	260	28.7	396	43.8	178	19.7	53	5.9	13	1.4	5	0.6	905
女性	256	29.2	379	43.2	173	19.7	52	5.9	12	1.4	5	0.6	877
男性	4	17.4	13	56.5	5	21.7	1	4.3	0	0.0	0	0.0	23
無回答	0	0.0	4	80.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	5
50代	206	32.9	257	41.1	115	18.4	42	6.7	5	0.8	1	0.2	626
女性	203	33.0	252	41.0	113	18.4	41	6.7	5	0.8	1	0.2	615
男性	2	40.0	2	40.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5
無回答	1	16.7	3	50.0	1	16.7	1	16.7	0	0.0	0	0.0	6
60代以上	13	27.7	29	61.7	5	10.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	47
女性	11	25.0	28	63.6	5	11.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	44
男性	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2
無回答	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
無回答	5	25.0	7	35.0	2	10.0	1	5.0	0	0.0	5	25.0	20
女性	5	29.4	7	41.2	2	11.8	1	5.9	0	0.0	2	11.8	17
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	100.0	3
総計	1,036	30.0	1,439	41.6	708	20.5	218	6.3	37	1.1	19	0.5	3,457

⑧（問 8 & 1 2）施設種別の通勤時間の満足度

施設種別	大変満足	満足	どちらとも いえない	非常に不 満	不満	無回答	総計
認可保育所(公設・公営)	315	490	232	23	84	4	1,148
認可保育所(公設・民営)	41	59	32	1	11	0	144
認可保育所(民設・民営)(社会福祉法人)	512	657	331	10	89	8	1,607
認可保育所(民設・民営)(NPO・その他)	19	26	14	0	2	0	61
認可保育所(民設・民営)(株式会社)	12	21	11	0	5	0	49
認可外保育所(認証保育所A・B型・横浜保育室・ベ ビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など)	40	62	33	1	7	0	143
幼保連携型認定子ども園	71	90	44	2	18	2	227
幼保連携型以外の認定子ども園	10	14	4	0	0	0	28
家庭的保育施設(保育ママ)	2	1	1	0	0	0	4
その他	11	13	4	0	0	0	28
無回答	3	6	2	0	2	5	18
総計	1,036	1,439	708	37	218	19	3,457

⑨（問 2 & 1 4）年代別の雇用形態

年 齢	正規職員 (勤務時間 は問わな い)	フルタイム 有期契約 職員	パートタイ ム有期契 約職員	派遣職員	その他	無回答	総計
20代	849	100	13	1	12	2	977
30代	752	61	57	2	8	2	882
40代	782	48	59	2	9	5	905
50代	545	41	33	0	3	4	626
60代以上	38	2	7	0	0	0	47
無回答	12	1	0	0	0	7	20
総計	2,978	253	169	5	32	20	3,457

⑩（問 8 & 6）施設種別の現在の職場での勤務年数

施設種別	1年未満	1年以上2 年未満	2年以上3 年未満	3年以上4 年未満	4年以上5 年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答	総計
認可保育所(公設・公営)	241	179	137	131	88	151	209	12	1,148
認可保育所(公設・民営)	19	12	10	14	11	32	44	2	144
認可保育所(民設・民営)(社会福祉法人)	116	90	114	101	131	373	672	10	1,607
認可保育所(民設・民営)(NPO・その他)	11	4	4	5	6	14	17	0	61
認可保育所(民設・民営)(株式会社)	11	7	6	5	4	11	5	0	49
認可外保育所(認証保育所A・B型・横浜保育室・ベ ビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など)	14	10	7	16	18	34	43	1	143
幼保連携型認定子ども園	37	21	16	22	14	44	72	1	227
幼保連携型以外の認定子ども園	2	2	2	0	0	9	13	0	28
家庭的保育施設(保育ママ)	0	1	1	0	1	0	1	0	4
その他	3	8	3	2	1	7	3	1	28
無回答	4	3	1	1	0	2	3	4	18
総計	458	337	301	297	274	677	1,082	31	3,457

⑪（問１＆２＆１５）性別・年齢別勤務時間（日）

	2時間未満	2時間以上 4時間未満	4時間以上 8時間以下	8時間を超 える	無回答	総計
20代	2	0	422	553	0	977
女性	1	0	393	512	0	906
男性	1	0	29	40	0	70
無回答	0	0	0	1	0	1
30代	1	6	424	446	5	882
女性	0	6	397	393	4	800
男性	1	0	26	53	1	81
無回答	0	0	1	0	0	1
40代	1	4	452	444	4	905
女性	1	3	436	433	4	877
男性	0	1	14	8	0	23
無回答	0	0	2	3	0	5
50代	1	2	325	292	6	626
女性	1	2	322	284	6	615
男性	0	0	1	4	0	5
無回答	0	0	2	4	0	6
60代以上	0	0	24	23	0	47
女性	0	0	21	23	0	44
男性	0	0	2	0	0	2
無回答	0	0	1	0	0	1
無回答	1	0	6	7	6	20
女性	1	0	6	7	3	17
無回答	0	0	0	0	3	3
総計	6	12	1,653	1,765	21	3,457

⑫（１＆２＆１６）性別・年齢別業務 待遇・業務改善希望事項

	給与・賞 与の改善	職員数の 増員	事務・雑 務の軽減	休暇の確 保（未消 化休暇の 改善）	勤務時間 （シフ ト）の改 善	職員間の コミュニ ケーショ ン	研修の機 会の確保	相談体制 の充実
20代	721	480	424	496	180	142	48	102
女性	659	447	392	460	169	131	42	95
男性	61	32	32	35	11	11	6	7
無回答	1	1	0	1	0	0	0	0
30代	587	445	474	415	171	143	67	88
女性	527	405	422	376	161	126	53	80
男性	60	39	51	38	10	17	14	8
無回答	0	1	1	1	0	0	0	0
40代	559	493	486	418	209	155	111	98
女性	546	476	468	403	203	147	106	97
男性	11	13	15	11	5	7	4	1
無回答	2	4	3	4	1	1	1	0
50代	348	348	335	294	136	116	100	63
女性	341	342	329	290	132	113	98	62
男性	4	2	3	2	2	1	1	0
無回答	3	4	3	2	2	2	1	1
60代以上	23	25	16	16	11	8	7	4
女性	22	24	15	16	11	8	7	4
男性	0	0	1	0	0	0	0	0
無回答	1	1	0	0	0	0	0	0
無回答	10	4	8	5	4	3	2	1
女性	10	4	8	5	4	3	2	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	2, 248	1, 795	1, 743	1, 644	711	567	335	356

	園の理念 や運営方 針	雇用の安 定化（正 規職員へ の登用）	責任範囲 の縮小	評価制度 の見直し	権限範囲 の拡大	特にない	無回答
20代	53	79	102	51	10	78	4
女性	50	72	93	42	8	75	4
男性	3	7	9	9	2	3	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
30代	35	92	102	82	11	59	5
女性	32	80	97	73	8	55	4
男性	3	12	5	9	3	4	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0
40代	37	120	100	84	22	54	6
女性	35	116	97	82	21	52	6
男性	2	4	3	2	1	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
50代	19	97	60	70	10	25	3
女性	18	96	59	68	10	25	3
男性	0	0	1	1	0	0	0
無回答	1	1	0	1	0	0	0
60代以上	4	8	3	6	2	4	1
女性	4	8	3	6	2	3	1
男性	0	0	0	0	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	1	2	1	0	0	5
女性	0	1	2	1	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	3
総計	148	397	369	294	55	220	24

⑬（問１＆２＆１８）性別・年齢別のICT化の有益性評価

	非常に役立つと思う	役立つと思う	どちらともいえない	役に立たないと思う	まったく役立たないと思う	無回答	総計
20代	174	430	330	32	6	5	977
%	17.8	44.0	33.8	3.3	0.6	0.5	100.0
女性	148	403	317	27	6	5	906
%	16.3	44.5	35.0	3.0	0.7	0.6	100.0
男性	26	27	12	5	0	0	70
%	37.1	38.6	17.1	7.1	0.0	0.0	100.0
無回答	0	0	1	0	0	0	1
30代	127	330	372	36	5	12	882
%	14.4	37.4	42.2	4.1	0.6	1.4	100.0
女性	110	294	346	35	5	10	800
%	13.8	36.8	43.3	4.4	0.6	1.3	100.0
男性	16	36	26	1	0	2	81
%	19.8	44.4	32.1	1.2	0.0	2.5	100.0
無回答	1	0	0	0	0	0	1
40代	114	373	366	33	7	12	905
%	12.6	41.2	40.4	3.6	0.8	1.3	100.0
女性	110	360	358	32	7	10	877
%	12.5	41.0	40.8	3.6	0.8	1.1	100.0
男性	3	13	6	1	0	0	23
%	13.0	56.5	26.1	4.3	0.0	0.0	100.0
無回答	1	0	2	0	0	2	5
50代	76	301	219	20	3	7	626
%	12.1	48.1	35.0	3.2	0.5	1.1	100.0
女性	74	296	216	20	2	7	615
%	12.0	48.1	35.1	3.3	0.3	1.1	100.0
男性	0	3	1	0	1	0	5
%	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	100.0
無回答	2	2	2	0	0	0	6
60代以上	7	24	11	2	2	1	47
%	14.9	51.1	23.4	4.3	4.3	2.1	100.0
女性	5	24	10	2	2	1	44
%	11.4	54.5	22.7	4.5	4.5	2.3	100.0
男性	1	0	1	0	0	0	2
%	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0
無回答	1	0	0	0	0	0	1
無回答	1	5	6	0	0	8	20
%	5.0	25.0	30.0	0.0	0.0	40.0	100.0
女性	1	5	6	0	0	5	17
%	5.9	29.4	35.3	0.0	0.0	29.4	100.0
無回答	0	0	0	0	0	3	3
総計	499	1,463	1,304	123	23	45	3,457
総計(%)	14.4	42.3	37.7	3.6	0.7	1.3	100.0

⑭（問 8 & 1 7）施設種別の ICT 化実施状況

施設種別	実施している	実施していない	わからない	無回答	総計
認可保育所(公設・公営)	633	237	258	20	1,148
認可保育所(公設・民営)	73	45	25	1	144
認可保育所(民設・民営)(NPO・その他)	31	25	5		61
認可保育所(民設・民営)(株式会社)	23	15	10	1	49
認可保育所(民設・民営)(社会福祉法人)	802	567	210	28	1,607
認可外保育所(認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など)	69	54	19	1	143
家庭的保育施設(保育ママ)	1	2	1	0	4
幼保連携型以外の認定子ども園	11	12	5	0	28
幼保連携型認定子ども園	142	47	35	3	227
その他	12	9	7	0	28
無回答	4	5	3	6	18
総計	1,801	1,018	578	60	3,457

⑮（問 8 & 1 9）施設種別の ICT 化で業務軽減ができる事項

施設種別	登園・降園管理	保育日誌記録	保育計画(年・月・日)作成	午睡記録	健康記録	児童情報管理	その他	無回答	総計
認可保育所(公設・公営)	299	388	716	152	238	475	116	82	2,466
認可保育所(公設・民営)	66	62	91	33	50	67	13	4	386
認可保育所(民設・民営)(社会福祉法人)	672	679	943	300	457	809	150	91	4,101
認可保育所(民設・民営)(NPO・その他)	36	20	36	12	18	33	5	3	163
認可保育所(民設・民営)(株式会社)	17	18	27	8	17	24	5	1	117
認可外保育所(認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など)	44	46	63	27	33	75	25	8	321
幼保連携型認定子ども園	120	104	135	40	68	106	22	11	606
幼保連携型以外の認定子ども園	14	5	13	5	8	15	5	0	65
家庭的保育施設(保育ママ)	0	0	1	0	0	1	3	0	5
その他	8	9	12	2	11	13	6	1	62
無回答	5	2	5	1	4	4	3	9	33
総計	1,281	1,333	2,042	580	904	1,622	353	210	8,325

⑩（問 8 & 2 0）施設種別の ICT 化サポート体制の構築状況

	構築され ている	どちらと もいえな い	構築され ていない	無回答	総計
認可保育所（公設・公営）	247	563	289	49	1,148
%	21.5	49.0	25.2	4.3	100.0
認可保育所（公設・民営）	20	85	34	5	144
%	13.9	59.0	23.6	3.5	100.0
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	352	815	354	86	1,607
%	21.9	50.7	22.0	5.4	100.0
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	13	19	14	3	49
%	26.5	38.8	28.6	6.1	100.0
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	11	28	17	5	61
%	18.0	45.9	27.9	8.2	100.0
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育 室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保 育所など）	31	65	39	8	143
%	21.7	45.5	27.3	5.6	100.0
家庭的保育施設（保育ママ）	1	1	2	0	4
%	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0
幼保連携型認定子ども園	69	108	44	6	227
%	30.4	47.6	19.4	2.6	100.0
幼保連携型以外の認定子ども園	4	16	7	1	28
%	14.3	57.1	25.0	3.6	100.0
無回答	2	4	3	9	18
%	11.1	22.2	16.7	50.0	100.0
総計（回答数）	755	1,720	810	172	3,457
総計（%）	21.8	49.8	23.4	5.0	100.0

⑰（問１＆２＆２１）性別年齢別残業時間数（月平均）

	1時間未満	1時間以上 5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上	ほとんど ない	無回答	総計
20代	87	372	215	190	108	5	977
%	8.9	38.1	22.0	19.4	11.1	0.5	100.0
女性	80	347	201	177	96	5	906
男性	7	25	14	12	12	0	70
無回答	0	0	0	1	0	0	1
30代	83	306	184	163	138	8	882
%	9.4	34.7	20.9	18.5	15.6	0.9	100.0
女性	77	277	167	146	127	6	800
男性	6	28	17	17	11	2	81
無回答	0	1	0	0	0	0	1
40代	109	321	144	157	162	12	905
%	12.0	35.5	15.9	17.3	17.9	1.3	100.0
女性	104	314	140	154	153	12	877
男性	4	5	4	2	8	0	23
無回答	1	2		1	1	0	5
50代	73	241	109	89	105	9	626
%	11.7	38.5	17.4	14.2	16.8	1.4	100.0
女性	71	238	107	88	102	9	615
男性	1	1	0	1	2	0	5
無回答	1	2	2	0	1	0	6
60代以上	5	11	6	7	17	1	47
%	10.6	23.4	12.8	14.9	36.2	2.1	100.0
女性	4	11	6	7	16	0	44
男性	1	0	0	0	1	0	2
無回答	0	0	0	0	0	1	1
無回答	0	6	3	4	2	5	20
女性	0	6	3	4	2	2	17
無回答	0	0	0	0	0	3	3
総計	357	1,257	661	610	532	40	3,457
%	10.3	36.4	19.1	17.6	15.4	1.2	100.0

年齢別に頻度の高い残業時間数（青） 10時間以上の残業があると回答した割合（赤）

⑱（問１＆２＆２３）

	実際にカウンセリングを受けた。または、薬を服用している	メンタルヘルスケアやカウンセリングを受けたいと感じた	先輩や同僚に相談した	負担に感じたがだれにも相談できない、または相談していない	精神的負担を感じたことはない	その他	無回答	総計
20代	17	58	548	144	133	61	16	977
女性	15	56	513	128	125	57	12	906
男性	2	2	35	16	8	4	3	70
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1
30代	26	53	535	97	109	49	13	882
女性	22	47	494	83	96	46	12	800
男性	4	6	41	13	13	3	1	81
無回答	0	0	0	1	0	0	0	1
40代	28	70	523	84	114	68	18	905
女性	28	66	512	80	107	66	18	877
男性	0	1	9	4	7	2	0	23
無回答	0	3	2	0	0	0	0	5
50代	18	47	301	84	91	72	13	626
女性	18	47	296	81	90	72	11	615
男性	0	0	1	3	1	0	0	5
無回答	0	0	4	0	0	0	2	6
60代以上	1	3	26	5	5	5	2	47
女性	1	3	24	5	5	5	1	44
男性	0	0	2	0	0	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1
無回答	0	1	7	1	1	3	7	20
女性	0	1	7	1	1	3	4	17
無回答	0	0	0	0	0	0	3	3
総計	90	232	1,940	415	453	258	69	3,457
総計(%)	2.6	6.7	56.1	12.0	13.1	7.5	2.0	100.0

「メンタルヘルスケアやカウンセリングを受けたいと感じた」232人(6.7%)、「負担に感じたがだれにも相談できない、または相談していない」415人(12.0%)であった。

⑬（問 2 3 & 2 4）

	あなたの職場では、メンタルヘルスケア（精神的負担をサポートする）体制がありますか				
	ある	ない	わからない	無回答	総計
実際にカウンセリングを受けた。または、薬を服用している	31	40	19		90
メンタルヘルスケアやカウンセリングを受けたいと感じた	42	149	40	1	232
先輩や同僚に相談した	530	833	557	20	1,940
負担に感じたがだれにも相談できない、または相談していない	76	204	127	8	415
精神的負担を感じたことはない	135	157	160	1	453
その他	68	107	79	4	258
無回答	13	19	19	18	69
総計	895	1,509	1,001	52	3,457

メンタルサポートの必要がある保育士数（黄色）、「負担に感じたがだれにも相談できない、または相談していない保育士が勤務する保育施設にメンタルヘルスケア体制がない、あるいは、わからないと回答した保育士が 331 人（204 人+127 人）いた。

㊫（問 8 & 2 3）施設種別の保育士の精神的負担意識

施設種別	実際にカウンセリングを受けた。または、薬を服用している	メンタルヘルスケアやカウンセリングを受けたいと感じた	先輩や同僚に相談した	負担に感じたがだれにも相談できない、または相談していない	精神的負担を感じたことはない	その他	無回答	総計
認可保育所（公設・公営）	33	72	648	144	129	104	18	1,148
認可保育所（公設・民営）	5	17	76	13	23	8	2	144
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	32	115	960	172	199	98	31	1,607
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	6	3	21	5	16	8	2	61
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	3	2	24	8	10	1	1	49
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	3	8	58	20	39	12	3	143
幼保連携型認定子ども園	4	10	125	40	25	19	4	227
幼保連携型以外の認定子ども園	1	4	11	5	5	2	0	28
家庭的保育施設（保育ママ）	2	0	1	0	1	0	0	4
その他	1	1	12	4	4	5	1	28
無回答	0	0	4	4	2	1	7	18
総計	90	232	1,940	415	453	258	69	3,457

㊫（問 8 & 2 4）施設種別メンタルサポートの有無

施設種別	ある	ない	わからない	無回答	総計
認可保育所（公設・公営）	500	274	356	18	1,148
認可保育所（公設・民営）	25	88	31	0	144
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	11	39	11	0	61
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	13	27	9	0	49
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	221	883	480	23	1,607
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	39	69	33	2	143
幼保連携型認定子ども園	72	90	63	2	227
幼保連携型以外の認定子ども園	5	17	6	0	28
家庭的保育施設（保育ママ）	0	3	1	0	4
その他	6	16	6	0	28
無回答	3	3	5	7	18
総計	895	1,509	1,001	52	3,457

㊦（問１＆２＆２７）性別年齢別 やりがい意識

	大変やり がいのあ る仕事で ある	やりがい のある仕 事である	どちらとも いえない	あまりや りがいい はない	やりがい はない	その他	無回答	総計
20代	286	573	90	11	7	2	8	977
女性	261	543	79	10	5	1	7	906
男性	24	30	11	1	2	1	1	70
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1
30代	318	481	68	6	4	0	5	882
女性	277	447	63	6	4	0	3	800
男性	40	34	5	0	0	0	2	81
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1
40代	343	477	62	13	2	5	3	905
女性	329	465	61	13	2	4	3	877
男性	12	9	1	0	0	1	0	23
無回答	2	3	0	0	0	0	0	5
50代	257	331	26	1	1	5	5	626
女性	250	327	26	1	1	5	5	615
男性	3	2	0	0	0	0	0	5
無回答	4	2	0	0	0	0	0	6
60代以上	20	25	2	0	0	0	0	47
女性	18	24	2	0	0	0	0	44
男性	1	1	0	0	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	0		1
無回答	6	8	1	0	0	0	5	20
女性	6	8	1	0	0	0	2	17
無回答	0	0	0	0	0	0	3	3
総計	1,230	1,895	249	31	14	12	26	3,457

㊦（問８＆２７）施設種別の保育士のやりがい意識

施設種別	大変やり がいのあ る仕事で ある	やりがい のある仕 事である	どちらとも いえない	あまりや りがいい はない	やりがい はない	その他	無回答	総計
認可保育所（公設・公営）	391	645	92	8	4	2	6	1,148
認可保育所（公設・民営）	52	85	6	0	0	1	0	144
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	584	870	109	17	7	6	14	1,607
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	21	38	2	0	0	0	0	61
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	21	22	5	0	1	0	0	49
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベ ビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	61	70	11	0	0	0	1	143
幼保連携型認定子ども園	76	124	18	5	1	3	0	227
幼保連携型以外の認定子ども園	10	16	2	0	0	0	0	28
家庭的保育施設（保育ママ）	1	3	0	0	0	0	0	4
その他	8	15	3	1	1	0	0	28
無回答	5	7	1	0	0	0	5	18
総計	1,230	1,895	249	31	14	12	26	3,457

㊤（問１＆２＆２８）年齢別就業継続希望

	今後も保育士として働きたい。そして、今の職場で働き続けたい	今後も保育士として働きたいが、就業条件のよいところがあったら移りたい	今後も保育士として働きたいが、就業継続が難しい	今後は保育士として働きたくなく、保育士以外の職種で働きたい	今後は保育士として働きたくない、他の仕事に就くことも考えていない	その他	無回答	総計
20代	409	291	105	97	8	59	8	977
%	41.9	29.8	10.7	9.9	0.8	6.0	0.8	100.0
女性	380	268	98	93	8	52	7	906
男性	28	23	7	4	0	7	1	70
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1
30代	463	233	70	57	1	50	8	882
%	52.5	26.4	7.9	6.5	0.1	5.7	0.9	100.0
女性	410	211	67	55	1	49	7	800
男性	52	22	3	2	0	1	1	81
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1
40代	581	141	81	45	7	46	4	905
%	64.2	15.6	9.0	5.0	0.8	5.1	0.4	100.0
女性	562	137	80	43	7	44	4	877
男性	15	4	1	1	0	2	0	23
無回答	4	0	0	0	0	0	0	5
50代	422	77	41	24	8	45	9	626
%	67.4	12.3	6.5	3.8	1.3	7.2	1.4	100.0
女性	412	77	41	24	7	45	9	615
男性	5	0	0	0	0	0	0	5
無回答	5	0	0	0	1	0	0	6
60代以上	33	3	6	0	2	3	0	47
%	70.2	6.4	12.8	0.0	4.3	6.4	0.0	100.0
女性	30	3	6	0	2	3	0	44
男性	2	0	0	0	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1
無回答	7	3	1	0	0	2	7	20
女性	7	3	1	0	0	2	4	17
無回答	0	0	0	0	0	0	3	3
総計	1,915	748	304	223	26	205	36	3,457
総計(%)	55.4	21.6	8.8	6.5	0.8	5.9	1.0	100.0

「今後も保育士として働きたいが、就業継続が難しい」、「今後は保育士として働きたくなく、保育士以外の職種で働きたい」、「今後は保育士として働きたくない、他の仕事に就くことも考えていない」を合わせると553人(16.1%)であった。

㊦（問 8 & 2 8）施設種別の保育士就業継続意向

施設種別	今後も保育士として働きたい。そして、今の職場で働きたい	今後も保育士として働きたいが、就業条件のよいところがあったら移りたい	今後も保育士として働きたいが、就業継続が難しい	今後は保育士として働きたくない、保育士以外の職種で働きたい	今後は保育士として働きたくない、他の仕事に就くことも考えていない	その他	無回答	総計
認可保育所（公設・公営）	660	187	120	73	16	81	11	1,148
認可保育所（公設・民営）	81	37	7	6	1	10	2	144
認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）	866	392	133	107	5	87	17	1,607
認可保育所（民設・民営）（NPO・その他）	34	16	4	3	1	3	0	61
認可保育所（民設・民営）（株式会社）	29	10	3	4	1	1	1	49
認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）	80	38	12	6	0	7	0	143
幼保連携型認定子ども園	123	56	20	16	2	10	0	227
幼保連携型以外の認定子ども園	19	5	1	3	0	0	0	28
家庭的保育施設（保育ママ）	2	1	0	1	0	0	0	4
その他	17	4	3	2	0	2	0	28
無回答	4	2	1	2	0	4	5	18
総計	1,915	748	304	223	26	205	36	3,457

㊦（問１＆２＆２９）性別・年齢別離職希望理由

	給料が安い	仕事量が多い・忙しい	労働時間が長い	仕事とそれ以外の時間のon・offの区別がしにくい	対応の難しい保護者がいる	他業種への興味の	職場の人間関係	保育士としての適性に疑問	健康上の理由・精神的な疲労・心労	妊娠・出産	家事・育児	通勤時間が長い	雇用形態がパート・非常勤採用のため	自分のキャリアアップができない	やりがいを感じられない	無回答	
20代	352	347	220	202	106	114	154	154	154	125	48	79	28	23	47	22	482
%	36.0	35.5	22.5	20.7	10.8	11.7	15.8	15.8	12.8	4.9	8.1	2.9	2.4	4.8	2.3	49.3	
女性	325	322	206	188	100	109	143	144	120	47	77	27	18	41	17	444	
男性	27	25	14	14	6	5	11	10	5	1	2	1	5	6	5	37	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
30代	212	240	121	130	93	48	83	63	88	43	94	27	16	21	15	525	
%	24.0	27.2	13.7	14.7	10.5	5.4	9.4	7.1	10.0	4.9	10.7	3.1	1.8	2.4	1.7	59.5	
女性	192	224	112	119	87	42	76	60	82	42	92	25	16	21	15	471	
男性	20	16	9	11	6	6	7	3	6	1	2	2	0	0	0	53	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
40代	147	188	102	106	84	28	78	36	105	7	67	17	12	19	16	613	
%	16.2	20.8	11.3	11.7	9.3	3.1	8.6	4.0	11.6	0.8	7.4	1.9	1.3	2.1	1.8	67.7	
女性	144	184	100	104	84	27	75	33	102	7	66	16	12	18	16	592	
男性	3	3	1	2	0	1	2	2	2	0	1	1	0	1	0	17	
無回答	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4	
50代	78	105	56	51	36	11	57	15	72	0	11	10	9	15	8	452	
%	12.5	16.8	8.9	8.1	5.8	1.8	9.1	2.4	11.5	0.0	1.8	1.6	1.4	2.4	1.3	72.2	
女性	78	105	56	51	36	11	57	15	72	0	11	10	9	15	8	441	
男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
60代以上	7	6	6	4	4	0	4	0	6	0	1	0	1	0	1	33	
%	14.9	12.8	12.8	8.5	8.5	0.0	8.5	0.0	12.8	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	2.1	70.2	
女性	7	6	6	4	4	0	4	0	6	0	1	0	0	0	1	31	
男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
無回答	5	4	2	3	0	1	1	0	2	0	1	0	0	0	0	13	
女性	5	4	2	3	0	1	1	0	2	0	1	0	0	0	0	10	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
総計	801	890	507	496	323	202	377	268	398	98	253	82	61	102	62	2,118	
総計 (%)	23.2	25.7	14.7	14.3	9.3	5.8	10.9	7.8	11.5	2.8	7.3	2.4	1.8	3.0	1.8	61.3	

㊦（問 2 8 & 2 9）就業継続意識別の退職意向理由

	給料が安い	仕事量が多い・忙しい	労働時間が長い	仕事とそれ以外の時間のon・offの区別がしにくい	対応の難しい保護者がいる	他業種への興味	職場の人間関係	保育士としての適性に疑問	健康上の理由・精神的な疲労・心労
今後も保育士として働きたい。そして、今の職場で働き続けたい	91	101	50	43	43	11	25	17	45
%	4.8	5.3	2.6	2.2	2.2	0.6	1.3	0.9	2.3
今後も保育士として働きたいが、就業条件のよいところがあったら移りたい	407	370	196	194	118	69	174	83	121
%	54.4	49.5	26.2	25.9	15.8	9.2	23.3	11.1	16.2
今後も保育士として働きたいが、就業継続が難しい	120	175	105	109	57	23	62	46	95
%	39.5	57.6	34.5	35.9	18.8	7.6	20.4	15.1	31.3
今後は保育士として働きたくなく、保育士以外の職種で働きたい	138	167	119	108	74	72	82	91	92
%	61.9	74.9	53.4	48.4	33.2	32.3	36.8	40.8	41.3
今後は保育士として働きたくない、他の仕事に就くことも考えていない	9	18	7	9	8	2	7	8	12
%	34.6	69.2	26.9	34.6	30.8	7.7	26.9	30.8	46.2
その他	36	58	29	32	23	25	25	23	31
無回答	0	1	1	1			2		2
総計	801	890	507	496	323	202	377	268	398
総計 (%)	23.2	25.7	14.7	14.3	9.3	5.8	10.9	7.8	11.5

	家事・育児	妊娠・出産	通勤時間が長い	雇用形態がパート・非常勤採用のため	自分のキャリアアップができない	やりがいを感じられない	無回答	合計
今後も保育士として働きたい。そして、今の職場で働き続けたい	29	17	5	11	6	2	1,736	1,915
%	1.5	0.9	0.3	0.6	0.3	0.1	90.7	100.0
今後も保育士として働きたいが、就業条件のよいところがあったら移りたい	82	38	43	35	48	21	176	748
%	11.0	5.1	5.7	4.7	6.4	2.8	23.5	100.0
今後も保育士として働きたいが、就業継続が難しい	75	23	18	3	16	9	56	304
%	24.7	7.6	5.9	1.0	5.3	3.0	18.4	100.0
今後は保育士として働きたくなく、保育士以外の職種で働きたい	41	16	12	8	24	24	12	223
%	18.4	7.2	5.4	3.6	10.8	10.8	5.4	100.0
今後は保育士として働きたくない、他の仕事に就くことも考えていない	5	2	2	1	2	4	2	26
%	19.2	7.7	7.7	3.8	7.7	15.4	7.7	100.0
その他	19	1	2	3	6	2	105	205
無回答	2	1					31	36
総計	253	98	82	61	102	62	2,118	3,457
総計 (%)	7.3	2.8	2.4	1.8	3.0	1.8	61.3	100.0

赤は最高値、オレンジは 30%以上、黄は精神的理由、青は就業継続の困難理由が家事・育児

保育施設における ICT 化 現地調査報告

【はじめに】

保育士の業務負担軽減に関する施策の一つとして保育施設における ICT 化が進められている。厚生労働省は、平成 27 年度補正予算として、「保育所等における業務効率化推進事業」を実施した。これを受けて、全国の保育施設で導入が開始されているため ICT 化を進めている保育施設の現地調査を実施した。

【調査保育施設】

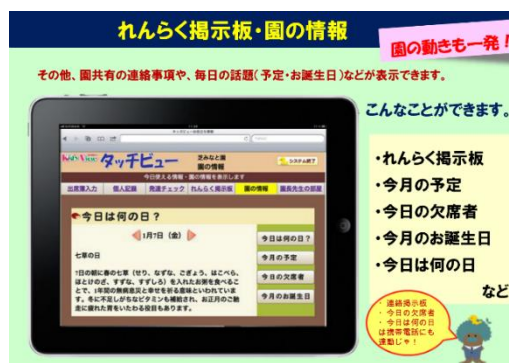
今回の調査では保育施設 3 か所の現地調査を実施した。以下に 3 施設を調査日順に記す。

- ① 施設名：つぼみの森保育園
施設所在地：千葉県市原市島野 475
調査日：平成 29 年 3 月 15 日
使用システム開発社名：日本ソフト株式会社 「Kid' s View」
- ② 施設名：ぬくもりのおうち保育 新大阪園
施設所在地：大阪市淀川区西中島 6 丁目 7-5 2
調査日：平成 29 年 3 月 27 日
使用システム開発社名：保育 ICT 株式会社「Hoisys」
- ③ 施設名：たかまつすくすく保育園
施設所在地：岡山県岡山市北区高松原古才 594-1
調査日：平成 29 年 3 月 29 日
使用システム開発社名：西日本電信電話株式会社 「登降園管理システム」

【調査対象施設で使用しているシステム概要】

(システム提供事業所からの提供された資料より作成) (現地調査施行日順に記載)

キッズビュー:「Kid's View」



【キッズビューとは？】

“あったらいいな”をカタチに、現場の声から生まれた総合保育業務支援システムです。

インターネットを利用して、幼稚園・保育園・認定こども園の先生方の業務を応援する、クラウド技術を利用した仕組みです。

日々の保育業務は、指導計画作成、保育実践、園児の発達チェック、評価反省、そして次の指導計画作成というサイクルになっています。この保育サイクルを全面的にサポートし、保育の質を高めるお手伝いをします。

計画に必要な項目を、幼稚園教育要領や保育所保育指針から体系立てて分かりやすく引用したり、年齢毎の発達過程に従った5領域+養護の6領域(保育園版)の発達チェックを指導要録・保育要録に連動したり、保護者との連携にも役立つ仕組みです。



登降園管理

保護者にタッチして頂くことで、園児の登園／降園を管理することができます。



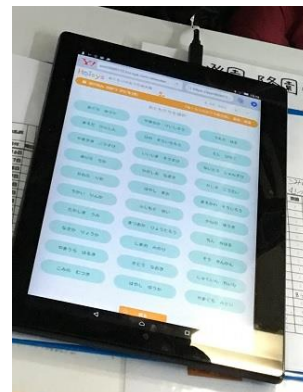
睡眠チェック機能※

睡眠中の児童の呼吸チェックを記録することができます。



保育計画管理機能

年間指導計画、月案、週案、日案を作成管理できます。



園児情報管理

園児達の検索機能を設け、対象園児の情報を一覧表示することができます。また、園児と保護者様の顔写真の登録ができ、お迎えにくる方の顔を確認することができます。



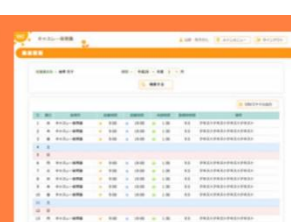
園児個人記録管理

養護・教育・食育といった内容について、チェックすることができます。各項目に備考欄を設け、より詳細な個人記録を残すことができます。また、監査や保護者様向けに簡易印刷することもできます。



保育日誌機能

出欠は登降園機能により自動で出力され、その日の出来事や体調・評価・反省など記録できます。記録項目はカスタマイズ可能です。



勤怠管理

出社退社時にタッチして頂くことで、従業員の方勤怠を管理することができます。また、CSV形式でファイルの出力もでき、ご利用の給与計算ソフトと連携することができます。

【サービス概要】

「園児の登園・降園等の情報をかんたんに管理したい。」「年間指導計画・月案・週案・日案を管理したい。」というニーズに応えるべく、「Hoisys（ホイシス）」では園児情報や園児個人記録、連絡表、保育計画等を PC、タブレット上で一元管理出来るサービスをご提供いたします。

(<https://hoiku-ict.com/hoisys/>) その他にも、勤怠管理や従業員管理機能も搭載しており、保育園運営に必要な情報のトータル管理が可能となっています。

【特徴】

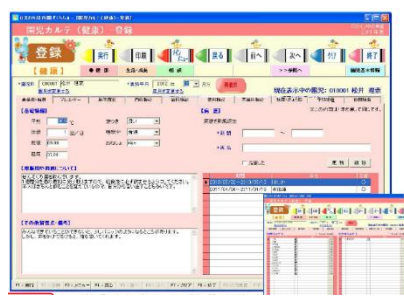
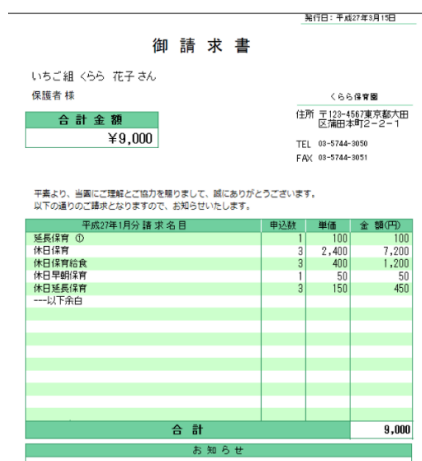
- ・保育事業所と共に保育士目線で開発したシステム

関西で小規模保育園を数店舗経営する企業様と二人三脚で作成した、完全保育士目線のシステムです。現場からの要望の強い、園児の登降園時間や保育士の出勤退勤時間を分刻みで管理できる機能や、日誌や保育計画の項目を自由にカスタマイズできる機能などを搭載しています。

- ・睡眠呼吸・アレルギー・健康チェック等の詳細管理が可能（※随時機能追加予定）

園児の登降園管理だけでなく、睡眠中の呼吸チェックや、アレルギーを持つ児童のアレルギーチェック、更に、機嫌・鼻汁・咳・目・肌・薬などの健康チェックを管理する機能も有し、より細やかな園児のサポート体制を整えることができます。

NTT 西日本 登降園システム

[illegible][illegible]

1. 毎日、園児の登降園時間を手書きで記録する必要がなくなります！
2. 登降園時間を記録したメモから、転記する必要がなく、記載ミスが減ります！
3. 保育士間での伝達漏れや保護者からの電話対応が減ります！また、保護者も忙しい朝に電話をかける手間がなくなります！
4. 手書きで行われる事務作業を削減することができ、保育業務に専念できます。
5. 園にシステム担当がいなくても、利用時に困ったときはサポートします！
6. システムを導入すると、毎日の玄関対応や毎月の事務作業の時間を大幅に削減できます。

結 果

上記 3 施設において、施設管理者、保育士およびシステム提供事業所担当者から、現状を聞き取り調査した。調査結果のまとめを（表 1）に示す。◎：良 ○：可 △：やや不可 ×：不可 （順不同）

保育施設におけるICT化の現状調査		保育施設 1	保育施設 2	保育施設 3
施設管理者がICT化に積極的であるか		◎	◎	◎
保育士をはじめとした職員全員がICT化に前向きであるか		○	○	○
システムの操作が容易に行われているか		◎	◎	◎
これまで手書きでおこなっていた業務が、そのままICT化できているか		○	◎	○
市区町村へ提出する帳票が、現行のものと同じものが出力できるのか		○	○	○
操作方法に困った時のサポート体制が十分であるか		△	△	△
パソコンやタブレット数は十分か		△	○	△
ICT化している項目	登園・降園管理	◎	◎	◎
	年間・月間・週間指導計画の作成	機能としてはシステムにあるが、準備中		
	年間・月間行事計画の作成			
	保健記録			
	午睡記録			
	個人記録・身体検査記録・連絡先・家族情報・アレルギー情報			
	園児お便り・連絡帳			
	要録作成			
	保護者向け掲示板・職員間掲示板			

今回調査を実施した施設は、システム導入から 1 年未満の施設であった。

調査を実施した施設の管理者すべてが業務の ICT 化に積極的であった。保育士をはじめとして職員の ICT 化への印象を問うと、すべての職員が前向きではないとのことであった。特に、経験豊富な保育士ほど、消極的である傾向にあるとのことである。

それぞれのシステムには多くの機能が兼ね備えられているのであるが、いずれの施設においても、利活用されている機能は、登降園記録・管理・集計機能のみであった。そして、この機能の使い勝手は、非常によいと高評価であり、これによって、業務の軽減が図られているとのことであった。

したがって、これまで行われている事務作業のすべてが ICT 化の対象となっている状況ではなかった。これまで手書きであった年間・月間・週間指導・保育計画などをシステムに入力する作業が必要であり、この作業にパソコン操作に慣れている保育士が入力作業を行っている。システム提供事業所の中には、これらの情報を入力する作業のサポートを行っているとしているところもあった。

多くの保育所がシステム導入の条件として、現行の書式をそのままシステム上で使いたいと要望するとのことであった。また、市区町村への報告する際に用いる帳票が各自治体で異なることから、システムを保育所毎にカスタマイズする必要があるとのことであった。

現状では登降園システムが稼働しているのみであり、その操作は主に、保護者と管理者が行っているため、保育士が操作することは少ない。この登降園システムの操作は容易で、順調に稼働していた。

システムが順調に稼働してくるとシステムの操作に関するサポートが必要となる頻度は減少するが、システムの導入時には、システムの操作に困った際のサポート体制が必須である。それぞれのシステム提供事業所ではサポート体制が設置はされているが、保育士の多くが利用すると予想される 17 時以降にサポートが行われていないのが現状である。

各施設にはキーボード入力できる端末とタブレットが配置されている。月案・週案・日案などは、キーボード付きパソコンで入力作業をしなければならないが、1、2 台しか配置されてなく、保育士が入力したい時間が重なってしまうことが多く、すぐに入力できる体制ではなかった。タブレットの配置数には不足はなかった。

考 察

保育施設においては、保育指導計画作成や園児の登園・降園管理・記録および保育士の勤怠などの管理業務に加え、保護者との緊急時の連絡整備などさまざまな情報収集管理体制の構築が求められている。保育士が行う業務の効率化を図り、業務負担を軽減するとともに、子どもに接する時間を長くするために、ICT化の導入を進めている3施設について、調査を行った。

「手書きが一番」の考えが根強い

保育施設の事務作業は、長年手書きで行われてきた経緯から、すべての業務をある日を基準にICT化することは非常に難しい状況であることがわかった。特に経験豊富な保育士は、パソコンに触れたことがない者の割合が高く、ICT化への理解が得られない状況である。なぜ、手書きが良いのかという理由にも、下記のような理由があり、ICT化する業務内容の選択は、各保育施設の裁量となろう。

特に、一日の様子を家庭とやりとりするお便り帳は、手書きでないと「そっけない」「愛情を感じられない」などの意見が保育士からあった。園児の作品への名前付けなどに利用可能な名前シールの出力についても、同様の意見があった。また、お便り帳のICT化によって、例文がデフォルトでコピーペーストできてしまうことから、若い保育士の子どもの観察力や思考力が養われないのではないかと懸念される。このことは、家庭からの返事の記載内容にもあてあてはまる。手書きであれば、保護者からの情報量が少なくなった、書き方が雑になったなどから保護者の精神状況を予想でき、子どもの落ち着き具合などと関連づけて、対処することが可能となるなどの利点があるが、ICT化でそれが損なわれてしまうという意見があった。



ICT化は徐々にすすめる

保育施設における業務量（事務作業）について、手書きをつづけた場合、すべての業務を導入時にICT化した場合、ICT化する業務の種類を数年かけて導入した場合に分けて、保育士の業務量がどのようになるかをイメージで示した（図1）手書きをつづけた場合には、業務量に変化はない。すべての業務を導入時にICT化した場合は、導入前の業務量は非常に多く、導入後短期間で業務量は著しく減少する。ICT化する業務の種類を数年かけて導入した場合は導入前にやや業務量は増加するが、導入後には業務量が減少し、これを繰り返すことで、総業務量が減少する。

3施設では、登降園管理システムを導入することからICT化を開始して、徐々にICT化する業務の種類を増加させる方法でICT化を進めていて、順調にすすんでいた。少なくとも1年かけて、これまで行ってきた園の年間指導計画、月案、週案、日案を入力することによって、次年度には、前年に作成したものを微調整することで作成が可能となり、業務が効率化できる。

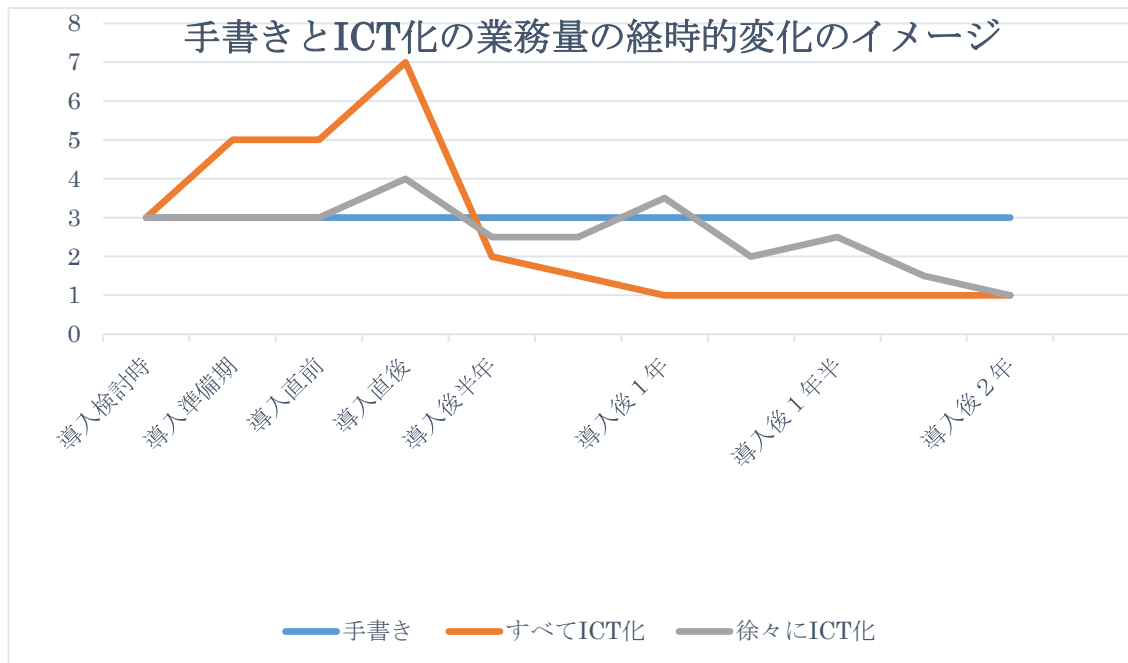


図1 保育施設における業務量（事務作業）について、手書きをつづけた場合、すべての業務を導入時にICT化した場合、ICT化する業務の種類を数年かけて導入した場合に分けて、保育士の業務量がどのようになるかをイメージで示した図。縦軸：業務量、横軸：時間

登園・降園記録の電子化から導入開始

ICTの導入によって、保護者は個人持ちのICカードを保育施設入口に設置されているパソコン端末で読み取り登園・降園記録をおこなう。

これまでは、登園・降園の記録を手書きで行う問題点としては、保育士がその業務に関わっている時間、子どもたちの相手ができない。という問題の他に、降園時間に遅れ、延長保育となってしまう際に、時間の変更を保育士に求めたり、記入の誤りだとのクレームを受けたりする保育士の精神的ストレスやその対応に費やす時間の問題があった。これらの問題がICT化で解決した。一方、保護者の中には、降園時間に遅刻した場合には、あえて打刻をしないケースもあるとのことで、性善説の観点にたったシステムのみでは、不十分であると感じた。

自治体毎に提出する書類（帳票）の形式が異なる

保育施設から市区町村へ提出する書類の形式が、市区町村単位で異なっているために、入力したデータの集計結果を出力する帳票のフォーマットが市町村ごとに異なっていることから、システム提供者が個別対応しなくてはならず、導入までの時間とコストがかかっている。

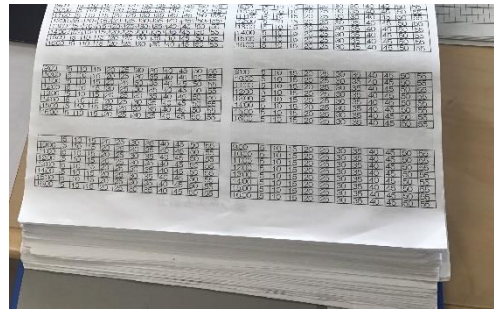
対策としては、全国で市町村へ提出する書類のフォーマットを統一規格にすることなどが考えられる。

午睡中の呼吸状態・姿勢の見守りの軽減

乳幼児突然死症候群（：Sudden infant death syndrome、SIDS）予防のために、乳幼児の午睡中に呼吸状態やうつ伏せになっていないかなどの姿勢を5分ごとに監視し、記録を行わなくてはならない。保育士が様々な記録を保育時間内に行うとすると、この午睡の時間内に行う以外に時間はない。しかし、5分毎に10人の子どもの見守る状況では、午睡中に次から次へと見守りをする状況であり、記録をする余裕が全くない状況である。

この記録システムは ICT 化が有用であると思われる。問題点としては、後から記入を変更できる点である。修正機能は必要であるが、だれが入力したのか、修正したのかの記録が残る機能が必要と考えられる。

医療においては、乳幼児の心電図や酸素飽和度の自動測定、異常警報で知らせるシステムがすでにあり、このシステムを導入することによって、大幅な保育士の業務負担軽減が可能である。医療技術の保育現場への導入が非常に有益であるのではないかとと思われる。



食物アレルギー・健康管理情報の共有

保育児の食物アレルギーや健康状態について入力して、職員で情報共有することができる。登園時の健康状態や休園理由などの情報をパッドに入力すると、他のパッドにおいても情報を共有できる。しかし、この情報を保育士が自ら収集することをしなければ、データとして入力されているものが、活用されないままとなってしまう。特に食物アレルギーについては、給食の時間になると警告音とともに情報の提示がされる機能なども必要と考えられる。

保育士の業務削減への ICT 化の寄与

現時点では、いずれも登降園記録に関するシステムのための稼働であるが、このシステムのみでも施設管理者、および、保育士の業務軽減につながっているとのことであった。特に管理者の業務は事務作業が大幅に効率化し、業務改善されていた。

サポート体制について

いずれのシステム提供事業所は、サポート体制を確保している。導入前後では、使用方法がわからないことが多いため、問い合わせが多いとのことであった。しかし、いずれも 17:00 までであり、園児の降園後に作業を行わなければならない、保育士には、さらに長時間のサポート体制の充実が必要である。

結 語

総合的な評価として、3施設すべてにおいて、ICT化の初期段階であるが、保育業務の効率化が図られていた。

これまで、保育施設の多くが、ほとんど保育業務の情報収集・記録・集計作業を手作業・手書きで行ってきたものを、一度にすべての業務をITC化することは困難である。現地調査を行った3園のすべてで、登降園の情報収集のICT化をまず初めに行っていて、その導入がスムーズであり、継続して活用し続けられている。そして、徐々にICT化を進めようとしている施設においては、**まずは、登降園の記録、保育時間の集計作業のみを実施することがよいと考えられる。短期間でその便利さが職員間で共有できるので、その後、他の機能の導入に積極的になることが期待できる。手書き状態から、複数の機能をICT化して、順調に機能させるためには、準備に少なくとも1年程度の期間を要しており、実際に業務負担が軽減されるまでには相当の期間を要することが考えられる。楽になったと感じるのは、2年目以降となると予想される。短期間での効果を期待しないこと、段階的に導入することなどを認識することが必要である。**

3施設の施設管理者が保育業務のICT化の導入の検討段階から、積極的な導入を考えていたことが、スムーズな導入につながった。経験豊富な保育士や管理者がパソコンのキーボード入力に不慣れなことから、導入の検討すら行わない施設も多くあることがシステム供給事業者からの情報として得られた。**ICT化に消極的な管理者の意識改革がICT化には重要であると感じた。**また、管理者が積極的に導入しても、手書きにこだわりICT化に消極的な職員がいる場合には、実施可能なものから実施することが重要である。

まとめ および 考察

- 保育人材確保が難しい現状・対策について、保育施設管理者が理解することは重要であり、セミナー等に参加することが望まれるが、参加したことがあると回答した施設は 833 (31%) であった。セミナー開催の周知度の向上や参加しやすい日時での開催、保育施設管理者の参加意識の向上などが課題である。
- 平成 28 年 3 月の退職者数と 4 月の新規雇用者数を比較すると、退職者数が新規雇用者数を上回っていた。
- 保育人材確保が難しい状況下では、年度途中退職者が発生した場合の補充は非常に困難である。1 人以上の途中退職者があった施設が 1,045 施設 (39%) であり、その人数は 1,610 人以上であった。施設種別間での差はなかった。
- 産休・育休明けで、子どもを預けられないために仕事に復帰できなかった保育士は、179 人以上いた。施設数では 144 施設 (5.4%) であった。割合は少ないが、途中退職になることもあり、対策が必要である。
- 保育士を確保するために、保育施設ではさまざまな手法で募集をおこなっている。この中で、国民に周知度が高いハローワークの利用が 1,667 (62%) と非常に高い利用率であった。一方で、保育士・保育所支援センターの利用率は 348 施設 (13%) であり、利用率が低かった。
- ICT 化が非常に役立つと回答した施設が 322 施設 (12%)、役に立つと回答した施設が 1,197 施設 (45%) で合計 1,519 施設 (57%) であった。一方で、役に立たないと思うが 106 施設、全く役に立たないと思うと回答した施設が 24 施設で、合計 130 施設 (5%) であった。また、ICT 化を実施していないし、当面は実施の予定もないと、回答した施設が 1,027 施設 (38%) であった。これらから ICT 化は役に立つと思っているが、実施の予定がないというのが現状である。
- ICT 活用意向は施設種間で差はなかった。ICT を導入した施設 880 施設中、非常に役立っている施設が 100 施設 (11%)、役立っている施設が 371 施設 (42%) であった。ICT 化を実施した施設 880 施設中、543 施設 (62%) でサポート体制ができていた。ICT 化を実施した施設において、ICT が業務軽減に有効な種類の業務は、保育日誌記録・保育計画作成・園児情報管理・報告書作成・保育日誌記録・登園降園管理などであった。
- 保育士の応募状況については、平成 28 年度と 29 年度とを比較すると、「募集したがまったく応募がなかった」が 7%から 10%になり、「募集して、一部は確保できたが、必要とする人数は確保できなかった」が 35%から 39%とそれぞれ増加した。
- 保育士の業務軽減で圧倒的に多い回答が「記録・報告」であり、1,812 施設 (68%) であった。この業務軽減に ICT 化が有効な手段として促進されている。また、掃除・玩具の消毒などに回答が多かった。これらは他職種へ委託することで業務軽減ができる業務でもある。
- 保育士に求められるスキルは保育経験や保育技術よりも、社会的一般常識が求められている。コミュニケーション能力は 88%の施設で求められ、社会性が 81%、モラルが 78%で求められている。
- 業務環境で改善したい課題としては、給与・賞与の改善が最も多く、次に職員数の増加が多かった。その次の課題としては、事務・雑用の改善が 57%の施設、講習・研修会への参加の確保が 42%の施設から回答があった。
- メンタルヘルスケアが必要な保育士が 1,026 人以上、719 施設 (27%) でいた。メンタルヘルスケアが必要な保育士が 5 人以上いる施設が 8 施設あった。メンタルヘルスケアが必要な保育士数は施設種別間で差はなかった。サポート体制がない施設が 1,540 施設 (58%) があった。公設・公営の保育施設では、メンタルヘルスサポート体制があると回答した施設が 77%と多かったが、その他の施設では、25~41%

と少なかった。公設・公営の保育施設ではメンタルチェックが88%と高率に実施されていたが、他の施設での実施率が低いことに加え、実施予定がないと回答した施設が多かった。メンタルサポートは、保育士の離職数減少につながる重要な課題であり、早急に体制整備の必要がある。

- 保育士の通勤時間は30分未満が、2,696人(78%)であった。また、通勤手段としては自家用車での通園が2,482人(72%)であった。通勤時間の満足度は、「大変満足」・「満足」が合わせて2,475人(72%)であった。
- 調査に回答した保育士の資格取得方法は、「短期大学の保育士養成課程」が2,259人(65%)であり、雇用形態は、正規職員が2,978人(86%)であった。
- 月当たりの休日は「5日以上8日以下」が2,663人(77%)であった。一日の勤務時間は、「8時間を超える」が1,765人(51%)、「4時間以上8時間以下」が1,653人(48%)であった。家に持ち帰ってする仕事時間は、「1時間以上5時間未満」の回答が1,257人(36%)と最も多かった。また、「10時間以上」が610人(18%)であった。
- 職場への改善希望として、最も多かった回答は、「給与・賞与の改善」2,248人(65%)、次いで、「職員数の増員」1,795人(52%)、「事務・雑務の軽減」1,743人(50%)「休暇の確保」1,644人(48%)であった。
- 保育士の業務軽減のために導入が促進されている業務のICT化を実施していると回答した保育士が1,801人(52%)であった。業務負担軽減へのICT化の効果について、「非常に役立つと思う」が499人(14%)、「役立つと思う」が1,463人(42%)であった。ICT化で業務軽減が可能な業務としては、「保育計画(年・月・日)作成」が2,042人(59%)と最も多かった。ICTのサポート体制は、「構築されている」が755人(22%)、「構築されていない」が810人(23%)であった。
- この1年間にメンタルヘルスケアを受けたいと感じることや、実際にカウンセリングなどを受けたことがありますかという質問に対して、「負担に感じたが、だれにも相談できない、または、相談していない」と回答した保育士が415人(12%)であった。「メンタルヘルスケアやカウンセリングを受けたいと感じた」と回答した保育士が232(7%)であった。メンタルヘルスケア体制がないと回答した保育士が1,509人(44%)であった。「負担に感じたがだれにも相談できない、または、相談していない」保育士が勤務する保育施設に「メンタルヘルスケア体制がない、あるいは、わからない」と回答した保育士が331人いた。
- 午睡中5分毎の呼吸状態やうつ伏せでないことを確認する業務が、「非常に大変」、「大変」と回答した保育士が、それぞれ622人(18%)、1,208人(35%)で合計1,830人(53%)であった。睡眠時の脈拍や酸素飽和度測定機器は、医療用としてすでに活用されているので、これらの器具の活用により、業務量を大幅に軽減させることが可能と思われた。
- 業務軽減で行いたいことは、「記録・報告」が2,132人(62%)であった。ICT化によって今後軽減が期待できる。
- 「大変やりがいのある仕事である」、「やりがいのある仕事である」と回答した保育士は、1,230人(36%)、1,895人(55%)であった。一方で「今後も保育士として働きたいが、就業継続が難しい」、「今後は保育士として働きたくなく、保育士以外の職種で働きたい」と離職を考慮している保育士が、それぞれ304人(9%)、223人(6%)合わせて15%であった。離職意向理由としては、「仕事量が多い・忙しい」890人、「給料が安い」801人、「労働時間が長い」507人、「仕事とそれ以外の時間のon・offの区別がしにくい」496人と多かった。
- 保育施設からの求人件数は、「1~50施設」が最も多かったが、「501施設以上」も2社あった。保育施設から求人の勤務時間は、「フルタイム」が最も多く12社であった。保育施設側が提示する雇用条件と

して、重視しているものは、「勤務時間」「人間性」が多かった。

- 保育士の残業や家に持ち帰ってする仕事量は、施設の設立母体による違いがあり、認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人）で多いと回答したものが最も多かった。
- 保育士からの求職希望件数は、「1～25人」が最も多かった。保育士が派遣を希望する理由としては、「条件にあっているところを見つけやすいから」、「業務での責任が少ないから」が多かった。フルタイム（早朝・夕方以降の勤務を含む）勤務ができない理由としては、「育児・介護などがあるため」が最も多く、次いで多いのが「扶養者控除の範囲内で働きたいから」であった。
- 保育士が求職条件として一番重視しているものは、「勤務時間」と「職場の雰囲気」であった。転職希望の保育士の主な理由は、「職場の人間関係」が最も多かった。
- 派遣手数料は保育士給与の「16～20%」が最も多かった。
- 保育人材確保が難しい現状の改善策がさまざま行われている。保育の現場に、異職種で行われている業務の効率化の手法を導入することが重要である。その一つとして ICT 化が促進され、多くの施設で導入が始まっている。現地調査からも導入前・導入直後には利点が見えてくる業務・利点が顕著になるのに時間がかかる業務があることを施設の管理者・保育士がよく理解して、進めていくことが重要と感じた。
- 保育士不足の問題の原因として、給与問題が大きく取り上げられていて、この改善が必要であることは重要であるが、この他に「職場の人間関係」をはじめとする心理的・精神的なケア体制の構築が遅れている印象を受けた。

おわりに

保育士人材不足に関する調査研究結果をここに報告できたのは、保育施設の皆様方のご協力の賜物であり、深謝いたします。今後も医学的な視点から、子ども子育て対策に有用な調査研究を継続して、社会に貢献していきたいと思います。

平成 29 年 3 月

東京慈恵会医科大学

武田 聡

勝沼俊雄

馬場優治

金森大輔

吉澤穰治

**厚生労働省 補助型調査研究
平成 28 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業**

保育人材確保に関する調査

調査依頼書

保育施設における人材確保に関する重要な調査です。
ご協力お願いいたします。

本調査にご回答いただく方は、以下の方々です。

保育施設代表者

保育士

人材派遣事業所担当者

ご回答はホームページに入力してください。

調査終了日時

平成 29 年 3 月 14 日(火曜日) 午後 5 時

調査実施機関
東京慈恵会医科大学

質問・お問い合わせ：「保育士人材確保に関する調査」専用電話 075-600-2720

受付は平成 29 年 2 月 27 日～3 月 14 日までの午前 9 時～18 時までです。（月～金曜日）

保育施設代表者の方は、

shisetsu@hoiku-chousa.com

へ空メールをお送りください。自動的に以下の返信メールがお送りいただいたメールアドレスへ届きます。

調査にご協力いただきありがとうございます。

保育施設代表者の方への調査画面です。以下の URL をクリックして、調査回答画面へ進んでください。

↓ ここをクリックしてください。

<http://hoiku-chousa.com/hoiku-shisetsu/>

保育士の方は、

hoikushi@hoiku-chousa.com

へ空メールをお送りください。自動的に以下の返信メールがお送りいただいたメールアドレスへ届きます。

調査にご協力いただきありがとうございます。

保育士の方への調査画面です。以下の URL をクリックして、調査回答画面へ進んでください。

↓ ここをクリックしてください。

<http://hoiku-chousa.com/hoikushi/>

人材派遣事業所担当者の方は、

koyo@hoiku-chousa.com

へ空メールをお送りください。自動的に以下の返信メールがお送りいただいたメールアドレスへ届きます。

調査にご協力いただきありがとうございます。

人材派遣事業所担当者の方への調査画面です。

以下の URL をクリックして、調査回答画面へ進んでください。

↓ ここをクリックしてください。

<http://hoiku-chousa.com/hoiku-koyo/>

はじめに

余寒の候、皆様方にはますますご健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、最近、保育施設入所待機児童が社会的に大きな問題となっています。この問題の大きな原因の一つとして、保育士の人材確保が難しい現状があります。そして人材確保問題解決には、保育士の業務負担の軽減が求められています。そこで全国の保育施設代表者・保育士・人材派遣事業所担当者を対象に、厚生労働省の平成 28 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業として、東京慈恵会医科大学が、保育士の就業環境について現状調査を実施することになりました。つきましては、お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、調査にご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。

なお、本調査には、個人および施設が特定できる情報の記入項目はありません。本調査に対する同意確認は、実際に調査に回答いただいたことで同意とみなします（一度回答したものは取り消しできません。）。また、集計結果のみ報告書に記載し公開する以外には、他の用途に使用することはありません。

本研究は東京慈恵会医科大学の倫理委員会の審査および COI 委員会の審査を受けて承認されています。

A 調査概要

調査名

保育人材確保に関する調査研究

調査担当機関の名称及び氏名

東京慈恵会医科大学（武田聡、勝沼俊雄、馬場優治、金森大輔、吉澤穰治）

調査目的

保育士の就業環境・待遇などの諸問題を解決しなければ、保育人材確保が難しいのが現状である。そこで、保育士の業務の実態、保育士の業務量軽減のための取り組み、保育士の離職理由などについて、保育施設代表者・保育士・人材派遣事業所担当者を対象に現状を調査して、今後の施策の基礎資料を作成することを調査研究の目的とする。

調査方法

調査依頼を施設責任者宛に郵送して、ホームページ上で、直接回答を入力していただく方法

調査対象

全国の保育施設（全国の保育施設の約 30% を無作為に抽出）の代表者およびその施設で勤務している保育士、人材派遣事業所（全国の保育関連事業所 100 社を無作為に抽出）の担当者

調査期間

平成 29 年 2 月 27 日～平成 29 年 3 月 14 日(火曜日)午後 5 時

調査情報の保管方法

調査により得られた情報は USB メモリーに保存して厳重に管理する。

調査項目・内容

全調査内容については、P5-12 に記載する。

個人情報等の取扱い

個人・施設を特定できる情報の記入項目はない。

情報の収集の資金源等、情報の収集を行う機関および個人の利益相反の状況

調査経費は平成 28 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業国庫補助協議から全額支出する。この調査は特定の企業・団体との利害関係がありません。なお、この調査は東京慈恵会医科大学の倫理委員会審査および利益相反管理委員会へ手続きを行い、承認を受けています。

B 回答方法

回答はホームページの調査画面に直接入力してください。ただし、インターネットが使用できない場合には、本調査用紙に直接、または、コピーをしてご記入いただき、〒105-8461 東京都港区西新橋 3-25-8 東京慈恵会医科大学 小児外科 吉澤穰治 まで調査締切日までに郵送してください（送料自己負担）。

なお、不審メールの受信拒否設定をしている方は、設定解除をする必要があることがあります。

保育施設代表者の方は、

ステップ1：下記のメールアドレスへ 空メール をお送りください。

shisetsu@hoiku-chousa.com

ステップ2：自動返送システムにより、あなたがお送りくださったメールアドレスに返信が届きます。

調査にご協力いただきありがとうございます。

保育施設代表者の方への調査画面です。以下の URL をクリックして、調査回答画面へ進んでください。

↓ ここをクリックしてください。

<http://hoiku-chousa.com/hoiku-shisetsu/>

ステップ3：メールには、調査回答をするホームページの URL が記載されていますので、ここをクリックしてください。

ステップ4：調査回答画面が表示されましたら、ご回答をお願いします。

保育士の方は、

ステップ1：下記のメールアドレスへ 空メール をお送りください。

hoikushi@hoiku-chousa.com

ステップ2：自動返送システムにより、あなたがお送りくださったメールアドレスに返信が届きます。

調査にご協力いただきありがとうございます。

保育士の方への調査画面です。以下の URL をクリックして、調査回答画面へ進んでください。

↓ ここをクリックしてください。

<http://hoiku-chousa.com/hoikushi/>

ステップ3：メールには、調査回答をするホームページの URL が記載されていますので、ここをクリックしてください。

ステップ4：調査回答画面が表示されましたら、ご回答をお願いします。

人材派遣事業所担当者の方は、

ステップ1：下記のメールアドレスへ 空メール をお送りください。

koyo@hoiku-chousa.com

ステップ2： 自動返送システムにより、あなたがお送りくださったメールアドレスに返信が届きます。

調査にご協力いただきありがとうございます。
人材派遣事業所担当者への調査画面です。
以下の URL をクリックして、調査回答画面へ進んでください。

↓ ここをクリックしてください。

<http://hoiku-chousa.com/hoiku-koyo/>

ステップ3： メールには、調査回答をするホームページの URL が記載されていますので、ここをクリックしてください。

ステップ4： 調査回答画面が表示されましたら、ご回答をお願いします。

質問・お問い合わせ：「保育士人材確保に関する調査」専用電話 **075-600-2720**

受付は平成 29 年 2 月 27 日～3 月 14 日まで午前 9 時～18 時までです。（月～金曜日）

メールでの問い合わせは、shounigeka@jikei.ac.jp 担当 小児外科 吉澤穰治へお送りください。

C 調査内容

調査内容

保育施設代表者への調査

①ニックネーム（重複をさけるために記入するものです。）

アルファベットで記入してください。（個人を識別するものではありませんので、氏名・施設名は記入しないでください。）

②パス番号（重複をさけるために記入するものです。）

4桁の数字（ただし、同一数字の羅列はさけてください。）

③都道府県名

該当するものを選択してください。

④施設母体

- ☐ 公認可保育所（公設公営） ☐ 認可保育所（公設・民営）
☐ 認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人） ☐ 認可保育所（民設民営）（株式会社）
☐ 認可保育所（民設民営）（NPO・その他）
☐ 認可外保育所（認証保育所 A・B 型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）
☐ 家庭的保育施設（保育ママ） ☐ 幼保連携型認定子ども園 ☐ 幼保連携型以外の認定子ども園
☐ その他

⑤貴施設の児童定員数

☐ 1～19 人 ☐ 20～39 人 ☐ 40～59 人 ☐ 60 人～99 人 ☐ 100 人以上

⑥調査記入時での保育士数（施設長を含む）を雇用形態に別けて記入してください。

保育士の雇用形態	人数				
保育士正規職員（勤務時間は問わない）	☐ 0～5 人	☐ 6～10 人	☐ 11～20 人	☐ 21～30 人	☐ 31 人以上
保育士フルタイム有期契約職員	☐ 0～5 人	☐ 6～10 人	☐ 11～20 人	☐ 21～30 人	☐ 31 人以上
保育士パートタイム有期契約職員	☐ 0～5 人	☐ 6～10 人	☐ 11～20 人	☐ 21～30 人	☐ 31 人以上
派遣職員	☐ 0～5 人	☐ 6～10 人	☐ 11～20 人	☐ 21～30 人	☐ 31 人以上

⑦自治体などが主催する人材確保に関する保育施設管理者を対象としたセミナーに参加したことがありますか。

☐ ある ☐ ない

⑧平成 28 年 4 月に新規雇用した保育士は何人ですか。（雇用形態は問わない）

☐ 0 人 ☐ 1 人 ☐ 2 人 ☐ 3～5 人 ☐ 6 人以上

⑨平成 28 年 3 月の退職者数は何人ですか。

☐ 0 人 ☐ 1 人 ☐ 2 人 ☐ 3～5 人 ☐ 6 人以上

⑧平成 28 年 4 月 1 日から調査回答日までに途中退職者は何人ですか。

☐ 0 人 ☐ 1 人 ☐ 2 人 ☐ 3～5 人 ☐ 6 人以上

⑨産休・育休明けで、子どもを預けられないために、仕事に復帰できなかった保育士が平成 28 年 4 月 1 日から調査回答日までに何人いましたか。

☐ 0 人 ☐ 1 人 ☐ 2 人 ☐ 3～5 人 ☐ 6 人以上

⑩平成 28 年 4 月 1 日から調査回答日までの保育士募集方法についてお答えください。（複数回答可）（平成 28 年度年度途中や平成 29 年度 4 月からの採用者を含む）

- ☐ 行わなかった ☐ 保育士・保育所支援センターを利用した ☐ ハローワークを利用した
☐ 上記以外の公的機関を利用した ☐ 人材派遣事業所を利用した ☐ 広告媒体を利用した
☐ 施設のホームページを利用した ☐ 募集フェアなどに参加した ☐ その他

⑪保育士の業務負担軽減に ICT 化（パソコンやタブレットなどの活用）は役立つと思いますか。

- ☐ 非常に役立つと思う ☐ 役立つと思う ☐ どちらともいえない
☐ 役に立たないと思う ☐ まったく役に立たないと思う

⑫平成 28 年度に業務負担軽減のために ICT 化をおこなっていますか。

- ☐以前から実施していた ☐補助金を活用して実施した（平成 29 年 4 月から実施予定は、ここを☒)
☐補助金を活用せずに実施した ☐実施していないが、自己資金を活用して実施予定である
☐実施していないし、当面は実施の予定もない ☐その他

⑬ICT 化を実施した施設では施設管理者からみて、保育士の業務軽減のために ICT 化は役立っていますか。

- ☐非常に役立っている ☐役立っている ☐どちらともいえない
☐期待していたほど役立っていない ☐ICT 化前と変わらない

⑭ICT 化はどのような種類の業務軽減に有効と思いますか。（複数回答可）

- ☐登園・降園管理 ☐保育日誌記録 ☐保育計画（年・月・日）作成 ☐午睡記録
☐健康記録・身体測定記録 ☐延長保育記録 ☐保育士の出退勤管理
☐園児情報管理 ☐報告書作成

⑮ITC 化を実施する上で、トラブル時（機器の不具合や操作法に迷ったとき）のサポート体制はできていますか。

- ☐できている ☐どちらともいえない ☐できていない

⑯保育士の業務軽減で実施したいことは何ですか。（複数回答可）

- ☐乳児の午睡記録 ☐遊び（室内・室外） ☐記録・報告
☐会議・感染症・アレルギーなど、さまざまな対策のための話し合い ☐おやつ・食事介助
☐着替え・トイレ介助 ☐保護者とのコミュニケーション ☐玩具の消毒 ☐掃除

⑰平成 28 年 4 月の保育士（新人・経験者を問わず）の募集状況についてお答えください。

- ☐保育士の募集はしなかった ☐募集して、一部は確保できたが、必要とする人数は確保できなかった
☐募集したが、まったく応募がなかった ☐その他

⑱平成 29 年 4 月の保育士（新人・経験者を問わず）の募集状況についてお答えください。

- ☐保育士の募集はしなかった ☐募集して、一部は確保できたが、必要とする人数は確保できていない
☐募集したが、まったく応募がない ☐その他

⑲雇用する保育士に求めるスキルは何ですか。（複数回答可）

- ☐実務経験がある ☐熟練した実務経験 ☐乳児保育の経験 ☐集団保育の経験
☐ICT・パソコンの操作 ☐社会性 ☐モラル ☐コミュニケーション能力 ☐特になし

20 保育士の雇用環境の整備で行いたいことは何ですか。（複数回答可）

- ☐給与・賞与の改善 ☐職員数の増加 ☐就労時間の改善 ☐休日の確保 ☐事務・雑役の改善
☐未消化有給休暇の消化 ☐勤務シフトの改善 ☐職員間のコミュニケーションの改善
☐講習・研修会への参加の確保 ☐責任範囲の縮小 ☐権限範囲の拡張 ☐その他

21 人間関係や保護者との関係から、保育士の精神的負担が増しています。メンタルヘルスケア（精神的、心理的負担のサポート）が必要と感じる、または実際に治療を受けた（受けている）保育士が平成 28 年度に何人いましたか。（精神的負担が原因で離職した保育士を含む）

- ☐0 人 ☐1 人 ☐2 人 ☐3 人 ☐4 人 ☐5 人以上

22 保育士のメンタルヘルスケアに対して、サポート体制がありますか

- ☐体制がある ☐体制はない ☐体制はないが、つくりたい ☐体制はなく、つくる必要はない

23 この 1 年間に保育士のメンタルチェックを実施しましたか

- ☐実施した ☐昨年実施した・来年実施予定なので、実施しなかった
☐実施しなかったし、実施予定はない ☐その他

調査入力これで終了です。

回答終了および送信

ボタンを押してください。

送信終了

ありがとうございました。

と画面に表示されれば、終了です。

保育士への調査

①ニックネーム（重複をさけるために記入してください。）

アルファベットで記入してください。（個人を識別するものではありませんので、氏名・施設名は記入しないでください。）

②パス番号（重複をさけるために記入してください。）

4桁の数字（ただし、同一数字の羅列はさけてください。）

③都道府県名

該当するものを選択してください。

④性別 ☐女性 ☐男性

⑤年齢 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代以上

⑥配偶者の有無 ☐あり ☐なし

⑦子供の有無 ☐あり ☐なし

⑧末子の年齢（学年） ☐1歳未満 ☐1歳以上3歳未満 ☐3歳以上就学未満 ☐小学生 ☐中学生 ☐高校生以上（中学卒業以降）

⑨現在の職場での勤務年数

☐1年未満 ☐1年以上2年未満 ☐2年以上3年未満 ☐3年以上4年未満 ☐4年以上5年未満
☐5年以上10年未満 ☐10年以上

⑩これまでに保育士としての通算どの位勤務してきましたか（就業年数（通算））

☐1年未満 ☐1年以上2年未満 ☐2年以上3年未満 ☐3年以上4年未満 ☐4年以上5年未満
☐5年以上10年未満 ☐10年以上

⑪施設母体

☐公認可保育所（公設公営） ☐認可保育所（公設・民営）
☐認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人） ☐認可保育所（民設民営）（株式会社）
☐認可保育所（民設民営）（NPO・その他）
☐認可外保育所（認証保育所A・B型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）
☐家庭的保育施設（保育ママ） ☐幼保連携型認定子ども園 ☐幼保連携型以外の認定子ども園
☐その他

⑫貴施設の児童定員数

☐1～19人 ☐20～39人 ☐40～59人 ☐60人～99人 ☐100人以上

⑬通勤時間

☐15分未満 ☐15分以上から30分未満 ☐30分以上45分未満 ☐45分以上60分未満
☐60分以上120分未満 ☐120分以上

⑭通勤時間の満足度はいかがですか

☐大変満足 ☐満足 ☐どちらともいえない ☐不満 ☐非常に不満

⑮保育士資格の取得方法

☐大学の保育士養成課程 ☐短期大学の保育士養成課程 ☐専門（専修）学校の保育士養成課程
☐通信教育後の保育士試験 ☐その他養成施設の保育士養成課程 ☐国家試験受験

⑯雇用形態はどれですか

☐正規職員（勤務時間は問わない） ☐フルタイム有期契約職員 ☐パートタイム有期契約職員
☐派遣職員 ☐その他

⑰一日の勤務時間は何時間ですか（休憩時間を除く）

☐2時間未満 ☐2時間以上4時間未満 ☐4時間以上8時間以下 ☐8時間を超える

⑱職場への改善希望点は何ですか（複数回答可）

- ☐給与・賞与の改善 ☐職員数の増員 ☐事務・雑務の軽減 ☐休暇の確保（未消化休暇の改善）
☐勤務時間（シフト）の改善 ☐職員間のコミュニケーション ☐研修の機会の確保
☐相談体制の充実 ☐園の理念や運営方針 ☐雇用の安定化（正規職員への登用） ☐責任範囲の縮小
☐評価制度の見直し ☐権限範囲の拡大 ☐特になし

⑲あなたの職場では、業務負担軽減に ICT 化（パソコンやタブレットなどの活用）を実施していますか

- ☐実施している ☐わからない ☐実施していない

⑳保育士の業務負担軽減に ICT 化（パソコンやタブレットなどの活用）は役立つと思いますか

- ☐非常に役立つと思う ☐役立つと思う ☐どちらともいえない ☐役に立たないと思う
☐まったく役立たないと思う

21ICT 化でどのような種類の業務軽減ができると思いますか（複数回答可）

- ☐登園・降園管理 ☐保育日誌記録 ☐保育計画（年・月・日）作成 ☐午睡記録
☐健康記録 ☐児童情報管理 ☐その他

22ITC 化を実施する上で、機器の使用法などのサポート体制（機械の不具合や操作法がわからない時に問題解決をしていく）はできていますか

- ☐できている ☐どちらともいえない ☐できていない

23 家に持ち帰ってする仕事時間は、月に何時間位ありますか

- ☐ほとんどない ☐1 時間未満 ☐1 時間以上 5 時間未満 ☐5 時間以上 10 時間未満 ☐10 時間以上

24 月当たりの休日は何日ありますか

- ☐4 日以下 ☐5 日以上 8 日以下 ☐9 日以上

25 人間関係や保護者との関係から、保育士の精神的負担が増しています。この 1 年間にメンタルヘルスケアを受けたいと感じることや、実際にカウンセリングなどを受けたことがありますか。また、負担に感じた時にはどのようにしましたか

- ☐実際にカウンセリングを受けた。または、薬を服用している。
☐メンタルヘルスケアやカウンセリングを受けたいと感じた
☐先輩や同僚に相談した ☐負担に感じたが、だれにも相談できない、または、相談していない
☐精神的負担を感じたことはない ☐その他

26 あなたの職場では、メンタルヘルスケア（精神的負担をサポートする）体制がありますか。

- ☐ある ☐ない ☐わからない

27 乳児保育で午睡中 5 分毎の呼吸状態やうつ伏せでないことを確認する業務についてどのように感じますか

- ☐非常に大変 ☐大変 ☐どちらともいえない ☐それほど大変ではない ☐大変ではない

28 業務軽減で行いたいことは何ですか（複数回答可）

- ☐遊び（室内・室外）☐記録・報告
☐会議・感染症・アレルギーなど、さまざまな対策のための話し合い
☐おやつ・食事介助 ☐乳児の午睡記録 ☐着替え・トイレ介助
☐保護者とのコミュニケーション ☐玩具の消毒 ☐掃除 ☐その他

30 保育士としてのやりがいを感じますか

- ☐大変やりがいのある仕事である ☐やりがいのある仕事である ☐どちらともいえない
☐あまりやりがいはない ☐やりがいはない ☐その他

31 就業継続意向についてお答えください

- ☐今後も保育士として働きたい。そして、今の職場で働きたい
☐今後も保育士として働きたいが、就業条件のよいところがあったら移りたい
☐今後も保育士として働きたいが、就業継続が難しい
☐今後は保育士として働きたくなく、保育士以外の職種で働きたい
☐今後は保育士として働きたくない、他の仕事に就くことも考えていない
☐その他

32 退職意向理由は何ですか（複数回答可）転職・退職希望のある方のみ回答してください。

- ☐給料が安い ☐仕事量が多い・忙しい ☐労働時間が長い
☐仕事とそれ以外の時間の on・off の区別がしにくい ☐対応の難しい保護者がいる
☐他業種への興味 ☐職場の人間関係 ☐保育士としての適性に疑問
☐健康上の理由・精神的な疲労・心労 ☐家事・育児 ☐妊娠・出産
☐通勤時間が長い ☐雇用形態がパート・非常勤採用のため ☐自分のキャリアアップができない
☐やりがいを感じられない

回答入力はこれで終了です。

回答終了および送信

ボタンを押してください。

送信終了
ありがとうございました

と画面に表示されれば、すべて終了です。

人材派遣事業所担当者への調査

①ニックネーム（重複をさけるために記入してください。）

アルファベットで記入してください。（個人を識別するものではありませんので、氏名・施設名は記入しないでください。）

②パス番号（重複をさけるために記入してください。）

4桁の数字（ただし、同一数字の羅列はさけてください。）

③都道府県名

該当するものを選択してください。

保育施設からの求人についてお尋ねします。

④保育施設からの求人件数は、現在何件ありますか。（施設数でお答えください）

☐ 1～50 施設 ☐ 51 人～100 施設 ☐ 101～200 施設 ☐ 201～300 施設 ☐ 301～400 施設
☐ 401～500 施設 ☐ 501 施設以上

⑤保育施設から求人の勤務時間は、どれが多いですか

☐ フルタイム ☐ パートタイム ☐ その他

⑥保育施設側が提示する雇用条件として、重視しているものは何ですか（複数回答可）

☐ 派遣費用 ☐ 勤務日数 ☐ 勤務時間 ☐ 経験年数 ☐ 保育技術 ☐ 人間性 ☐ 特になし

⑦保育士の残業や家に持ち帰ってする仕事量は、施設の設立母体による違いがありますか

☐ 違いがあると感じる ☐ 違いはない ☐ どちらともいえない

⑧保育士の残業や家に持ち帰ってする仕事量が多いのは、どのような形態の保育施設ですか

☐ 公認可保育所（公設公営） ☐ 認可保育所（公設・民営）
☐ 認可保育所（民設・民営）（社会福祉法人） ☐ 認可保育所（民設民営）（株式会社）
☐ 認可保育所（民設民営）（NPO・その他）
☐ 認可外保育所（認証保育所 A・B 型・横浜保育室・ベビーホテル・事業所内保育所・院内保育所など）
☐ 家庭的保育施設（保育ママ） ☐ 幼保連携型認定子ども園 ☐ 幼保連携型以外の認定子ども園
☐ その他

保育士の求職についてお尋ねします。

⑨保育士からの求職希望件数は、現在何件ありますか

☐ 1～25 人 ☐ 25 人～50 人 ☐ 1～100 人 ☐ 101～200 人 ☐ 201～300 人
☐ 301～400 人 ☐ 401～500 人 ☐ 500 人以上

⑩保育士が派遣を希望する理由で多いのはどれですか。（複数回答可：上位3つを選択してください。）

☐ 自分で探すのが大変だから ☐ 自分で探す手段がわからないから
☐ 条件にあっているところを見つけやすいから ☐ 条件に合わなかった場合に、すぐに転職できるから
☐ 友人・知人からすすめられたから ☐ 業務での責任が少ないから ☐ 派遣の方が高収入だから
☐ その他

⑪フルタイム（早朝・夕方以降の勤務を含む）勤務ができない理由として多いと感じるものは何ですか。

☐ 育児・介護などがあるため ☐ 扶養者控除の範囲内で働きたいから
☐ それほどまでして、働きたくないから ☐ その他

⑫保育士が求職条件として一番重視しているものは何ですか

☐ 給与・賞与 ☐ 休日の確保・残業の有無 ☐ 勤務時間 ☐ 通勤時間 ☐ 保育所の規模 ☐ 乳児保育の有無
☐ 施設の運営母体 ☐ 保育士の充足度 ☐ 職場の雰囲気

⑬保育士が求職条件として2、3番目に重視しているものは何ですか（複数回答可）

- ☐給与・賞与 ☐休日の確保・残業の有無 ☐勤務時間 ☐通勤時間 ☐保育所の規模 ☐乳児保育の有無
☐施設の運営母体 ☐保育士の充足度 ☐職場の雰囲気 ☐施設の評判

⑭派遣手数料は、保育士給与の約何%ですか。

- ☐1～5% ☐6～10% ☐11～15% ☐16～20% ☐21～25% ☐26%以上

⑮転職希望の保育士の主な転職理由は何ですか（複数回答可）

- ☐給料が安い ☐仕事量が多い・忙しい ☐労働時間が長い
☐仕事とそれ以外の時間のon・offの区別がしにくい ☐対応の難しい保護者がいる
☐他業種への興味 ☐職場の人間関係 ☐保育士としての適性に疑問
☐健康上の理由・精神的な疲労・心労 ☐家事・育児 ☐妊娠・出産 ☐通勤時間が長い
☐雇用形態がパート・非常勤採用のため ☐自分のキャリアアップができない
☐やりがいを感じられない

求人 求職との関係についてお尋ねします。

⑯保育士の求職希望条件と保育施設の求人条件とが、マッチしない原因は何とお考えですか。

- ☐給料 ☐労働時間 ☐休日 ☐通勤時間 ☐経験年数 ☐雇用形態 ☐施設の運営形態
☐施設の規模 ☐施設の評判

回答入力はこれで終了です。

回答終了および送信

ボタンを押してください。

送信終了
ありがとうございました

と画面に表示されれば、すべて終了です。

D 調査に関するご質問とその回答

Q 1 : 必ず、回答しなければならないのですか。

A 1 : いいえ。回答しないことで不利益を受けることはありません。

Q 2 : 保育士の全員が回答しなければならないのですか。

A 2 : できるだけ、多くの方々にご協力いただきたくませようをお願いいたします。

Q 3 : メールの個人情報は、守られますか。

A 3 : メールアドレスを含めて、個人情報は一切保存されません。

Q 4 : 途中で入力して、再度入力する時には、途中から入力できますか。

A 4 : いいえ、できません。初めから、やり直してください。何度でも再入力ができます。

Q 5 : 途中で回答を中断した場合には、入力した情報はのこりますか。

A 5 : いいえ、入力情報は、自動的に破棄されます。

Q 6 : メールを送っても、返信が届かないのですが、どうしたらよいでしょうか。

A 6 : 不審メールの受信拒否の設定をされているとメールが届かないことがあります。その場合には、不審メールの受信拒否設定を一時解除してください。メール受信後には設定を元に戻してください。